## 平成30年度

# 教育事務に関する 点検及び評価報告書

《平成29年度事務事業分》



平成30年11月

七戸町教育委員会

### はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する 事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書 を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。また、その際、客観性を確保する観点 から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることになりました。

七戸町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者からなる「七戸町教育評価審議会」からご意見等をいただきながら、教育委員会の事務の管理・執行状況について点検及び評価を行い、報告書を作成いたしました。

この結果をこれからの施策等に反映させ、教育施策を着実に推進していきたいと考えておりますので、 町民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務 その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含 む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会 に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及U評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用 を図るものとする。

## 目 次

Ι	点検・評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
П	平成29年度七戸町教育施策の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
Ш	平成29年度教育委員会の活動状況について・・・・・・・・・・・・・・・・16
IV	平成29年度教育委員会の事務事業に対する意見書・・・・・・・・・・・・・17
	平成29年度施策別主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 5
	各事業評価シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20~86

## I 点検・評価の概要

- 1 点検・評価の対象
  - (1) 点検・評価の対象

七戸町教育施策の方針に基づいて実施する学校教育、社会教育、社会体育、文化財保護と芸術文化振興等の各分野を構成する主な事務事業を対象に点検・評価を行った。

(2) 点検・評価の方法

各分野、施策に属する事務事業を点検・評価するため、事務事業ごとに事業費、目的、事業効果等を整理し、その結果に基づいて事業評価及び今後の取組等について記載した。

(3) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が実施した点検・評価の客観性を確保するため、教育評価審議会を開催し、教育に関 し学識経験を有する者(教育評価審議会委員3人)から意見をいただき、点検・評価の実施と報告 書の作成を行った。

2 点検・評価作業の経緯

平成30年7月 2日 点検・評価に係る資料作成依頼

8月31日 第1回教育評価審議会

9月21日 第2回教育評価審議会

10月26日 第3回教育評価審議会

\*\* 教育評価審議会が平成29年度教育委員会の事務事業に対する意見書を提出

11月19日 文教厚生常任委員会において本報告書(案)について説明

11月21日 教育委員会定例会において本報告書(案)を承認

12月 3日 町議会定例会に本報告書を提出

3 評価報告書の公表

評価報告書は、七戸町ホームページに掲載し公表する。

4 点検・評価に際し、委嘱した学識経験を有する者

七戸町教育評価審議会

委員 松林 和子

委員 石田 隆平

委員 富浦 一行

5 前年度(平成28年度事務事業分)の点検・評価における教育評価審議会の意見書に対する説明

#### 教育評価審議会意見書(抜粋)

(1) 学校給食費給付金事業については、昨年度も 意見として取り上げているが、予算規模が大き いため、保護者の一部負担を実施し、他の学校 教育費、例えば、施設の修繕費や教材費の予算 を充実した方が、教育環境の改善に資すると考 えられる。

また、一部でも負担することにより、保護者の子供へ対する教育の意識や責任感の高まりも望めると考えられることから、検討してほしい。

- (2) 外国語指導について、ALT派遣事業、異文 化交流事業、国際交流事業等、子供たちが英語 に接する機会を増やす事業を実施しているが、 数年後の小学校高学年の英語の教科化、中学年 の英語活動の充実に向け、小学校教員の英語の 指導力向上のための方策を早期に示し実践に 移してほしい。
- (3) 町立美術館について、平成28年度は、魅力 のある企画展等を開催した結果、入館者数が大 幅に増えた。今後、さらに魅力ある企画展等を 実施し、それをより多くの人々に発信していく ために、美術館のホームページのイベント情報 コーナーにワンクリックで辿り着けるような 工夫をしてほしい。

また、企画展が開催されていない時期の来館者を増やすためには、町民を巻きこんだイベントを開催したり、ランプや絵馬等常設している作品については、一部を、例えば雛人形等の町内にある文化財と入れ替えての展示や、七戸十和田駅の観光交流センターに幾つかのランプを展示して「鷹山宇一」の紹介や美術館への導線をつくるなど、様々なアイディアを出してアピールしてほしい。

#### 所管課回答

#### (学務課)

学校給食費給付金事業は、保護者の経済的負担が 軽減され、子育て支援策としての効果が認められて いる。近隣町村でも当町の事業効果を認め、本事業 の実施を進めてきている。また、本事業は、当町の 定住化促進施策の一つに位置づけられているため継 続していきたい。教育費については、充実を図る。

#### (学務課)

小学校教員の英語指導力の養成と児童の学習援助等を目的として、英語教育コーディネーター設置要綱を制定し、平成30年度から天間西小学校に1名配置し、チームティーチング(TT)による教員の指導とともに児童の指導計画立案の援助等を行うこととした。

今後は、効果的・効率的な指導力向上を図るため、 検証・検討を行っていく。

#### (生涯学習課)

特別展が開催される場合、美術館のホームページ に特別展の情報にワンクリックでたどり着けるよう にしている。今後は、町のホームページに広告を掲 載できるよう担当課と協議していく。

ランプや絵馬等の常設している展示物は、壊れやすいことや国指定重要有形民俗文化財のため、作品を適正に管理するうえで、美術館の外に展示するのは難しいと考えるが、美術館の事業をさらにアピールする対策として、七戸十和田駅の観光交流センターに大型案内看板等を設置するなど、来町者が美術館を訪れやすい動線がつくられるような施策を講じていきたい。

(4) 公民館の実施している事業について、七戸地 区と天間林地区で同じ内容の各種講座を開設 しているが、町村合併から10数年経過してい るので、整理・統合を検討してほしい。

連合婦人会育成事業については、公民館が所管 していることに疑問があるし、ある程度の目的 は達成したと思われ、また、役場全体で見ると、 女性が構成員の組織が複数あることから、整 理・統合を検討し、個々の負担を軽減していく 必要があると思われる。

文化協会の育成支援事業については、個々の団体は自ら活動しているが、それを取りまとめる文化協会の事務は公民館が行っていることから、自分たちで事業を企画・立案していけば、事業の活性化に繋がると思われることから、自立について強力に推進してほしい。

(七戸中央公民館・七戸南公民館)

① (七戸中央公民館及び七戸南公民館講座開設事業関係)

過去に、同じ内容の講座が開催された時があったが、日時、場所、講師がそれぞれ異なるため、 受講の選択の幅が広がり、町民のニーズに応えたかたちで開催できたと考えている。なお、今年度は同じ内容の講座の開催予定はない。

#### ② (連合婦人会育成事業関係)

連合婦人会は各単位(分館)の婦人会が集まった団体であることから、地域コミュニティの形成・充実及び地域の活性化を図ることも目的としている。

女性の構成員組織が複数あるとしても、それぞれの団体で目的が違い、それぞれの活動を行っていることから、整理・統合をする必要がないと考える。

連合婦人会については、代表的な社会教育団体であり、各単位での地域活動及び分館活動においては、必要不可欠な団体であるため、公民館で所管し、今後も地域のために活動していただきたい。そのためには継続して補助金を助成し、公民館として支援していく必要があると考えている。

#### ③ (文化協会育成支援事業関係)

文化協会の自立に向けて支援・指導を行ってきているが、会員の高齢化と事務局を担える人材の育成ができず、独立するのは難しい現状である。

ただ、文化協会の大きな事業である文化公演会については、自分たちで内容や講師等を検討し、 準備から当日運営、片づけまで会員で行っていることから、今後は、会員の中から事務局を担う人材を育成しつつ、公民館による継続的な支援・指導を行っていく必要がある。

## Ⅱ 平成29年度七戸町教育施策の基本方針

七戸町教育委員会は、「潤いと彩りあふれる田園文化都市」の 形成に向け、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切 り拓く人づくりを目指し、

- 1 「生きる力」を育むための、子供たちの未来のための、学校教育
- 2 学校と家庭、地域が連携を深め、地域社会全体の教育力の向上
- 3 伝統文化を尊重し、我が郷土に誇りをもつ態度の育成
- 4 生涯を通して生き生きと学び続ける機会や場の提供
- を、関係機関・団体、地域との密なる連携を図りながら推進します。

## ─「生きる力」を育むための、子どもたちの未来のための、学校教育─ 学校教育の方針と重点

#### 1 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

#### 2 重 点

#### (1) 授業の充実

一人一人の子供が、各教科や総合的な学習の時間等において主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、児童生徒理解に基づいた学年・学級経営の充実を図りながら、一人一人の能力・ 適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

#### ア 教材研究の深化と魅力的な授業づくりの推進

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 言語活動の充実を図り、学習意欲を高める授業の実践
- ・ 習熟の程度の把握・教材研究の深化に基づく「わかる授業」の実践

#### イ 指導と評価の一体化

- 自力解決の場の設定と適切な授業形態の工夫
- ・ 評価の見直しと評価に応じた具体的な指導の充実
- 必要に応じた補充的学習や発展的学習の導入

#### ウ 学習環境づくりと学習習慣の確立

- ・ 生徒指導の機能を生かした授業や学年・学級経営の充実
- ・ 他校種や家庭と連携した学習習慣の確立
- ・ 一人一人を生かすための学習環境の整備
- ・ 読書習慣を身に付けるための読書活動や学校図書館の有効活用
- 縦の連携、横の連携を生かした学習習慣の確立。

#### (2) 道徳教育の充実

一人一人の子供が、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、全教育活動を通じて道徳性の育成に努める。

#### ア 教育活動全体を通じての道徳教育の充実

- ・ 全教職員が一丸となった校内研修の実施
- ・ 道徳の時間と教科・領域・総合的な学習の時間、「私たちの道徳」との関連を明確化にした年間指導計画の作成と効果的な活用の工夫
- ・ 子供の道徳性の実態に即した資料選択と分析・多様な指導方法の工夫

#### イ 道徳性の育成や社会性の育成を目指した体験活動

・ 道徳の時間との関連性を明確にした体験活動の推進を図るための具体的年間指導計画の作成

- ・ 豊かな体験活動と望ましい集団活動の充実
- ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実
  - ・ 我が国や郷土の伝統・文化に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
  - ・ 資料の開発・活用

#### (3) 特別活動の充実

一人一人の子供が、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活 や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

#### ア 自主的な態度を育む学級活動の工夫

- ・ 望ましい人間関係づくりや、生活をよりよくするための活動の工夫
- 自ら話し合って決めたことを実行し、つくったきまりを守る活動・実践を振り返る活動の充実
- イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
  - ・ 指導のねらいを明確にした活動内容の設定
  - ・ 児童生徒の発想や計画を生かし、自治的・自発的な活動の指導・支援の工夫
- ウ 児童の個性の伸長と触れあいを深めるクラブ活動の工夫
  - ・ 児童の自発的な発想を生かしたクラブ活動の工夫
  - ・ 教師の適切な指導のもと、児童自身による運営
- エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫
  - ・ 教育活動全体を見通した調和のとれた学校行事の指導計画の作成
  - ・ 行事のねらいや意義を理解させ、一人一人の児童生徒に具体的目標を持たせるための指導及び運
  - 学校行事の組織的な評価体制の確立
- オ 各内容のねらいと意義を理解させ、一人一人の児童生徒に具体的目標を育てるための指導の充実

#### (4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子供が、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健やかな体を育む教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実
  - ・ 自己の動き、運動の特性に応じた基本的動きや技能を実感させるための授業における I C T の活用
  - ・ 体力テストの分析から、個人・集団の課題の明確化と課題解決に向けた具体的取り組みの充実
- イ 健康に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実
  - ・ 児童生徒の心身の健康状態を把握し、個人や集団の課題を明確にした指導の充実
  - ・ 強化体育・学級活動等における保健学習及び保健指導等,教育活動全体を通じた体系的な保健教育の充実
- ウ 食に関する指導の充実
  - ・ 肥満傾向や過度の痩身、偏食、アレルギー等の個別指導が必要な子供への指導における担任、養護 教諭と保護者との連携強化
  - ・ 児童生徒の食生活の実態を踏まえ、望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

- エ 身の回りの生活の安全, 防災等, 安全に関する情報を正しく判断し, 安全のための行動を実践できる 力の育成
- オ 健康・安全のために、家庭や地域社会及び関係機関等との連携の推進

#### (5) 生徒指導の充実

一人一人の子供が、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を 図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見・早期 対応に努める。

#### ア 自己指導力を育む協同指導体制の充実

- ・ 全教職員の共通理解に基づいた実践項目の設定と校内研修のさらなる充実
- ・ いじめや不登校等の未然防止,早期発見・早期対応及び組織的な初期対応の充実
- ・ 問題行動等への組織的な取り組みの定期的な点検・改善の機会や場の設定
- ・ 児童生徒の健全育成を図った学校間、家庭、地域社会及び関係機関等との連携
- イ 生徒指導の機能を生かした授業や学年・学級経営の充実
  - ・ 個に寄り添った教育相談体制の充実
  - ・ 児童生徒一人一人の存在の尊重及び信頼関係を構築するための取り組みの充実

#### (6) キャリア教育の充実

一人一人の子供が, 自らの生き方を考え, 社会的・職業的自立ができるよう, 必要な基盤となる資質, 能力, 態度の育成に努める。

#### ア 校内推進体制の整備・充実

- 全体計画及び各学年の年間指導計画の見直し、組織的・機能的な運営
- イ 将来の生き方指導・進路指導の充実
  - ・幅広い啓発的体験活動の意図的・計画的実施、保護者への積極的な情報発信の推進
  - ・ 児童生徒の個性や能力の把握、悩みを解消するための具体的指導やキャリアカウンセリングの充 実
  - ・ 進路に関する情報や資料を整備・蓄積し、効果的な活用
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成
  - ・ 家庭や地域社会の協力を得た職場見学,職場体験等の更なる充実

#### (7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障がいのある子供が、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

#### ア 校内支援体制の整備・充実

- ・ 校内及び校種間における引き継ぎ体制の整備と組織的・継続的支援
- ・ 全教職員の専門性の向上

#### イ 指導の充実

・ 個に応じた適切な教育課程の編成と指導と評価の充実

- ・ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ・ ねらいを明確にした交流及び共同学習の実施
- ウ 家庭や地域社会及び関係機関との緊密な連携
  - ・ 将来の自立や社会参加にむけて個別な支援計画の作成と家庭や地域社会及び関係機関との緊密な連携

#### (8) 環境教育の推進

一人一人の子供が、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性 を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
  - 全教職員による趣旨の共通理解と協力体制の整備
  - 各教科等との関連を明確にした年間指導計画等の作成・改善
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
  - 小学校と中学校の連携に配慮し、効果的で継続的な指導
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進
  - ・ 学んだことの実践を情報発信し、家庭や地域社会及び関係機関との連携の充実

#### (9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子供が,我が国や諸外国の文化と伝統について感心を高め,理解を深めるように全教育活動を通した計画的な指導の工夫に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等を活用
  - ・ 外国語による4技能(話す・聞く・読む・書く)を総合的に活用できるコミュニケーション能力を 図ろうとする態度の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の工夫
- (10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子供が、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
  - ・ 情報担当者を中心とした全体計画・年間指導計画の見直し、授業公開や活用事例蓄積といった I C T活用面での運用、学校情報セキュリティーポリシーの策定
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
  - ・ 学習に対する興味・関心を高める場面、わかりやすく説明する場面など、ICTの適切な活用
- ウ 家庭や地域社会と連携しながら児童生徒の安全を守る「情報モラル教育」の推進
  - ・ インターネット上のトラブルから身を守るための知識を身につける活動の工夫

#### (11) 総合的な学習の時間の充実

自校で育てようとする資質や能力及び態度を明確にした総合的な学習の時間の充実に努める。

ア 目標及びその趣旨の共涌理解

- ・ 総合的な学習の時間の目標及びその趣旨の五つの要素の共通理解
- イ 七つの要素を示した全体計画及び年間計画の改善
  - ・ 小学校と中学校の接続を意識した計画の改善
- ウ 他者と協同して問題を解決しようとする学習活動,体験活動,観察・実験,見学や調査,発表や討論 等の学習活動の工夫
- エ 評価方法の工夫
  - ・ 自校の目標や内容に沿った評価の観点の設定と育てようとする資質や能力及び態度の育成を適切に 評価するための評価基準の設定
  - ・ 学習の結果だけでなく、学習の過程の評価方法の工夫

#### (12) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、校内研修体制の整備・充実に努める。

- ア 全教職員による組織的・計画的な研修の整備・充実
  - ・ 校内外の研修から得た情報を共有する場の確保に努め、教育専門職として調和のとれた研修を推進
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究方法や評価方法等の明確化と検証の共有化
  - ・ 日常の授業実践に生かす、児童生徒の変容の評価・検証の工夫
- ウ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

#### (13) 幼稚園教育の充実

人格形成の基盤づくりと幼児の健やかな成長のために、幼児期の発達の特性と内面理解に立った環境 構成を工夫し、体験を重視した指導・援助に努める。

- ア 発達の特性に応じた指導の充実
  - ・ 小規模・少人数の特性を生かした指導計画の作成の工夫と改善
  - ・ 基本的な生活習慣や態度の育成
  - 幼児の内面理解に立った環境構成の工夫
- イ 集団のもつ教育力を生かした豊かな心の育成
  - ・ 遊びなどの体験を通し、自立と共同の態度・道徳性の芽生えを培う指導の育成
  - みずみずしい感性や創造性を育てる表現活動の充実
  - ・ 家庭や地域社会, 近隣の小学校や保育所等との連携

## 一学校と家庭、地域が連携を深め、地域社会全体の教育力の向上 社会教育行政の方針と重点

#### 1 方針

町民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

#### 2 重 点

- (1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成
  - ア 青少年の体験活動の充実
    - ・ 身近な地域における体験活動での、異年齢交流や世代間交流の促進
    - ・ 関係団体との連携による、活動内容の充実
  - イ 地域が支えるキャリア教育の充実
    - ・ 企業や関係機関・団体との連携による、キャリア形成のための学習機会の充実
  - ウ 地域全体で子どもを育む活動の充実
    - ・ 学校支援ボランティア組織への支援
    - ・ 学校・家庭・地域の協働による教育活動の充実
  - エ 家庭教育支援の充実
    - ・ 学校及び関係機関との連携による,幼児期、学童期、思春期の子どもを持つ親に対する 学習機会の充実
    - ・ 子育てサークル等の家庭教育支援団体の育成と支援
- (2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成
  - ア 地域活動の実践者の育成
    - 家庭教育支援や各種ボランティア活動等についての、新たな実践者の育成
    - ・ 地域課題に対応した学習機会の提供及び企画運営に参画できる体制づくり
  - イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
    - 各種ボランティア団体やサークルの地域活動の計画的支援並びに養成
    - ・ 資質向上のための研修機会の提供
  - ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
    - 各地域の指導者及びコーディネーター相互の交流機会の提供
    - ・ 関係機関・団体等と連携協力するためのネットワークづくりの推進
- (3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進
  - ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
    - ・ 多様な学習ニーズや地域課題に応じた学習機会や学習の成果を生かす機会や発表の場の 充実
    - ・ 関係機関との連携により学習内容の充実並びに主体的な学習活動の支援

- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援
  - ・ 各種発表会・イベント・地域行事への参加等,学習の成果を生かす機会や発表の場の充 実
  - ・ 学習者・参加者が企画立案にかかわるための実施体制の改善及び社会参加活動への支援
- (4) 社会教育推進のための基盤整備
  - ア 社会教育推進体制の充実
    - ・ 多様化する学習ニーズを反映させた社会教育計画の策定と、改善に役立つ事業評価の創意工夫
    - ・ 関係機関・団体との連携協力体制の強化
  - イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
    - ・ 地域の特色と、公民館、図書館等の社会教育施設の特性を生かした取り組みの推進と活 用の促進
    - ・ イベントや講座等の企画の充実と周知方法の工夫による,施設活用の促進
  - ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
    - ・ 社会教育主事や図書館司書, 学芸員等の有資格者の計画的な養成
    - ・ 社会教育関係職員の研修機会の充実と資質の向上
  - エ 社会教育関係団体等の活動の支援
    - ・ 社会教育関係団体指導者の各種研修への積極的な参加支援
    - ・ 指導者養成研修の計画的な実施

#### ※「人財」とは

青森県では、 '人は青森県にとっての「財 (たから)」である'という基本的考えから、「人材」を「人財」と表しています。この七戸町教育施策の基本方針でも「人財」という言葉で統一しています。

# ─伝統文化を尊重し、我が郷土に誇りをもつ態度の育成─文化財保護と芸術文化振興の方針と重点

#### 1 方針

町民一人一人が、郷土に対する愛着と誇りをもち、潤いのある生活の実現を目指すとともに、芸術文化の 伝承・創造や貴重な文化財の保存・活用の推進に努める。

#### 2 重 点

(1) 芸術文化活動の充実

芸術文化団体及びサークル等の自主的な活動を奨励し、その伝承・創造を促進するための支援に努める。

- ア 芸術文化に関する団体及びサークル等の育成
  - ・ 自主的な活動についての町内外への情報の発信
  - ・ 芸術文化団体及びサークル等の連携による発表会の機会の創設
- イ 鷹山宇一記念美術館等との連携
  - ・ 芸術文化団体及びサークル等への研修機会の提供
  - ・ 子ども・青少年が芸術に直接触れることのできる機会の提供
- (2) 文化財の保存・活用の充実

町内に存在する有形・無形の文化財等の保存・活用とその環境の整備に努める。

- ア 史跡二ツ森貝塚の世界文化遺産登録に向けた取組の推進
- イ 文化財の保存
  - ・ 歴史上や学術上価値の高い有形・無形文化財や埋蔵文化財、民俗文化財等の保存
  - ・ 文化財 保護の周知・啓発
  - 国史跡指定地の公有地化
- ウ 文化財の管理・活用
  - ・ 史跡や名勝、天然記念物の保存のための管理と環境保全
  - ・ 保管している文化財の公開展示と公開講座等の開催
- (3) 伝統芸能・工芸技術等の継承

郷土に伝わる伝統芸能・工芸技術等の保存・継承を奨励し, それに相応しい環境の整備に 努める。

- ア 伝統芸能・工芸技術等の保存
  - ・ 歴史的価値の高い伝統芸能・工芸技術等の町指定
  - ・ 記録の作成等による保存と情報の発信
- イ 伝統芸能・工芸技術等の継承
  - ・ 伝承活動及び後継者の育成に対する支援
  - 伝統芸能・工芸技術等の発表機会の奨励・支援
- (4) 文化交流センター施設の管理
  - ア 文化交流センター内にある資料の保存管理

## ―生涯を通して生き生きと学び続ける機会や場の提供― 社会体育の方針と重点

#### 1 方針

町民が、健やかで活力に満ちた生活の実現を目指すとともに、健康の維持増進・体力の向上に必要なスポーツ活動及び夢や感動を与える競技者・団体の育成等を通じて生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりの推進に努める。

#### 2 重 点

(1) 生涯にわたるスポーツライフの実現

心身両面にわたる健康の維持増進と体力の向上を図るとともに, 町民1スポーツの普及・奨励に努める。

ア スポーツに親しむ環境づくり

- ・ スポーツへの興味・関心を高める各種教室・講習会等の開催やスポーツ活動の機会の提供
- 健康とスポーツとの関わりや気軽にできる軽スポーツ等の情報の提供
- イ 地域スポーツ活動の普及・奨励
  - ・ 町民相互の連携及び地域の活力の醸成を図るスポーツ交流の普及・奨励
  - ・ 誰でも親しめる総合型地域スポーツクラブ設置の取組

#### (2) 競技者の育成を図る環境づくり

競技者の競技力の向上を図るとともに、トップレベルの競技者の育成に努める。

- ア 競技力を高める環境づくり
  - ・ 町体育協会やスポーツ少年団等の自主的な活動の奨励・支援
  - ・ スポーツ科学を導入した指導者の養成と研修機会の提供
- イ 各種スポーツ大会出場の奨励
  - ・ 競技選手の強化練習の充実
  - 指導技術に長けた指導者の活用

#### (3) スポーツ振興の体制整備

生涯にわたるスポーツライフの実現を目指し、スポーツに親しみ競技力を向上させる体制 整備に努める。

#### ア 指導者の確保

- 要請に応じて地域やスポーツ団体へ派遣できる指導者の人材バンクへの登録・活用
- ・ スポーツ推進委員や体育協会会員の研修会・講習会等への派遣

#### イ スポーツ振興の充実

- ・ 体育協会を中核として各種スポーツ団体や職域団体,地域の代表等の相互理解に基づく 生涯スポーツへの取組
- 構成する各種団体からの指導者の相互派遣
- ウ 社会体育施設等の有効活用の促進
  - ・ スポーツ担当職員の研修の充実と実地指導による支援
  - ・ スポーツ活動に関する情報の収集・発信

## 一学校と家庭、地域が連携を深め、地域社会全体の教育力の向上 公民館の方針と重点

#### 1 方針

公民館は、社会教育機関として町民の学習要求に応えるほか、地域社会の活性化を図るために、 良好な人間関係を基盤とした住民相互の豊かな関係を醸成するなど、地域づくりの拠点となるこ とから、多くの町民が公民館に関心を持ってもらうとともに、更なる公民館利用促進につながる よう努める。

#### 2 重 点

- (1) 公民館等の充実及び活用の促進
  - ア より多くの住民が利用しやすい公民館となるような環境整備
    - ・ 施設や備品の計画的な整備促進
    - ・ インターネットを活用した施設予約サービスの充実
  - イ 自己啓発・向上に資する講座・研修会等の開催
    - ・ 子ども対象事業及び親子対象事業の充実
    - ・ 地域活動に参加できるきっかけ(地域デビュー)の提供
  - ウ 各分野のリーダーの計画的・体系的な育成
    - 新たな自主グループの発足に向けての相談や支援の充実
    - ・ グループ活動に繋がる主催講座の実施
- (2) 社会教育団体や学習サークル等の活動への支援
  - ア 学習活動を支援する指導者・コーディネーター等の紹介・斡旋
    - ・ 町内の人財活用
    - 利用者相互の交流の促進
  - イ 学習活動に必要な施設設備等の有効活用及び情報機器等による学習情報の提供
    - ・ 県及び上北教育事務所管内で開催されるイベント及び各種講座, 学習会の周知
  - ウ 各種発表会・展示会等,文化創造活動の機会と場の提供
    - 活動成果の積極的な披露

### 図書館の方針と重点

#### 1 方針

地域住民の資料や情報センターとしての役割を果たすとともに,ボランティア団体等の活動の 支援や利用者のニーズに対応した環境整備と情報提供に努める。

#### 2 重 点

- (1) 図書資料の整備充実と利用の促進
  - ア 図書館資料の充実
    - ・ 蔵書のバランスを考慮し、かつ利用者ニーズに対応した一般書・児童書の収集整備
    - ・ 地域資料の積極的な収集整備
  - イ 図書館サービスの充実
    - ・ 予約・リクエスト・相互貸借サービスの利用による、利用者と本を結びつけるための、迅速・適切 な対応
    - ・ レファレンスサービス (図書館資料を用いての調べもの案内) の強化

#### (2) 読書活動の推進

- ア 子ども読書活動の推進
  - ・ 幼児・児童が本に親しむ環境の整備
  - ・ 日頃読書習慣のない児童に向けた、本に触れる機会の提供
  - 「ブックスタート事業」の推進
  - ※ 乳児が絵本をとおして家族との触れ合いの時間を持ち、さまざまな子育て支援につなげるきっかけづくりを行う。
- イ 生涯学習の推進及び支援
  - 生涯学習のきっかけとなる、さまざまな文学作品に触れる機会の提供
  - 読書団体への資料提供等協力や催事への後援
- ウ ボランティア活動の育成と支援
  - ・ 図書ボランティアの円滑な活動のための各種研修会への派遣や活動機会の提供

## Ⅲ 平成29年度教育委員会の活動状況について

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)により、平成29年5月17日から教育長及び4人の委員をもって組織し、学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関することや教育財産の管理に関すること、学校の教育課程、学習指導、生徒指導等に関すること等を管理、執行した。

#### 1 教育委員の構成

平成30年3月現在

役	職名	氏	名	任	期
教	育 長	神	龍 子	平成29年5月17日	~平成 32 年 5 月 16 日
教育長	職務代理者	附	田道大	平成28年5月17日	~平成 32 年 5 月 16 日
委	員	内	山 優	平成27年5月17日	~平成31年5月16日
委	員	Щ	本貴子	平成26年5月17日	~平成30年5月16日
委	員	附	田由喜枝	平成29年5月17日	~平成33年5月16日

#### 2 教育委員会の開催状況

七戸町教育委員会の会議は、毎月1回開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催している。 また、所管する事項について調査及び研究を行い、現状の把握や課題の解決に努めるなど、教育行 政の推進を図っている。

#### (1) 教育委員会会議(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

開催	回 数		付 議 案 件	:
定例会	臨時会	報告	議 案	協議
1 2	1	3 3	5 3	4

#### 3 教育委員の会議以外の活動状況

教育委員は、毎月1回開催する定例会議、必要に応じて臨時会議に出席しているほか、学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、研修会や教育委員会主催の各種行事に参加し、委員としての幅広い識見を養い、当町の教育行政の向上に努めている。

#### (1) 主な活動

学校訪問(幼稚園、小学校4校、中学校2校)	上十三教育委員会連合会研修会
青森県教育委員会連合会研修会	東北六県教育委員会連合会研修会
幼稚園、小・中学校の入学式や卒業式等の学	成人式
校行事	双八五
教育奨励賞授与式	教育福祉援助基金授与式
奨学生選考委員会	

### Ⅳ 平成29年度教育委員会の事務事業に対する意見書

七戸町教育委員会の事務事業評価の取り組みは、平成21年度に実施した平成20年度事務 事業分から開始し、10回目の事業評価となるが、事業内容等が改善し、教育の充実が図られ るよう評価を行ってきた。

平成29年度事務事業に対して、同様に評価し審議した結果、以下のとおり、意見を述べる。

- 1 特色ある学校づくり推進事業は、学校において通常の授業では得ることのできない知識や教養を、経験や体験を通して身につけさせ、生きる力を育むための重要な事業であるが、学校独自の企画力を十分に発揮させるためには、財源が乏しいと感じる。学校が効果的に事業を行えるようにするため、事業予算を増やしてほしい。
- 2 国際化に対応する教育の推進について、英語教育を充実させることが重要であ り、特に、小学校の英語教科化に向けた対策を行う必要がある。小学生の英語指 導については、外国語指導助手の派遣により充実しているが、教員の指導力養成 の対策として、教員を指導するコーディネーターの配置を拡充してほしい。
- 3 町立美術館の指定管理委託事業について、特別展の開催と情報発信体制の充実で良好な運営がされており、それに伴い入館者数も増加傾向に推移していると評価する。良好な運営の継続を望むとともに、より良いサービスを提供するために、教育委員会の強力な指導のもと、外部の情報収集や第三者の意見を取り入れ、さらなる活性化につなげてほしい。
- 4 町民スポーツ交流会や健康増進生涯スポーツ普及事業など、スポーツの普及と 事業に参加させるための創意工夫や誠実な努力が認められる。一方で、人口減少、 とりわけ若年層の減少や、高齢化が要因となり、参加者が少なく、全体的にみる とスポーツの活性化が足りないように見受けられる。

各事業の統廃合を行い、効率化・省力化を図るとともに、スローガンを掲げて、 参加者にポイント制を導入し、ポイントによって健康診断費用の助成、コミュニ ティバス利用券、体育館等公共施設の利用券等、特典を付与するといった事業の 改善と、他の所管事業とのコラボレーションを試行し、検証してほしい。 5 七戸町連合婦人会育成事業について、同婦人会は、長年にわたり、婦人の社会 的地位の向上と婦人活動の育成のために多大なる貢献をされてきたが、会員の高 齢化と新規加入者が少ないことから、本事業が立ち行かなくなることが懸念され る。

今後は、同婦人会だけに依存するのではなく、女性の方々で組織する全ての団体や事業を抜本的に見直し、新たな枠組みづくりに着手し、新規加入者も望める組織づくりを検討してほしい。

#### 平成30年10月26日

#### 七戸町教育評価審議会

委員 松林 和子

委員 石田隆平

委員 富浦 一行

## V 平成29年度施策別主要事業一覧

	施策 分野		重点項目	事業	細目	番号	事業名	所管※	継続	充実	廃止	縮小	統合	完了	見 検直 討し	その他
		(1)	授業の充実	1	(1)	_	町費負担臨時教員配置事業 臨時講師配置事業	学務 学務	•	•						
				1	(2)	1	七戸町教育奨励賞	学務	•	•						
		(2)	道徳教育と特別活動の充実				教育福祉援助基金給付事業	学務	•							
	学	\-/					奨学資金貸付事業	学務	•	•						
	校			1	(2)		特色ある学校づくり推進事業 学校検診事業	学務	•	•					•	
	教			1	(3)		子仪使衫争亲 七戸町学校保健会補助事業	学務 学務	-	•						
	育 の	,.,	All the set of the set				七戸町児童生徒対外遠征費補助事業	学務	•							
1	方	(3)	体育・健康教育の充実			4	要保護及び準要保護児童生徒就学援									
	針					4)	助事業	学務	•	•						
	٤						学校給食費給付金交付事業	学務	•	•						
	重 点			1	(4)		特別支援教育支援員配置事業	学務	•	•						
	<i>M</i>	(4)	特別支援教育の充実				学校生活相談員配置事業 就学指導委員会	学務 学務	•	•						
							<u> </u>	学務	-							
		(5)	国際化に対応する教育の推進	1	(5)		外国語指導助手(ALT)派遣事業	学務	•	•						
				1			七戸町教育振興会補助事業	学務	-							
		(6)	研修の充実		(0)		ふるさと研修事業	学務	-	ě						
	社			2	(1)		家庭教育支援総合推進事業	生涯	•							
	숲	ĺ			Ľ	2	放課後子ども教室推進事業	生涯	•	•						
	教育	(1)	学校・家庭・地域の協働による未			3	ふるさと学びあい推進事業	生涯			•					
	育 行	`-'	来を担う人材の育成				異文化交流事業	生涯	•							•
	政						国際交流推進事業	生涯	•				_			
2	0	(0)	**************************************		(0)	_	理科クラブ	生涯	_				•			
	方		次代を担う青少年の育成	z	(2)	W	成人式開催事業	中公	•						•	
	針と	(3)	活力ある地域コミュニティの形成に向 けた人材の育成	2	(-,	ļ -	町民大学講座開設事業	生涯	•							
	重 点	(4)	社会教育推進のための基盤整備	2	(4)	_		生涯	•							
	从				(4)		青少年育成七戸町民会議	生涯	•							
	文	(1)	世後されて動った中	3	(1)		町立美術館の指定管理委託事業	生涯	•							
	化化	(1)	芸術文化活動の充実				文化芸術鑑賞事業 オータムフェスタ(文化部門)開催事業	生涯	•							
	の財 方保			3	(2)		世界文化遺産登録に向けた取り組み	世界	-							
3	分離	(0)		- 3	(2)		二ツ森貝塚史跡公園管理業務委託事業	世界	÷							
-	کے کے ع	(2)	文化財の保存・活用の充実				史跡土地買い上げ事業	世界	•							
	重芸						国指定有形民俗文化財の保管	生涯	•							
	点術	(3)	伝統芸能・工芸技術等の保存	3	(3)		七戸町郷土芸能保存会支援事業	世界	•							
	文	(4)	文化交流センター施設の管理				文化交流センターの活用の充実	世界							•	
		١.,		4	(1)		七戸町ジュニアスキースクール	生涯	•							
		(1)	生涯にわたるスポーツライフの実現			_	町民スポーツ交流会	生涯	•						•	_
	社			_	(0)		体育協会加盟団体によるスポーツ大会	生涯	•							
	社 会 体			4	(2)		青森県民駅伝競走大会 体育協会補助事業	生涯生涯	•							
	育							生涯	-							
	の						体育協会大会派遣事業									
4	方	(2)	競技者の育成を図る環境づくり			4	(郡総合・北奥羽・県民体育大会)	生涯	•							
	針					<u></u>	七戸町スポーツ大会等選手派遣	井油								
	ک <del>د</del>					5	補助事業(東北大会・全国大会)	生涯	•							
	重 点				ļ		健康増進生涯スポーツ普及事業	生涯	•							
	***	(0)	ッポーツ作館で午町乗曲	4	(3)		スポーツ推進委員研修	生涯	•							
		(3)	スポーツ振興の体制整備		-	_	スポーツ顕彰表彰	生涯	•							-
+				5	(1)		各種大会開催や合宿等の誘致 公民館運営審議員設置事業	生涯中公	•							
	人人	ĺ		J	11)		中央公民館(施設)事業	中公	-							
	公 民	ĺ				_	中央公民館分館事業	中公	•	•						
	館	(1)		_		-	中央公民館講座開設事業	中公	•							
	の	(1)	公民館等の充実及び活用の促進			⑤	寿大学開設事業	中公	•	•						
5	方						柏葉大学開設事業	南公	•	_						
	針 と	ĺ					七戸南公民館講座開設事業	南公	•	•						
	重	<u> </u>		F	(0)		七戸南公民館分館事業	南公	•	•						<u> </u>
	点	(2)	社会教育団体や学習サークル等の	อ	(2)		文化協会の育成支援事業 七戸町連合婦人会育成事業	中公中公	•							-
		`	活動への支援				<u> 七戸町連合婦人芸育成争業</u> 中央公民館だより発行事業	中公	+	•						
	図			6	(1)		中央公民館図書室事業	中公	•	_						
	書	(1)	図書資料の整備充実と利用の促進		\ <u>`</u>		図書館サービス事業	中図	•							
	館の						図書館協議会の運営	中図	•							
6	方			6	(2)			中公	•							
	針	(2)	読書活動の推進			_	ボランティア活動の育成支援事業	中公	•							
	重	(2)	から 10 男 ソル 医			3	子どもの読書活動推進事業(中央図書館)	中図	•							
	点	L						中図	•							
		_	生涯:生涯学習課 世界:世界遺産対	44.			: 中央公民館 南公: 南公民館 中図:			s. L.	_		_			_

※学務:学務課 生涯:生涯学習課 世界:世界遺産対策室 中公:中央公民館 南公:南公民館 中図:中央図書館

	事業絲	田目番号	1(1)①		担当課	学務課	担当者	工藤	和賀子
事	業	名	町費負担臨時教員	配置事業					

		年	度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事		決算	額(千円)	15,681	19,171	21,192
業	財	国•	県支出金			
未	源	そ	の他			
費	内	町	債			
	訳	_	般財源	15,681	19,171	21,192

	□目的	□ 内容
事業概	各校の教育課題を解決するため、町独自の教員(臨時講師)を採用し、教育環境の充実による「確かな学力の定着」・「生徒指導の充実」等を図る。	1 七戸町教育委員会が求める人材 ・豊かな教養、人間性、社会性を兼ね備えた教師 ・教育に対する情熱と教育者として強い使命感をもって取組む教師 ・子ども理解に優れ、教育の専門家として知識・技能を備えた教師
要		2 採用方法 ・広報、町HPで募集し、選考試験を実施。

<del></del>	年 度 項目(単位)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
事業	配置校·配置人数	七戸小学校	1名	七戸小学校	1名	七戸小学校	2名
効		天間西小学校	1名	天間西小学校	1名	天間西小学校	1名
果		七戸中学校	1名	七戸中学校	1名	七戸中学校	1名
		天間舘中学校	1名	天間舘中学校	1名		

	評	価	項	目	評 価
	①必要性(町民が必要としていますか)	)			
	A 町民ニーズは高い	B 町民	ニーズは低い(ない	)	A
	②妥当性(町が行うべきですか)				
事	A 町が行うべきである	B 町が	行う必要性は薄れて	ている(ない)	A
	(Bの場合) (ア)国・県が行う	べき (イ) 目	民間で実施可能	(ウ)その他	
	③有効性(期待された効果は上がって	いますか)			
	A 成果は上がっている	B 成果	は上がっていない		A
2114-					
業	④公平性(事業の効果が公平に配分さ	<b>ぶれていますか)</b>			
	A 公平に配分されている	B 公平	に配分されていない	`	A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないで	すか)			
評	A コスト削減の余地はない	B コスト	削減の余地はある		
-	(Bの場合) (ア)受益者負担	(イ)事業の	の簡素・効率化	(ウ)民間委託	A
	(エ)他事業との経	売合・連携	(オ)適切な財源のi	選択 (カ)その他	
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に	•			
	A (75%)	B (50%)	C (25%)	)	A
価	優先性が高い	_ (==,,,,		<i>,</i> 低い	
	評			P-as .	
	畑	ニスチュル 五子(	20年 英立さ 中長1	<b>ブ</b> 1、フ	
	の			べいる。	
	元元	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	11(4) 日 ( '0		
	明明				

今後の取組・課題	■ 継続 ■ 充実 □ 廃止 □ ; □ 統合 □ 完了 □ 引続き見直し □ その他(	縮小	平成30年度は平成29年度と同数の人員を配置。(新採用1名、継続3名。七小2名、西小1名、七中1名。) 県費負担教員に採用されるなど、欠員が生じた場合の人材確保が課題となっており、募集の周知等について検討が必要。
----------	--	----	---

	事業細目番号	1(1)②	担当課	学務課	担当者	中村 大樹
	事業名	臨時講師配置事業	,— ¬,»,ı	3 22 51	,	1 14 > 4124
		, v , v , v ,				
	年 度	平成27年度	平成2	28年度	平成29	9年度
事	決 算 額(千円)		0	0		0
業	財 国·県支出金					
	源との他					
費	内 町 債					
	一般財源					
	□ 目的		□ 内容			
事		<sup>-</sup> るため、希望する学校へ非常勤詞		条県教育委員会の	事業で、町の負担	旦はない。
業	師を派遣して、児童生徒1	人1人に対して決め細かな学習指	<b>授業の指導のみ</b>	ではなく、学級指	導や給食指導も行	<b>弄</b> う。
概	導を行うことによって、学力	りの同上を図る。	本年度は、あおも 置した。	りっ子育みプラン	21により大間西月	\字校へl名配
151			<u></u>			
要						
	年 度	平成27年度	平成2	28年度	平成29	9年度
事	項目(単位) 配置校·人数	七小3名、天中1名、榎中1	タ 七小1夕 而7	小2名、七中1名、		西小1名
業効	<b>北色区 八</b>	17.04(八十14(阪十1	4 67.121, 67.	榎中1名		□\1.1\□
果				12.17.1		
		•				•
		評	項	<u> </u>		評価
	①必要性(町民が必要とし		St. 1 Introduction ( )			
	A 町民ニーズは	高い B 町民ニーズ	は低い(ない)			В
		(すか)				
事	A 町が行うべきて		要性は薄れている(	たい)		В
,				7)その他		ア
	③有効性(期待された効果					
	A 成果は上がって	ている B 成果は上が	っていない			А
業						
*		公平に配分されていますか)				
	A 公半に配分され	れている B 公平に配分	分されていない			А
	○対本性(	はかけないできる。)				
∓त≉	⑤効率性(コスト削減の余 A コスト削減の余		の会長けなる			Λ.
評		受益者負担 (イ)事業の簡素		) 早間禿針		A
		他事業との統合・連携 (オ)				
	⑥優先性(優先性の高い)		22 94 6674 1671 1971	(77) (7)		
		(75%) B (50%)	C (25%)			А
価	優先性が高い		低い			
	評					-
	価本事業は、小中	学校を対象とした青森県教育	委員会の事業では	ある。非常勤講師	<b>币を配置すること</b>	によって、他
	の教員の負担が	「軽減され、児童生徒への指導	算が充実するなど教	教育環境全体の	効果を上げてい	る。
	明					
	!					
今後			・光は末本旧地大	子早 八古 ツィン	n == 0 =1-1-1-1	1447チ, かいユ_
の取	■継続□充	実 □ 廃 止 □ 縮 小 木い	業は青森県教育 事業であるため、	安貝云事業であ 費用対効里がも	)ツ、町の財政的 (きい	) 東 担 を 伴 わ ) 車
組	□統合□完	了 □ 引続き見直し検討 大し	てきている中で、り	児童へのきめ細:	かな学習指導に	対果が大き
課	□ その他(	いた	め、継続して県に	対して要望・申	請する。	
題	(	/				

	事業細目番号	1(2)①	担当課	学務課	担当者	天間 正子					
	事 業 名	七戸町教育奨励賞									
	<b>F E</b>	T-405 F #	77.450	- <del>-</del>	# <b>4</b> 00 <b>F</b>	- Hr					
事	年 <u>度</u> 決 算 額(千円)	平成27年度	平成28		平成29年						
7	国 旧士山人	178	3	102		78					
業	財 国・県支出金 源 そ の 他										
<b>#</b> .	源 そ の 他 内 町 債										
費	一般財源	178	2	102		78					
	/1/2 75/1 1//5	110	<u>'I</u>	102							
事業概要	いて優秀な成績を収める	対育文化活動・スポーツ活動におた団体及び個人を表彰すること 成を図ることを目的とする。		った者の中から教	及び各種スポーツクサイスの						
	I	T	T								
事	年度 項目(単位)	平成27年度	平成28	8年度	平成29年						
業	特別優秀賞	個人の部2名		体、個人の部1名		該当者なし					
効果	最優秀賞	個人の部3名		個人の部9名		個人の部2名					
木	優秀賞	団体の部3団体、個人の部14名		本、個人の部16名		個人の部13名					
	優良賞	団体の部2団体、個人の部29名	団体の部8団体	本、個人の部24名	団体の部6団体、1	固人の部14名					
		 評	項			評価					
	①必要性(町民が必要と A 町民ニーズ)	としていますか) は高い B 町民ニーズ(		H		А					
事		eである B 町が行う必要 ) 国・県が行うべき (イ) 民間	要性は薄れている 引で実施可能	(ない) (ウ)その他		А					
業	A 成果は上が		っていない			А					
	A 公平に配分	が公平に配分されていますか) されている B 公平に配分	されていない			А					
評	(Bの場合) (ア (エ	余地はない B コスト削減の )受益者負担 (イ)事業の能 )他事業との統合・連携 (オ	第素・効率化		亡の他	B (イ)、(エ)					
価	⑥優先性(優先性の高い A 優先性が高い	ハ順に3段階に分類) (75%) B (50%)	C (25%) 低い			В					
lbood	評価 七戸町教育奨励賞表彰要綱を新たに整備し、表彰基準を満たした者について審査することや、県大の 会以上の大会を表彰基準とすること、高校生の文化活動に対する基準を明確にしたことにより、公平 性を改善した。										
今											
後の取組・課題		より、え プロー 引続き見直し検討 き、表	長彰基準の該当	率が高くなって 検討し、児童		っ、引き続					

		中州	· /m 口 亚 口	1(2)②	1		+u 1/1 ≑⊞	<b>兴</b> 丞钿	+□ \// <del>  ★</del>	工門 エフ
	事	争業業	:細目番号 名 名	教育福祉援助基金	<b>人</b> 公公主要		担当課	学務課	担当者	天間 正子
	#	未	<u>4</u>	教育簡単版奶茶:	並和刊尹未					
	年		度	平成2	7年度		平成	28年度	平成	29年度
事	決	算	額(千円)		]	,500		1,500		1,500
業	財		県支出金			=00		1 = 00		1 = 0
費	源 	そ 町	<u>の他</u> 債		]	,500		1,500		1,500
貝	訳一	•	 般 財 源							
	<u> </u>		24 7.4 10.11							
事				.14 34 34 51	() - 호(이, LL		内容	L=m-0 L=		H-0 24 F-1-+24
業				校へ進学し、勉 なる生徒に対し、				七戸町民で、七戸		
*	自覚と	:誇り	を持ち学業に	こ励んでもらうたる	めに、入学	祝業		え は 績評定が3.5以		
概	金とし	て奨	学金を授与	する。						
要										
	項目()	<b>並付)</b>	年 度	平成2	7年度		平成:	28年度	平成	29年度
事業	給付金		3)		1,500	),000		1,500,000		1,500,000
効	給付者	数				30人		30人		30人
果	給付金額(1人当たり)				50	),000		50,000	50,000	
				評	価		項	E		評価
	①必要			<b>」ていますか)</b>						
		ΑĦ	丁民ニーズは	高い	B 町民二-	-ズは低	い(ない)			А
	②妥当		丁が行うべきて	·すか)						
事			丁が行うべきて		B 町が行う	必要性	は薄れている(	(ない)		А
				国・県が行うべき		間で実施	可能 (ៗ	ウ)その他		
	③有效			果は上がっています ている		. Li -	· <del>/</del> · · ·			
		Ад	<b></b> 大果は上がつ	(いら	B 成果は上	こかつ(ハ	, 12 h			A
業	<ul><li>④公平</li></ul>	性(事	¥業の効果が	公平に配分されてい	ハますか)					
		A 4	公平に配分され	れている	B 公平に西	記分され	ていない			А
	@#J#	: Lil. /		[Ha) 1.36 \ \ - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						
評	⑤ 郊学			:地はないですか) :地はない	R コスト当じ	咸の全州	ルナあろ			A
时	(В	·・ の場台		受益者負担				)民間委託		7.1
			(工)	他事業との統合・這	連携(ジ	オ) 適切7	な財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先	性(優		順に3段階に分類)						
価	/百	ᄮᄮ		75%) B	(50%)	(	C (25%)			A
	評	元性ル	ぶ高い				低い	`		
	価	山冶	がおままにで	直接交付すること	たとり 田工人	・」で期々	きの音を伝う	ラストレができ 修	<b>※学の音差に、</b>	ついて老うても
	の 説	らう」	良い機会とな	よっている。 そのこ	ことが修学	意欲の向	内と心感を伝え	、その後の郷土	プラック 息報に 愛の発揚にも <del>1</del>	寄与している。
	明									
Δ	I	•								
今後の										
の取		継		実 □廃止□	手			<b>成果を得られて</b> お	おり、今後も、基	基金が継続可
組•		統	合 □ 完	了 □ 引続き見	直し検討  能	色の間、	継続していく	Ō		
課題	□ その他( )									

		争業部		•				
	事業細目番号	1(2)③	担当課   学務課	担当者 中村 大権	ţ			
	事 業 名	奨学資金貸付事業						
_	年    度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事		16,160,000	19,040,000	18,152	,000			
業	財  国·県支出金							
	源 その他	16,160,000 19,040,000						
費	内 町 債							
	一般財源							
事業概要		者の子弟で、学業の優れた学生及 由により就学が困難なものに対して 成を図る。	□ 内容 貸付を受けることができる者は、 部、学科及び課程に在学する者、 修学校の専門課程に在学し、父氏 上住所を有する者、外国の大学に 貸付額は、大学に在学する者は する者は5万円以内、大学又は専 金として50万円を限度に貸し付け	又は法第82条の3に規定する はな後見人等が七戸町に1 在学する者。 4万円以内、外国の大学に在 門学校に進学する者は入学・	5専 年以 :学			
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事	項目(単位) 貸付額(円)	16,160,000	19,040,000	18,152	000			
業効	貸し付け者実人数	31	35	10,102	33			
果	新規採用者	6	15		12			
	滞納額(円)	2,285,000	1,847,000	1,472	,100			
		 評	項 目	評(	価			
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは ②妥当性(町が行うべきて	高い B 町民ニーズは	は低い(ない)	A				
事	A 町が行うべきて (Bの場合) (ア) ③有効性(期待された効!	国・県が行うべき (イ)民間で気	性は薄れている(ない) 実施可能 (ウ)その他	A				
業	A 成果は上がっ、	ている B 成果は上がっ	ていない	А				
<i>/</i> /C	(4)公平性(事業の効果が A 公平に配分され	公平に配分されていますか) れている B 公平に配分さ	されていない	A				
評	(Bの場合) (ア)	<ul><li>・地はないですか)</li><li>・地はない B コスト削減の気</li><li>・受益者負担 (イ)事業の簡素・</li><li>他事業との統合・連携 (オ) 適</li></ul>	・効率化 (ウ)民間委託	A				
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い		C (25%) 低い	A				
		がく、保護者の経済的支援をして 果が上がっている。	いる。大学等進学率など教育を	受ける機会の増加に効果	を			
今後の取組・課題			け申請や償還の事務処理を効 より安定的な運営を行うことがで るため、その制度設計の見直し	き、長期にわたる運営を可				

	事業	<b>詳細目番号</b>	1(2)4		担当課	学務課	担当者	天間 正子
事	業	名	特色ある学校づくり	推進事業				

	年 度 決 算 額(円)		度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事			円)	1,000,000	999,916	919,000
業	財	国・県支	出金			
未	源	その	他			
費	内	町	債			
	訳	一般則	· 源	1,000,000	999,916	919,000

事	□目的		□ 内容	
				要からは七戸町特色ある学校づくり推進事業に変 小中学校が、通常の授業では得ることのできない教
		れる教育活動を推進することを目的とする。	育活動を企	画し、予算の範囲内において、学力向上を掲げる
概				オ費や専門的な知識・技術を有する外部講師に対
要			する謝化金	会等各学校において柔軟な事業を実施した。

事業	年度項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	対象小学校件数	4校	4校	4校
効	小学校補助金額	560,000円	574,916円	608,000円
果	対象中学校件数	3校	3校	2校
	中学校補助金額	440,000円	425,000円	311,000円

	評 価 項 目	評 価								
	①必要性(町民が必要としていますか)									
	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)	A								
	②妥当性(町が行うべきですか)									
事	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない)	А								
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他									
	③有効性(期待された効果は上がっていますか)									
	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない	В								
業										
//	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)									
	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない	А								
	②共本地 (ユョ) *(i)+の ( ) (b) 1-と) (マート) (									
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)	D								
評	A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある	В								
	(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託	(イ)、(オ)								
	(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他									
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	D								
/	A (75%) B (50%) C (25%)	В								
価	優先性が高い 低い									
	部									
	□ 価 日本の中学校の特色を生かした行事等を自由に計画できることから、各校からのニーズがある。 □ 学校の規模(児童生徒数等)により補助金の配分を決定し、各校で教育目標を達成するために独創的	・ 柔軟的に								
	説 事業を実施できている。	***/II/C								
	明									

後の ■ 継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮取 □ 統 合 □ 完 了 ■ 引続き見直し検討 □ その他( ) :	平成26年度から平成28年度までおもいやり事業とし、平成29年度からは特色ある学校づくり事業に変更したが、事業実施内容に変更はない。現時点で目的を達成できているかどうか判断するのは難しい。各学校からの事業継続の要望は大きいが、特色のある学校づくりの成果を出すための手段が、補助事業の形態でよいのかどうか、実施された事業による効果をどう判断するのか、今後、検討を重ねていく必要がある。
---	---

			1(0)(1)	_	(m.)(a.m.	W 74-3H	I markata a	
		事業細目番号	1(3)①		担当課	学務課	担当者	髙田 理恵
	争	業 名	学校検診事業					
	年		平成27年	F.度	平成2	28年度	平成29年	F度
事	決算	算額(千円)		1,58	6	1,416		1,430
業	財	国・県支出金						
	源	その他						
費	<b>⊒</b> □	町 債		1.50	0	1 410		1 400
		一般財源		1,58	6	1,416		1,430
事	□目的	J			□ 内容			
業	学校保例	建安全法に基っ	がき、健康な学校生活	舌を送れるよ	・目の疾病およ	び異常の有無		
		と実施し、疾病の	の予防や健康づくりの	の意識を高め			小学1・4年生、中学	1年生)
概	る。				<ul><li>・尿検査</li></ul>	い共市の有無(/.	N子1·4平生、中子	1十生)
要					•貧血検査			
	項目(出	年 度 位) (人)	平成27年	<b>F</b> 度	平成2	28年度	平成29年	F.度
事業	項目(単 眼科検討			56	7	509		518
· 亲	耳鼻科			1,09	6	1,037		997
果	尿検査			1,16	3	1,099		1,060
	心電図標	<b>食査</b>		38	7	296		338
			評	価	 項			評価
	①必要性		ー としていますか)	lmi	^	Н		н іш
		A 町民ニーズ	は高い	B 町民二	ーズは低い(ない)	)		A
	@ 51/41	d. /m→ ) % / ニ > _ ッ ン						
事	_	生(町が行うべき A 町が行うべき		D 町が行	う必要性は薄れて	1.12 (+21.1)		A
7			・、 <i>。</i> 。。 ・)国・県が行うべき		プ心安住は傳和して 間で実施可能	(ウ)その他		Λ
	,		効果は上がっていま			() / ( )		
		A 成果は上が	っている	B 成果は	上がっていない			А
業	<b>Ω</b> Λ πεν	4./ 古米の共田	27.八元15年7.ハチ15~	n (4-4-2.)				
			が公平に配分されて されている		配分されていない	`		A
		A 五十に配力	G40 C4?	D ATIC	ELD CALCA			11
	⑤效率性	生(コスト削減の	余地はないですか)					
評		A コスト削減の	余地はない	B コスト肖	減の余地はある			A
	(B <i>0</i>		)受益者負担					11
	◎ 唐 仏 ↓		・)他事業との統合・		オ) 適切な財源の	選択 (カ)そ	での他	
	6)慢先性		ハ順に3段階に分類 (75%) - E	(50%)	C (25%	)		A
価	- 優先	性が高い	(1970)	0 (00/0)	低(25%)			Λ
	評	117% 191			PAN	<u>'</u>		
	価	学校保健安全	≧法に基づいた検	杏を行い	在学する児童生	: 徒の健康状能	を把握するととも	に 早期治
			ことができている。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	THE FRENCH VIEW		-( 1 ))
	明							
	·!							
今後							こしたことにより、	
の取	<b>■</b> ;	継続 ■ 充	実 □ 廃止□				。今後の課題は、 意見交換を綿密り	
組•	;	統合口完	了 □ 引続き見	'単し快的   程	<b>副整の際の留</b> え	意事項を確認し	。	
課題		その他(		) す	ることが必要で	ある。		

					•			
	事業細目番号	1(3)②	担当課  学務	課	担当者	髙田 理恵		
	事 業 名	七戸町学校保健会補助事業						
	左 疟	亚比97年库	亚代90年度					
事	年 度 決 算 額(千円)	平成27年度	平成28年度	200	平成29年度			
,	国•胆支出会	20	1	200		200		
業	財							
費	内町債							
	一般財源	20	00	200		200		
事	□ 目的 □ 七戸町内の幼稚園・保育	「園・小中学校及び七戸高校・七)	□ 内容 □ □ 内容 □ □ 学校保健衛生の施策に	分する位	<b>4.</b> →			
業	養護学校の児童・生徒の	健康増進を図る。また、養護教	②保健衛生思想の普及啓	発				
	諭、保健主事の資質向上	<u>:</u> を図る。	③学校保健に関する調査の ④学校関係者の指導および		業計画および実践			
概			⑤学校保健施設の助成	⑦家	足庭における保健思			
要			⑥学校保健資材の斡旋 指導	(8)学	や校給食の実施・促済	<b>進及び管理</b>		
			7.7					
	年度	平成27年度	平成28年度		平成29年	<u> </u>		
事	項目(単位) 全国学校保健主事・	愛媛県 「子供たちの意志決定能力を育てる 〜健康教育とライフスキル教育のコラボレーシ	北海道「子供たちの学校生活を護るた					
業	学校保健研究大会研	ン」	連携と他職種連携」		が持てるようになる養護臨床  天間東小「思いやりと笑)			
効果	七戸町学校保健研究大会	天中 「清掃時体育(マッスル)で体力づくり」	城南小「生活習慣の確立は一生を レゼント」					
	保健主事研修会	7月:花に触れ合うということ	7月:水と健康についてのお話	8	8月 夏季合同研修会			
	IJ	1月:普通救命講習会	1月:普通救命講習会	1	12月 冬季合同研修会(	(普通救命講習)		
	Ī	評 価	項			評 価		
	①必要性(町民が必要と	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 供	<u> </u>		計 加		
	A 町民ニーズル		ーズは低い(ない)			A		
事	②妥当性(町が行うべき	でナかり				_		
7	A 町が行うべき		う必要性は薄れている(ない	·)		A		
			間で実施可能 (ウ)その					
	③有効性(期待された効	カ果は上がっていますか)						
業	A 成果は上がっ	っている B 成果は	上がっていない			A		
未	のハ五世(古米の共用)	いり立つエストレーン・ナートン				_		
		が公平に配分されていますか) されている B 公平に	一冊八されていない			A		
	A 公平に配力で	340000 D 公平6	一部の方ですりてくいなく			Λ		
評	⑤効率性(コスト削減の会験)	 余地はないですか)						
н	A コスト削減の	余地はない B コスト肖	川減の余地はある			Δ.		
	(Bの場合) (ア	)受益者負担 (イ)事業の	簡素・効率化 (ウ)民間	]委託		A		
	(エ	)他事業との統合・連携 (	オ)適切な財源の選択	(カ)そ	の他			
価	⑥優先性(優先性の高い							
Іші		(75%) B (50%)	C (25%)			Α		
	優先性が高い セラ町内の名	·小中学校·高校·養護学校·	低い お字広な通して改崇活動	な行ふっ	しつ 町夕休で	旧会出往の		
	の 健康増進に取	り組むことができた。また、着	で	を行た推進し	- ( 、	ル重生使い 旋を行うな		
		の向上を図ることができた。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			,		
今								
後				,	NA Lila 2 St. 2	DL 14-2-1-		
の取		実 □ 廃止□縮小	己童生徒の健康増進に関 至での取り組みが不可欠で					
組•	□統合□完		きんの取り組みが不可入し、 徐も継続していく必要が		- こハマン、(男内)ロゾる	、小旦小以こして		
課	ロ その他(	\						

				事	業	評	1	西	シ		7		
		事業	<b></b> と細目番号	1	(3)③	1		Γ	担当課	学務課	担当者	7	天間 正子
	事	業	名		児童生徒対	外遠征費	貴補助事	業	13 3 WK	1 100 1014	7		411.5
	年		度		平成27	7年度			平成2			29年	度
事	決		額(千円)				1,974			1,228	3		4,579
業	財		県支出金										
	17.4	そ	の他										
費	内	町	<u>債</u> 般 財 源	<u> </u>			1.074			1 000			4 570
	.,, -	— <u>j</u>	权 別 你				1,974			1,228			4,579
事	□目	的							内容				
					いて、遠征					大会へ参加した			
業					技力の向上 者等の経済			学校	7団体が、3	延べ30大会に出 宿泊費、借り上に	は場し、参加料、	プロク	ブラム代、食
概	かる。	惟木	を図るととも	に、作喪	台 寺の経済	的貝担包	「軽例			百佰貫、信り工( :、東北大会へ1			2大会が出
'	, 00							場し		-		1	
要													
			ter etc	1							T		
	西口/片	4 ( <del>+</del> )	年 度		平成27	7年度			平成2	8年度	平月	<b>戈</b> 29年	·度
事業	項目(宣		/ <b>小</b> :米h				0件			0件	:		0件
· 莱	小学校						0円			0円			0円
果	中学校			1			33件			26件			30件
	中学校					1.97	3,729円			1,227,778円		4	4,578,678円
				<u> </u>			,			, , ,	1		, ,
				評		価			項	<b>₽</b>			評 価
	①必要性(町民が必要としていますか) A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)										А		
事	(В	A F		きである *)国・県7	が行うべき	(イ)	行う必要 民間で第		薄れている	(ない) ウ)その他			А
	3)有効		明待された家 成果は上が		がっています	fが) B成果	は上がっ	ってい	ない				А
業	④公平				配分されて る			されて	こいない				А
評			コスト削減の 合) (ア	余地はた () 受益者	いですか) ない 負担 との統合・遠	(イ)事業	の簡素・	効率		)民間委託 (カ)その	他		B (イ)
	⑥優先	性(個			没階に分類	)							
価	優先	先性:	A が高い	(75%)	В	(50%)		С	(25%) 低V	`			A
	平 本事業は、県大会以上の遠征費の一部を補助することで、児童生徒の体育活動及び文化活動の活性化を担っている。特に東北大会、全国大会など県外遠征は、交通費及び宿泊費等の保護者並びに指導者負担が大きくなることから、上位大会出場に対する経済的負担を軽減することで、児童生徒の積極的な教育活動に有効性が認められる。												
今後の取組・課題					〕廃 止 □		淮ルニ事	うさ	保護者及び、公正かつ	び学校側から う公平性を保持	要請される事	業であ	うるが、基 事業を継

事業細目番号	1(3)4		担当課	学務課	担当者	工藤 和賀子
事 業 名	要保護及び準要保護	<b></b>	援助事業	-		

		年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事	ì	央 算 額(千円)	5,950	5,595	4,643
業	財	国•県支出金	85	93	110
未	源	その他			
費	内	町債			
	訳	一般財源	5,865	5,502	4,533

	教育の円滑な実施を図ることを目的とする。	□ 内容  七戸町就学援助費支給要綱に基づき、経済的に困窮し、就学困難な児童生徒の保護者から就学援助申請があった場合は、世帯の経済状況を審査し認定する。援助対象費目は、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費等。なお、要保護児童生徒に関しては、修学旅行費を支給する。
要		

事	年度項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
業	援助費支給額実績(円)	5,949,934	5,594,921	4,642,382
効	準要保護支給対象者	136	136	107
果	要保護支給対象者	2	2	4

	評	価 項 目	評価
	①必要性(町民が必要としていますか)		
	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)	А
事	②妥当性(町が行うべきですか)		
<b></b>	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れている(ない)	А
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき	(イ)民間で実施可能 (ウ)その他	
	③有効性(期待された効果は上がっています	-カ・)	
	A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない	А
ᅫഺ			
業	④公平性(事業の効果が公平に配分されて)	ハますか)	
	A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない	А
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)		
評	A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある	А
计	(Bの場合) (ア)受益者負担	(イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託	
	(エ)他事業との統合・退	重携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他	
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)		
	A (75%) B	(50%) C (25%)	А
価	優先性が高い	低い	
1Ш	評 経済的困窮世帯が多く 辞学择		<u>.</u>
		助の必要性は極めて高く、児童生徒の就学支援の効果は !の学校給食費補助金から支給となることにより、区域外就学	

評価の 総 経済的困窮世帯が多く、就学援助の必要性は極めて高く、児童生徒の就学支援の効果は高い。 給食援助費については、町単独の学校給食費補助金から支給となることにより、区域外就学児童生徒の保護者(町立小中学校に就学する児童生徒の保護者で町外に住所を有する者)のみに援助されている。

今後の取組・課題		経済的困窮世帯が増加しており、当該事業の必要性は高いことから、今後も事業を継続しなければ、児童生徒の教育に支障をきたすことになる。また、認定基準の明確化及び手続き効率化の検討も続け、適正な運営を行っていく。
----------	--	---

	<b>+</b> ************************************	1 (2) (5)		+□ VV ⇒⊞	24.36c ∋m	±□ \// ±⁄.	一 エフ			
	事業細目番号 事 業 名	1(3)⑤ 学校給食費給付金	 \	担当課	学務課	担当者	天間 正子			
	尹 未 石	子仪和良复和刊句	区文刊 争未							
	年 度									
事	決 算 額(千円)	章 額(千円) 52,902			51,108		49,344			
業	財国・県支出金									
費	源 そ の 他 内 町 債									
賃	一般財源		52,902		51,108		49,344			
	12,302 31,108									
事業概要	小・中学校の学校給食費用を保護者に支給し、経済的負担 を軽減し、少子化対策及び子育て支援の充実を図る。 電図は地方公共団体の負担において給食費の全部又に で紹介等を受けた場合は、当該給付金の額から当該総 当する額を控除した額とする。									
	年度項目 (単位:人)	平成27	<del></del> 7年度	平成	28年度	平成29	 )年度			
事業	項目 (単位:人) 小学校	682 (町)		680 (	町内4校、町外5校)	673(町内	N4校、町外2校)			
効	中学校		内3校、町外5校)		町内3校、町外7校)	347(町内	可3校、町外6校)			
果	特別支援学校•学級		2		1		1			
	Ī	評	価	項	目		評価			
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは記 ②妥当性(町が行うべきで	島い	B 町民ニーズに	は低い(ない)			A			
事	A 町が行うべきで (Bの場合) (ア)	がある 国・県が行うべき	B 町が行う必要 (イ)民間で		(ない) (ウ)その他		A			
業	③有効性(期待された効果 A 成果は上がって		'か) B 成果は上がっ	ていない			В			
<b>亲</b>		っている		されていない			А			
評				•効率化 (			A			
価	<ul><li>⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)</li><li>A (75%)</li><li>B (50%)</li><li>C (25%)</li><li>優先性が高い</li><li>低い</li></ul>									
	評価 保護者の経済的負担が軽減されるため、事業の必要性は高い。町外学校在籍且つ他の援助制度を利用する者には、支給額を調整し公平に支援を行っている。少子化対策としての有効性は判断しがたいが、経済的 負担に対する有効性は認められ、子育て支援に繋がっている。									
今然										
後の取組・課題	■ 継続 ■ 充 3 □ 統合 □ 完 □ □ その他(		すい 検討 らの情		なため、手続きの					

	古光如日至日.	1(4)(1)	1	担当課	学務課	担当者		和賀子
	事業細目番号 事 業 名	特別支援教育支援	2月和黑東光	, ,,,,,	子伤味	担ヨ有	上膝	和負于
	<b>ず</b> 未 右	村別又1友教月又1友	<b>東</b> 田世尹未	:				
	年 度	平成27年	度	平成2	8年度	平)	成29年	 度
事	決 算 額(千円)		17,672		17,532			17,219
業	財国・県支出金							
亲	源その他							
費	内 町 債							
	一般財源		17,672		17,532			17,219
事	□目的□			□内容	t. Fer - 2 2	In 14.1 \dagger	×4	<b>45.</b>
業	小・中学校の通常学級及			学校長の指揮監 う。	<b>監督のもと、学</b> 級	担任と連携し	ン、次の]	支援を行
Lour	別な支援を必要とする児童 活指導の補助及び介助等			①基本的生活習	習慣確立のため	の学校生活」	上の介助	
概	学校に特別支援教育支援		7 11 /1 · 1	②学習補助 ③学習活動、教	玄問移動学に	はける企助		
要				④校外行事や道			助	
	年 度	平成27年	度	平成2	8年度	平月	成29年	<del></del> 度
事	項目(単位) 配置校·支援員数		校 ・ 11名		4校 · 12名			交 ・ 12名
業効	比巨区 人饭只数	中学校 24			2校 · 4名		2校 2杉	
果		1 1 1 21	C 01	1 1 1		1 1	K 20	
	評			項	<b>B</b>			評 価
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは)			-ズは低い(ない	\			A
	A町氏ーークは『	司♥、	B 叫民—	- ^ は似い(ない	)			Α
	②妥当性(町が行うべきで	 :すか)						
事	A 町が行うべきで	ある	B 町が行う	必要性は薄れて	こいる(ない)			A
	(Bの場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ) 民間	で実施可能	(ウ)その他			
	③有効性(期待された効果		·					
	A 成果は上がって	ている	B成果は上	:がっていない				Α
業	<ul><li>●公平性(事業の効果がない)</li></ul>		キオか)					
		っている		記分されていない	`			А
	11 2 1 (-112)			27 240 21 31				
	⑤効率性(コスト削減の余	地はないですか)						
評	A コスト削減の余	地はない	B コスト削液	咸の余地はある				A
	(Bの場合) (ア)	受益者負担 (	イ) 事業の簡	素•効率化	(ウ)民間委託			11
		他事業との統合・連	携 (オ	)適切な財源の	選択 (カ)・	その他		
	⑥優先性(優先性の高い)		(==0/)	- ()	<b>\</b>			
価		75%) B	(50%)	C (25%)				Α
	優先性が高い			低し	`			
	評	悪し トッロネ 44	+ . ) × 1 <del>24 + p / 云</del> ;	<b>与)マナル /田、</b>	の生物に中の	* \*\131.*\*\	レナンゲ	->
	の一特別な又仮と必	要とする児童生徒 支援員を配置する						
	説   特別又後教育>   明	- 阪兵で配色 かる	ここは、光安	(正、日》)正(	010同八 重女	'A # **C'A	J ( V .	'⊅₀
	71							
今"								
後の	■ 継続 ■ 充実	□廃止□縮		らに必要性が			u. >. →··	-/1:2 =
取組			週切な	:支援をしていく ・支援技術を翌	(ためには、専 得1 ていくご	門的な知識 Eがあり タ	はを身に ・種母が	「付け、具
•		山 別祝さ兄担し	用1.て	、支援員の資質	付して へ必え	ェルのり、台 ていかなけ	温明形ればな	がない。
課題	□ その他(		)		•—. >•	3,		0

事業細目番号	1(4)②	担当課	学務課	担当者	工藤 和賀子
事 業 名	学校生活相談員配置事業				

		年		度	平成	27年度		<u> </u>	成28年度		平成29年度	
事		決算	額(千	円)			4,052			4,129		4,145
業	財	国•	県支出	金								
未	源	そ	の	他								
費	内	町		債								
	訳	_	般財	源			4,052			4,129		4,145

事	□目的	□ 内容
1		学校長の指揮監督のもと、児童生徒の悩みや不安解消のた
業	児童生徒の悩みや不安などを解消し、安心で充実した学	め個別にカウンセリングを実施したり、いじめや不登校児童生
	校生活が送られる環境づくりを進める。	徒の指導を行うため、次の支援を行う。
		①児童生徒や保護者の悩みに対する相談対応
.,=	早期発見、・早期対応を行うことを目的とする。	②児童生徒の学校生活の適応援助
要		③地域と学校の連携支援
		④その他学校における教育相談活動の支援

由	年 度 項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業	配置校·相談員数	七戸小学校 1名	七戸小学校 1名	七戸小学校 1名
効		城南小学校 2名	城南小学校 1名	天間西小学校 1名
果		七戸中学校 1名	天間西小学校 1名	七戸中学校 1名
			七戸中学校 1名	天間林中学校 1名

			-	· · · · · · · ·
	評価	項	目 目	評価
	①必要性(町民が必要としていますか)			
	A 町民ニーズは高い	B 町民ニーズは低い(ない)		Α
	②妥当性(町が行うべきですか)			,
事	A 町が行うべきである	B 町が行う必要性は薄れてW	へる(ない)	A
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき	(イ)民間で実施可能	(ウ)その他	
	③有効性(期待された効果は上がっています	(力)		
	A 成果は上がっている	B 成果は上がっていない		Α
₩.				
業	④公平性(事業の効果が公平に配分されてV	<b>いますか</b> )		
	A 公平に配分されている	B 公平に配分されていない		А
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)			
評	A コスト削減の余地はない	B コスト削減の余地はある		Α
	(Bの場合) (ア)受益者負担	(イ)事業の簡素・効率化	(ウ)民間委託	A
	(エ)他事業との統合・連	直携 (オ)適切な財源の選	択 (カ)その他	
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)			
	A (75%) B	(50%) C (25%)		A
価	優先性が高い	低い		
	評			
	│ 価 │ 児童生徒の不登校やいじめなど			
	の困難となっている現状にある。この			怪に、そし
	説 て素直に話すことができる第三者	として学校生活相談員は、	重要な役割を担っている。	

今後		児童生徒から徐々に受け入れられるようになってきていること
の取	■継続■充実□廃止□縮っ	ト に伴い、気軽な相談等があり、ストレス軽減にもつながり、小さ
組・	□ 統 合 □ 完 了 □ 引続き見直し検	な変化にも気づくことができるメリットがある。 今後も継続していくことが必要であり、各学校の状況に応じて
課題	□ その他( )	配置をしていかなければならない。

#### 業 評 価 事 シート

	事業細目番号	1(4)③	担当課学務課	担当者 高田 理恵		
	事業名	就学指導委員会	1-1 M/V 1 133 M/V			
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
事	決 算 額(千円)		0 0	C		
業	財 国・県支出金					
費	源 そ の 他 内 町 債					
貝	一般財源					
	/42 /17 ///	. 1				
事	□目的		□ 内容			
ᅫᄯ	保護者の希望により	章がいのある、又は、発達や行動 とって、適切な教育の場を決定す	七戸町と東北町とで共同設置ので (1) 暗がいのある 又は 発達を	中部上北就学指導委員会 行動が気になる就学予定児、児		
業	きるよう専門知識のある	る者によって構成された就学指導	童及び生徒の適切な教育措置は			
概	委員会において一定の	)判定をする。	(2)就学に係る教育相談 (3)その他、中部上北広域事業約	3合粉育丞昌仝粉育長が必要と		
要			認めた者	1日秋月安貞云秋月尺//*20安と		
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	項目(単位)					
7	対象児童生徒数 入級判定者数		.6 17	26		
	実入級者数		.5 10			
	) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (		10			
				1		
	① // 無怀 / 財日 // // / / /	評 価	項   目	評価		
	①必要性(町民が必要 A 町民ニーズ		ぐは低い(ない)	A		
		10/mil	10001			
	②妥当性(町が行うべきですか)					
	②妥当性(町が行うべき	きですか)				
事	A 町が行うべ	きである B 町が行う必	要性は薄れている(ない)	A		
事	A 町が行うべ (Bの場合) (7	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民		A		
事	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された?	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか)	間で実施可能 (ウ)その他			
,	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された?	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民	間で実施可能 (ウ)その他	A		
事業	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された) A 成果は上が	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか)	間で実施可能 (ウ)その他			
,	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された。 A 成果は上が ④公平性(事業の効果	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) いっている B 成果は上が	間で実施可能 (ウ)その他			
,	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された) A 成果は上が ④公平性(事業の効果 A 公平に配分	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) いっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分	間で実施可能 (ウ)その他	A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された。 A 成果は上が ④公平性(事業の効果 A 公平に配分	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) されている B 公平に配分 の余地はないですか)	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない 分されていない	A		
,	A 町が行うべ(Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された) A 成果は上が A 成果は上が 4 公平性(事業の効果 A 公平に配分 5 効率性(コスト削減の A コスト削減の A コスト削減の	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか)	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない かされていない	A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された) A 成果は上が ④公平性(事業の効果 A 公平に配分 ⑤効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) いっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない かされていない の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託	A A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7 ③有効性(期待された) A 成果は上が ④公平性(事業の効果 A 公平に配分 ⑤効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) されている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の エ)他事業との統合・連携 (	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない かされていない	A A		
業	A 町が行うべ(Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が A 成果は上が A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (5) (6) 優先性(優先性の高	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) されている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の に)他事業との統合・連携 (ア)順に3段階に分類)	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない かされていない の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託	A A		
業	A 町が行うべ(Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が A 成果は上が A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (5) (6) 優先性(優先性の高	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の に)他事業との統合・連携 ( い順に3段階に分類)	間で実施可能 (ウ)その他  ぶっていない  みされていない  の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託  オ)適切な財源の選択 (カ)る	A A A A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が (4) 公平性(事業の効果 A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (こ) (6) 優先性(優先性の高 A 優先性が高い 評	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の に)他事業との統合・連携 ( い順に3段階に分類)	間で実施可能 (ウ)その他 ぶっていない 分されていない の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託 オ)適切な財源の選択 (カ)そ	A A A A A		
業	A 町が行うべ(Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が A 公平に配分 A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (この優先性(優先性の高 A 優先性が高い 評	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の エ)他事業との統合・連携 (い順に3段階に分類) (75%) B (50%)	間で実施可能 (ウ)その他  ぶっていない  かされていない  の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託 オ)適切な財源の選択 (カ)る  C (25%)  低い	A A A A A A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が (4) 公平性(事業の効果 A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (こ) (6) 優先性(優先性の高 A 優先性が高い 評価の 数育委員会、ことができてこ	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の エ)他事業との統合・連携 (い順に3段階に分類) (75%) B (50%)	間で実施可能 (ウ)その他  ぶっていない  かされていない  の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託 オ)適切な財源の選択 (カ)る  C (25%)  低い	A A A A A A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が (4) 公平性(事業の効果 A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (ご) (6) 優先性(優先性の高 A 優先性が高い 評価の 教育委員会、アントができる。	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の エ)他事業との統合・連携 (い順に3段階に分類) (75%) B (50%)	間で実施可能 (ウ)その他  ぶっていない  かされていない  の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託 オ)適切な財源の選択 (カ)る  C (25%)  低い	A A A A A A		
業	A 町が行うべ (Bの場合) (7) (Bの場合) (7) (3) 有効性(期待された。 A 成果は上が (4) 公平性(事業の効果 A 公平に配分 (5) 効率性(コスト削減の A コスト削減の (Bの場合) (7) (こ) (6) 優先性(優先性の高 A 優先性が高い 評価の 数育委員会、ことができてこ	きである B 町が行う必 ア)国・県が行うべき (イ)民 効果は上がっていますか) ぶっている B 成果は上が が公平に配分されていますか) かされている B 公平に配分 の余地はないですか) の余地はない B コスト削減の ア)受益者負担 (イ)事業の エ)他事業との統合・連携 (い順に3段階に分類) (75%) B (50%)	間で実施可能 (ウ)その他  ぶっていない  かされていない  の余地はある 簡素・効率化 (ウ)民間委託 オ)適切な財源の選択 (カ)る  C (25%)  低い	A A A A A A		

■ 継続 ■ 充実 □ 廃止 □ 縮 小 合教育委員会と共同で行っているため、町単独での改正は出来 □ 統 合 □ 完 了 □ 引続き見直し検討 ないが、今後は保護者への特別支援についての情報発信を強 化する必要がある。(特別支援学級の一日の流れなど)

取組・課題

□ その他(

	事業細目番号	1(4)4		担当課	学務課	担当者	工藤 和賀子			
	事 業 名	スクールソーシャル!	フーカー配置	<b>置事業</b>		I				
	年 度	平成27年	<b></b>	平成28		平)	成29年度			
事	決 算 額(千円)	_			2,794		2,786			
業	財工・県支出金									
費	源 そ の 他 内 町 債									
貝	一般財源				2,794		2,786			
	/IX X1 1//\				2,131		2,100			
事	□目的		_	□ 内容						
	問題を抱えた児童生徒にての専門的な知識や技術			問題を抱える児童 軍監督のもと次の		学校生活を送	れるよう、教育長の指			
業	ワークを活用するなど、多		i解決を図	D関係機関とのネ	ットワークの構築					
概	ることを目的とする。			②問題を抱える児童生徒及びその家庭への支援 ③学校内におけるチーム体制の構築及び支援						
要			(4	①問題に関する保	R護者、教職員等	に対する支援・	や相談、情報提供			
^										
	年 度	亚代97年1	#	<b>ਜ</b>	0年度	\(\frac{1}{2}\).	 成29年度			
事	項目(単位)	平成27年月		平成28						
業	配置場所・人数	_	孝	教育委員会内(子ど	も支援ルーム)1名	教育委員会内	(子ども支援ルーム)1名			
効果										
//										
	評	価		項			評 価			
	①必要性(町民が必要とし		D ###		<b>\</b>					
	A 町民ニーズは語	引()	B町氏二一	ズは低い(ない)	)		A			
		すか)								
事	A 町が行うべきで	ある	B 町が行う』	必要性は薄れて	こいる(ない)		A			
	(Bの場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ) 民間で	で実施可能	(ウ)その他					
	③有効性(期待された効果			10 1						
	A 成果は上がって	こいる !	B 成果は上れ	がっていない			A			
業	<ul><li>④公平性(事業の効果がな)</li></ul>	公平に配分されている	ますか)							
		こている !		!分されていない	`		A			
	⑤効率性(コスト削減の余:	地はないですか)								
評		地はない					A			
	(Bの場合) (ア)									
	(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他 ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)									
		頃に3段階にガ類) 75%) B (	(50%)	C (25%)	)		A			
価	優先性が高い	1070) Б	(00 /0)	低い						
	<b>⇒</b> π:	7年による 14年	夕径/1/1 ~	·		生に へいて	つよがたがな マン・			
	価 ス個向にある	り巻く環境は複雑、	多体化して	、わり、问題を	他んの児里生	使についく	. は保例12し(い			
	□ ○ ○ ○ そのため、学校	で・家庭・関係機関								
	明要な役割を果た	している。 町費負	担常勤であ	あることから、長	長期的および	緊急的な対	応が出来る。			
	<u> </u>				わさず旧本生					

今		学校にとって、問題を抱える児童生徒の家庭や関係機関をつ
後の		なぐ役割を果たすスクールソーシャルワーカーの設置意義は
取	■継続■充実□廃止□縮小	大きく、成果を残している。
組	□ 統 合 □ 完 了 □ 引続き見直し検討	本事業は平成28年度からの事業であり、成果を定量的に判
· 課 題		断することが難しいが、定性的な判断を見極め、今後も継続していく必要がある。

	•	<del>事</del> :	来 产	Γ	1Щ 				<u> </u>		
	事業細目番号	1(5)	0(1)		担	当誤	学	务課	担当	者	第田 理恵
	事業名	外国語指導	算助手(ALT)	派遣事	業						
	年度		平成27年度			平月	成28年度			平成29年	 年度
事	決 算 額(千円)			9,036	5			8,780			8,637
業	財 国·県支出金										
費	源 そ の 他 内 町 債										
月	一般財源			9,036	5			8,780			8,637
	1				1						
事	□目的				□ 内容	\$					
業	外国語教育の充実を図るる 理解教育の推進を図ること			り、国際							用し、2人のALT )充実を図って
概	注解教育の推進を図ること	.を 日 のこ り つ	o		いる。						
					ピー		5外国語授業の				の補助及びス
要							5外国語活動の び課外活動へ			ノテスト等への における国際	協刀 交流活動への協
	年 度					चर -	+00 F #			ਜ਼ ਦੇ ੦੦./	tr de
事	項目(単位)		平成27年度		// 4// 🖼		成28年度		/1 4" 🖼	平成29年	
業効	ALT派遣校等	幼稚園 1	保育園 小学校		幼稚園	1	保育園 小学校		幼稚園		R育園 6 N学校 4
果			中学校				中学校				· <del>子</del> 校 4 『学校 2
	1	評	価		I	百		目			評 価
	①必要性(町民が必要。					-		Н			н іші
	A 町民ニーズ	は高い	В	町民二	ーズは低い	ハ(な	い)				А
	②妥当性(町が行うべき	(ですか)									
事	A 町が行うべき		В	町が行う	必要性に	は薄れ	している(ない	(\)			B (イ)
		7)国・県が行		(イ) 民間	間で実施す	可能	(ウ) そ	の他			(4)
	③有効性(期待された効			<b>上、田</b> 4	.2.111						Δ.
	A 成果は上が	つくいる	В	以朱(ほ)	こがってレ	17£1 1					A
業	④公平性(事業の効果)	が公平に配っ	分されていま	すか)							
	A 公平に配分	されている	В	公平に	配分されて	ていな	27.				A
	<ul><li>⑤効率性(コスト削減の</li></ul>	<b>全地けわ</b> い	ですかり								
評	A コスト削減の			コスト削	減の余地	はある	5				В
	(Bの場合) (ア							間委託			(ウ)
			の統合・連携	(2	ト)適切な	財源	の選択	(カ) -	その他		
	⑥優先性(優先性の高)		皆に分類) B (50	10/.)	С	(25	0/.)				A
価	優先性が高い	(1970)	Ъ (30	70)	C		707 氐い				71
	評										
	価 教育委員会に の て、小学校へ	ニ所属する』 の派遣回数	ALT2名を七 めな増やす事	:戸町内 虫前淮/	]の各園 帯等を行	·各校 つた	交に派遣し 学校レ∆	た。小: I Tがii	学校の芽 「準」  i	英語教科( 英語の学語	化に向け 翌指道を行
	説うことにより、リ	見童生徒が	英語を習得	しやす	は、学力	向上	に繋がって	ている。	=175 U , 7	C10 () 1	∃1日/4.€.11
	明										
今				±1.	4[ /レ/テロ	コノナー	て小学技術	極光素	ケベル中心	ステしょき	 見込まれ、そ
後のエ	■ 継続 ■ 充	実 □ 厚	怪 止 □ 縮								
取組	□統合□完			<sub>&amp;≥+</sub> JE	T参加者	· のA	LTとしての	治導ス	りや新任	E・退任に	よる町の事 Eを検討する
課	□ その他(		)	務	重等を踏 地はある		-のと、 円	・民间を	<b>F</b> 白 ~ ()	/////退安計	こで快削する
題											

		事業	<b>美細目番号</b>	1(6)(1)	٦	担当課	学務課	担当者	 - 髙田 理恵
	事	業	名	七戸町教育振興会	 :補助事業	,	* *************************************	,	
-1-	年	tata il	度	平成27年		平成28		平	成29年度
事	決		預(千円)		2,383		1,956		1,933
業	財	国・児 そ	表支出金 の 他						
費	源	町							
	訳	一 舟	投財源		2,383		1,956		1,933
事			<b>上</b> 往の数字	文化及び体育の振	<b>個 1. 44. 10</b> 10 1	□内容	/	7	Let ette de Mic
業				文化及の体育の振 を行い、教育の振興		○幼児·児童·生			振興事業
						スポーツ交流会、		父流会等	
概						○教職員の資質 ふるさと研修、教		汗動笙	
要						るるのでの一個、教	月時供云、切九	加到可	
	<u>I</u>								
	項目()	当(公)	年 度	平成27年	三度	平成28	3年度	平	成29年度
事業	体育・		5員会	各種体育大会・作品	品展参加助成	各種体育大会·作	品展参加助成	各種体育大会	会·作品展参加助成
効	職員研	F修		ふるさと研修・先	<b>-</b> 進地視察等	ふるさと研修・	先進地視察等	ふるさとな	研修・先進地視察等
果	教育講	演会		学校におけるメンタルヘルスの事		エピペン講習会・食物アレ		エピペン講習会・食物	アレルギーに関わる講話
	先進校等	研修(約	か·保育園) 実施		7校•7(園)		7校•7(園)		6校•7(園)
			=======================================	平	価	項			評価
	①必要	性(町	丁民が必要と	していますか)					
	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)								
	②妥当性(町が行うべきですか)								
事			りが行うべき 町が行うべき		B 町が行う	必要性は薄れてレ	いる(ない)		A
	(В	・・ の場		)国・県が行うべき		で実施可能	(ウ)その他		
	③有效	性(其	引待された 対	果は上がっていまっ	ナか)				
		A A	成果は上が~	っている	B 成果は上	がっていない			A
業	<b>①</b>	. 小土 ( 亘	真業の効果を	が公平に配分されて	いますか)				
	ŒΔT			アムーに配力です。 されている		己分されていない			A
						_, _ ,			
	⑤効率	性(=	ュスト削減のタ	余地はないですか)					
評				余地はない			/1\ ======		A
	(В	の場合		)受益者負担 )他事業との統合・遠			(ウ)民間委託 3+12 (カ) 2	-D/4	
	⑥優先	-		ハ順に3段階に分類		/ 適切な別がり	ED (2)7	. V.기(LL	
		1114 (12		(75%) B		C (25%)			A
価	優	先性	が高い			低い			
	評			. <i>6</i> 11 <i>10</i> - 10 - 10		> = 14 - 14 > 116 > - 14 1	<i>1.</i> (1.10)	L = 15 > 1m	> - (.)-t- ) )
	価の			・各校の教育目標 取り組みを行った。					
	説	た。	TREFIELD	次/htts/-と11 2/Co	<b>みたい</b> 例 10-	子(四)質(図)は、)(	() ひなこく・	以岳立小员	質内工に力の
	明								
今	<u> </u>								
後 の	_	糾 幺		尾 □ 廃 止 □ 縮	1 上百町	の数音に関して	「構断的に面り	)組まゅ組織っ	であることから、今
取組				□ 焼 並 □ 欄 了 □ 引続き見直し	検討 後も継	続する必要があ			質目については
: 課				, ロ 刃形で光単し	見追し	、整理する。			
題		その	71世(		)				

		事業細目番号	1(6)2		担当課	学務課	担当者	中村 大樹			
	事	業名	ふるさと研修事業		·	* ****	,— — <u>,</u>	1.14 2.44			
<u> </u>											
	年	~ 4	平成2		平成	28年度	平瓦	対29年度			
事	決	算額(千円)		22		10		10			
業	財	国•県支出金									
<del>#</del>	源 	その他									
費	訳 —	一般財源		22		10		10			
	<u>l</u>	一放灼你		22		10		10			
事業概要	七戸町 任者を	教育委員会が定 教育委員会研修	める初任者研修実施 として、七戸町教職! 教育課題や文化、歴 開催した。	員初任者及び赴	今年度は、食物		に、史跡ニツ系	森貝塚、史跡七戸			
要											
	項目(重	年度	平成2	7年度	平成	28年度	平瓦	<b>党</b> 29年度			
事業		加者: 教職員	1	26人		20人		14人			
効		教育委員会	<u> </u>	1人		1人		1人			
果											
		合言	+	27人		21人		15人			
			評	価	項			評 価			
		性(町民が必要と A 町民ニーズに	していますか) t高い	B 町民ニーズは				В			
事	(В		である ) 国・県が行うべき			(ない) ウ)その他		A			
NII 6	③有效		果は上がっています っている	<sup>-</sup> か) B 成果は上がっ <sup>-</sup>	ていない			A			
業	<b>④公平</b>		ぶ公平に配分されてい れている	ハますか) B 公平に配分さ	れていない			А			
評		A コスト削減のst の場合) (ア	余地はないですか) 余地はない )受益者負担 、)他事業との統合・设	(イ)事業の簡素・	効率化(ヴ	7) 民間委託		A			
価	優		N順に3段階に分類) (75%) B		C (25%) 低V	`		В			
	評価のの設置では、2000年では1月では1月では1月では1月では1月では1月では1月では1月では1月では1月										
今後の取組・課題		継 続 ■ 充 統 合 □ 完 その他(	実 □ 廃 止 □ 引続き見	〕縮 小 教材と 直し検討 実させ	なる文化財等なる必要がある。	が多数存在するだ	こめ、活用し、	研修内容を充			

# 事 業 評 価 シ ー ト

	事業細目番号	2(1)(1)		担当課	生涯字省課	担当者	小圾 复紀
	事 業 名	家庭教育支援総合推進事	業				
	年度	平成27年度	1	平成2	8年度	亚	成29年度
事		1 13,21 1 12	516	1 /3/22	518	1 /	478
`	国. 旧去山仝		010		010		110
業	財 その他						
費	内町債						
貝	訳 一般財源		516		518		478
	//X X 1 1//\		310		310		110
	□目的			〕内容			
事		がなどを見つめ直すきっかん 「園、子育て支援センター、全				<b>愛センター、全小</b>	中学校での子育て
अपट		る様々な機会を活用して、		坐、	座の天旭。		
業	に関する学習機会の提供を		31/2-12/13				
概							
要							
	年 度						
	項目(単位)	平成27年度		平成2	8年度	平)	成29年度
事	実施講座数		35		40		31
業	参加者数		1,385		1,204		1,071
効	<b>沙加</b> 4 数		1,565		1,204		1,071
果							
		評 価		項	目		
	①必要性(町民が必要として	ていますか)					А
	A 町民ニーズは	高い B B	町民ニーズに	は低い(ない)			Α
	②妥当性(町が行うべきで	ナカュ)					
事	A 町が行うべきて	である B ₽	町が行う必要	性は薄れている	(ない)		А
	(Bの場合) (ア)	)国・県が行うべき (イ)	民間で実施	可能 (ウ)-	その他		
	③有効性(期待された効果	は上がっていますか)					Λ
	A 成果は上がっ	ている B 成	え果は上がっ	ていない			А
業	④公平性(事業の効果が公	、平に配分されていますか)					Δ.
	A 公平に配分され	hている B :	公平に配分さ	されていない			А
	⑤効率性(コスト削減の余均	也はないですか)					
	A コスト削減の余	:地はない B =	コスト削減の	余地はある			_
	(Bの場合) (ア)	)受益者負担 (イ)事業	の簡素・効率	率化 (ウ) 国	尺間委託		А
評	(工)	)他事業との統合・連携	(才)適切な	な財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先性(優先性の高い順	原に3段階に分類)					
	А	(75%) B (50%)	(	C (25%)			А
	優先性が高い			低い	`		
価				<u> </u>			
1Ш	評	下が指摘されている中、保護	老が名粉生	まる会組 口わじ	の燃合を利用)宝	施士スス会で講	应, 宏庭教
		)実施は非常に重要である。			D24E ( = 1 4) (1 - 2 4)		
	説 校・家庭・地域の過	車携が図られてきている。					
	明						
今	<u> </u>						
後							
$\mathcal{O}$	■継続□充業	実 □ 廃 止 □ 縮 小	対象の協設	において親子で	で家庭教育講座かり	どに参加する機会	会は重要であり、そ
取組		7 D 11/43 D 25 15 15 1	れぞれの施	i設で保護者のニ	ニーズにできるだけ	応じた講座を実	施しており、今後も
租•		了 □ 引続き見直し検討			・算の確保に努める		
課	□ その他(	)					
題	:= ;= ;	,					

		事業細目番号	2(1)②		担当課	生涯学習課	担当者	坂本	雄大
	事	業 名	放課後子ども教室推進	事業	•		•	-	
	年	E 度	平成27年月	ŧ	平成	28年度		平成29年度	
事		: 算 額(千円)		2,524		1,755			1,525
業	財	国•県支出金		1,375		653			
未	源	その他							
費	内	町 債							
	訳	一般財源		1,149		1,102			1,525
	□ 目	的			□ 内容				
事			や週末・長期休業などに		<ul><li>教育活動サポー</li></ul>	ーターを全小学校区			
, III		〖や児童館などを利用 :全で健やかな居場所	引して、地域住民の参画 Fづくりを推進する	を得て、子供	<ul><li>放課後対策事業</li><li>戸、天間林の各業</li></ul>		とを担う地域=	1ーディネー?	ターを七
業	E-75	1 CIE (17 'S/II'////			<ul><li>子供の放課後</li></ul>	対策事業の運営方法	よなどを検討っ	する放課後約	合プラン
概					打ち合わせ会議	の開催。			
要									
女									
		年 度	平成27年月	Ŧ	平成	28年度		平成29年度	
<b>+</b>	項目()		1772112		1 //2			1 /4/2001 //	
事業		催日数		524		78			79
効	_	童参加者数  ディネーターの配置者数		31,659		2,153			1,878
果		サポーターの配置者数		Δ Δ					4
	10 H H 20	377N. 7 47HCE-13N		т					
			<u> </u>		-F	н			
	①心西	性(町民が必要とし	アいますか)		項			-+	
	①北安	A 町民ニーズは		R 町民ニー?	ズは低い(ない)				A
	②妥当	i性(町が行うべきです		B 11120- >	112  217 (1277)			_	
事		A 町が行うべきて		B 町が行う必	(要性は薄れてい	る(ない)			A
	(E	3の場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ)民間で実	施可能 (ウ	)その他			
	③有效	性(期待された効果	は上がっていますか)						Α
		A 成果は上がって		B 成果は上か	ぶっていない				7 1
業	④公平		:平に配分されています						Α
		A 公平に配分され		B 公平に配う	分されていない			-	
	① <b>%</b> J华	<ul><li>性(コスト削減の余地</li><li>A コスト削減の余</li></ul>		B コスト削減	の全地はなる				D
	(F		受益者負担 (イ)		· · ·	民間委託			B (エ)
評	(1		他事業との統合・連携		刃な財源の選択	(カ)その他			
	⑥優先	性(優先性の高い順	iに3段階に分類)						
		Α (	(75%) B (50	)%)	C (25%)				A
	優	先性が高い			低	V)			
価	評								
	価		生涯学習課)と福祉部局						
	の説		校の授業で扱わない内 者を活用することで地域。			さているため、参加	者の満足度に	ま局いといえ	る。また、地
	明								
				<u> </u>					
今後									
0)		継続 ■ 充 実	戻 □ 廃止 □ 縮	小 平成30年	を 度以降も放課後 なの内容等をままる	対策の需要はある	ため事業を継	続する。	ぎ光さん
取組		  統合 □ <sup>完 -</sup>	了 □ 引続き見直し榜	フログラ	ある。また、地域	≷させるため、地域信 コーディネーター及	c式寺の協力 び教育活動が	ょほぶかり ナポーターに	r未を進め .ついて、人
				材の発掘	民では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	ため、募集の方法等	を検討する。		
課題		その他(	)						

		事業細目番号	2(1)(3)		担当課	生涯学習課	担当者	坂本 雄大
	事	業名	ふるさと学びあい推進	事業				
	年		平成27年月	±	平成2	8年度	<u> </u>	成29年度
事		算額(千円)	十,00,21 千,5	700	十八八乙	491	+	296
7	1/			700		491		290
業	財	国•県支出金						
	源	その他						
費	内	町 債						
	訳	一般財源		319		700		296
	□目的	h			□ 内容			
		· ·	たちに、自分の生まれ育		D 四谷 D 郷土学習事業			
事			業、生活などについて学			、学生を対象とした	「七戸町縄文探	負団   を実施予定で
業	を深める	ための機会を提供	し、学校や家庭生活では	は体験できな あ				
*	い様々だ	な活動プログラムを	提供し、子供たちの視野	を広げ、友で	て、「ふるさと学びる	あい郷土学習事業	助成金」を計画	し、町内小・中学校
概	情を深め	<b>り、自立心を養うこと</b>	を目的とする。			学習授業への助成	えを行った。	
				_	②キャリア教育事業		っしのはうけけ	と収穫を行い、オータ
要						て収穫したトマトを力		
							, , , , ,	)()23 (V - V = 0
	I	<del>-</del> -	I					
		年 度	平成27年月	美	平成2	8年度	平	成29年度
	項目(単		.,,,		. , , , .		·	
事業	キャリア	事業 参加者数		38		22		28
未効								
果								
			<b>⇒</b> π; /π:		+#	П		
	@ v. #1	/ /P>P 30 3/ T 3	評 価		項	目		
	①必要(	生(町民が必要とし						В
	_	A 町民ニーズは		B 町民ニーズ	は低い(ない)			
事	②妥当(	生(町が行うべきで	ナカュ)					
#		A 町が行うべきて	<b>ぶ</b> ある	B 町が行う必馴	要性は薄れている	5(ない)		A
	(Bo	の場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ)民間で実施	面可能 (ウ)-	その他		
	③有効(	生(期待された効果	は上がっていますか)					В
		A 成果は上がって	ている	B 成果は上がっ	っていない			D
業	<ul><li>④公平f</li></ul>	生(事業の効果が公	:平に配分されています:	ð1)				
$\wedge$		A 公平に配分され		B 公平に配分	されていない			А
	⑤効率(	生(コスト削減の余均						
				B コスト削減の	(余地けある			
	(R			事業の簡素・効		尺間委託		A
評	(1)		) ・ ・ 連携		学化 (グ)らな財源の選択	(カ)その他		
,	②信 中 1			(4 / 週別・	は別がり送が	(ルバング)世		
	心骸元1	生(優先性の高い順		20/1	C (0E0/)			D
			(75%) B (50	J%)	C (25%)			В
	優先	た性が高い -			低い	)		
価	評							
	価							
	の	事業期間を通じて	、全事業に参加した参加	加者は少なく、 専	事業内容としても2	27年度から同様では	あることからマン	ネリ化している。
	説明							
	明							
今	I	*						
後								
0		継続口充	夷 ■ 廃止□縮	小鄉上兴邓	車 坐 ひょぎむ いけつ	数玄東类のついさ	11/レが顕 荽っぺき	ス また 肚出 4の六
取				一目付について	サ未及いてヤッノ? でも、学務課所答。	玖月尹未いヾイイ の「特色あろ学校ィ	ノルが興者でめ づくり推進事業!	る。また、助成金の交 と事業内容が類似し
組•		統合□完	了 □ 引続き見直し橋			業へ一本化し、当		
課		その他(	)					
題		こ マン   吐(	,					

		事業細目番号	2(1)4		担当課		生涯学習課	担当者	T	坂本	雄大
	事	業名	異文化交流事業								
	年	度	平成27年月	Ť	平	式284	年度		平成29	9年度	
事		算額(千円)	.,,,	200			1,065				832
業	財	国•県支出金									
来	源	その他					587				
費	内訳	町 債									
	八百	一般財源					478				832
	□ 目自	约			□ 内容						
			とに触れる機会を提供し		①イングリッシ=				- A+ 4	6- A -6-1	
事		さらなる学習意欲の 成に貢献する。	の向上を図り、国際化に	対応できる人							
業	77 V	ス(C. 兵 m 7 つ。			外国人講師1名により実施した。参加者25名に対して、英語を使ったゲーム等を実施し、英語でのコミュニケーションを楽しんだ。						
4ppr					②イングリッショ		·ンプ 月9日から9月10日	1の9日間 対	百白. 旧、	ブロティ	ハジィートル
概							者は11名で英語				
要					力の向上を図る	5229	もに、英国の文化	や食事を体験	験する	機会を	提供した。
	<i>.</i>	年 度	平成27年月	变	平,	戊28	年度	3	平成29	9年度	
<b>*</b>	項目(単										0.5
業効		ッシュデイ参加者数 シュキャンプ参加者数		15			3 11				25 11
果	インクリツ	ンユヤヤンノ 参加 有 剱		10			11				11
			<u> </u>				н		一		
	①沙画	生(町民が必要とし)	アンますが)		項		<u> </u>				
	①必安1	A     町民ニーズは		R 町昆っ一:	ズは低い(ない)						A
	②妥当1	②妥当性(町が行うべきですか)									
事	0,41	A 町が行うべきて		B 町が行う必	必要性は薄れてい	<b>いる</b> (	ない)				Α
	(Bo	の場合) (ア		(イ)民間で実			の他				
	③有効性	生(期待された効果	は上がっていますか)								A
		A 成果は上がって		B 成果は上カ	ぶっていない						Α
業	<ul><li>④公平</li></ul>		や平に配分されています								Α
	(C) +1. +1. 1	A 公平に配分された。		B 公平に配っ	分されていない						
	⑤ 郊 挙 1	生(コスト削減の余り A コスト削減の余		D ココL出版	の余地はある						В
	(B)		:呕はない。 ) 受益者負担 (イ) :			7) 足目	<b></b>				(イ)
評	(D)		)他事業との統合・連携		ッテロー・ション のな財源の選択		(カ)その他				(T)
	⑥優先忙	生(優先性の高い順		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
		А	(75%) B (50	)%)	C (25%)						Α
	優生	<b>た性が高い</b>			ſ.	むい					
価	評										
	価		加者アンケートでは「楽し								
	の説		見が多数あり、高い満足」 心の高まりや、外国人に								
	明			質医師がに反じ	5)C) DAM.	/ X IL	17 70 X 17 94 07 C	·/ (\ + /k/)	.DE * 2 /9	37(15)	H14 0
		<u> </u>		•							
今後				_, , ,	m 12	A 1	*****	n + 1 - 1	,	w.1 W.=	151 <del>15</del> 67 -
$\mathcal{O}$		継続口充	実 □ 廃 止 □ 縮				適応できる子ども おら、英会話力や				
取組		<b>幼</b>	アーロ 引煙を日本に料	事業を実	逐施する。						
		观 6 口元	了 □ 引続き見直し橋	2/5/10	/グリッシュキャン 流推進事業に		こついて、事業効: よる	果を更に高め	つるため	5、平成	₹30年度よ
課題		その他(一部統合				-ч Ц )	, <b>v</b> 0				
70.25											

		事業細目番号	2(1)⑤		担当課	生涯学習課	担当者	坂本 雄大			
	事	業名	国際交流推進事業								
	年	度	平成27年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成2	18年度	平	成29年度			
事	決	算額(千円)				258		4,271			
業	財	国·県支出金									
	源	その他				1,200					
費	内 訳 —	町 債			258			0.054			
	.,,	一般財源				3,071					
		·			□内容						
事	中学生を	を海外に派遣し、英	語学習や国際理解への 力を育むとともに、国際の	)興味・関心	平成29年度は、町程で 台湾真雄市	Γ内中学生11名を ⅰ明華国民中学へ》	12月22日から2 応費1 た	26日まで4泊5日の日			
業			きる人材の育成に貢献		(派遣に際し、事前	前研修4回、事後研	修1回を実施し				
//					そこでは、明華国! の文化について理		を図り、ホームス	ステイをするなど台湾			
概					の文化について国	E月午で (木はノ/こ。					
要											
	) 	年 度			1						
	項目(単		平成27年月	度	平成2	8年度	平	成29年度			
事	参加者					240		11			
業効											
果											
			評 価		項	Ħ					
	①必要性(町民が必要としていますか)										
		A 町民ニーズは		B 町民ニー	ズは低い(ない)			A			
事	②妥当	性(町が行うべきです		D M- 184-2 1	/ == (/ ) 1 +	(2)					
	(D	A 町が行うべきて の場合) (ア)	· · · =	B 町か行つ业 (イ)民間で実	公要性は薄れている (本可能 (ウ)	o(ない) その他		A			
	,		は上がっていますか)	(4) 民間(天	・旭円形 (ワ)	C V/TE					
	© 17 //3	A 成果は上がつ <sup>*</sup>		B 成果は上が	ぶっていない			Α			
業	④公平		・平に配分されています								
//		A 公平に配分され	っている	B 公平に配	分されていない			A			
	⑤効率	性(コスト削減の余地	也はないですか)								
		A コスト削減の余			の余地はある			B			
評	(B		受益者負担 (イ)			民間委託		(ア)			
н	⑥優生		他事業との統合・連携	(4) / 道 :	切な財源の選択	(カ)その他					
	<b>少</b> 废几		(75%) B (50	0%)	C (25%)			A			
	優	先性が高い	2 (8)	0 , 0 ,	低心	`					
価	評							•			
Ilbred	*   **   参加した生徒へのアンケートからは、「更に英語ができるようになりたいと思った。」、「日本との文化の違いを学ぶことができた。」、   「英語を使ってコミュニケーションを取ることができた。」、「貴重な経験ができた。」などの意見があり参加者の満足度は高かった。										
	の 説		アンケートからも「派遣後								
	明	なっている旨の回	答があることから事業効	果は高い。							
<u> </u>		<u> </u>									
今後											
$\mathcal{O}$		継続 口充事	実 □ 廃 止 □ 縮・	1	多額の費用がかかる	ため、助成金等の	活用など、財源	(の確保が必要であ			
取組			了 □ 引続き見直し枚	る。	<b>等からのアンケート</b> で	での満足度け高い。	ため 事業を継	続する			
			」 ロ 別航さ兄担し他	光可り シンルコ 三	1 M 3 2 / V 7 1	< - / Illed VE/X (4) [日] V '/	ニック、サ 木で 配的	טעונו / ישעווי /			
課題											

		事業	細目番号	2(1)⑥		担当課	生涯学習課	担当者	坂本 雄大		
	事	業	名	理科クラブ							
	年		度	平成27年月	¥	平成2	8年度	7	Z成29年度		
事	決	算 額	〔千円)				930		287		
業	財	国∙県	支出金								
未	源	そ	の他				930		287		
費	内 訳 —	町	債								
	八	一般	対源								
		的				□ 内容					
事	町内の	子どもた	たちに理科に	興味を持ってもらうよう、	理科実験や	平成29年度は、三	沢航空科学館と引	が大学より講師	師を招き、小学生を対		
, III	ものづく	、り教室	などを開催す	<b>~</b> る。		象に埋料実験等値  ・ポンポン船をつく	全4回、水ロケット大 ろう!	:会を1回開催し	ノた。 -		
業						・南極の空の微生					
概						<ul><li>・水ロケット大会</li><li>・黄砂に付着してする</li></ul>	既たでくる 舎 仕 畑				
要						<ul><li>・飛ぶタネをつくろ</li></ul>					
女											
				•							
			年 度	平成27年月	¥	平成2	8年度	<u> </u>	元成29年度		
事	項目(単			.,,,		1 // 2		,			
業	参加者	釵					70		62		
効果											
未											
				評 価		項					
	①必要	性(町月					H				
			· 氏ニーズはi		B 町民ニー	ズは低い(ない)			A		
	②妥当		<b>行うべきで</b> っ								
事		A 町	が行うべきて	ある	B 町が行う必	必要性は薄れている	5(ない)		A		
	,	の場合			(イ)民間で実	施可能 (ウ)・	その他				
	③有効 <sup>,</sup>			は上がっていますか)					A		
	<b>○</b> /\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		果は上がって		B 成果は上だ	がっていない					
業	4)公平		ミの効果か么 ·平に配分さ』	平に配分されています		分されていない			A		
	⑤効率			しはないですか)	D 五十に記	71040 (1.121)			_		
	0//4 1		スト削減の余		B コスト削減	の余地はある			В		
	(B	の場合	) (ア)	受益者負担 (イ)			民間委託		(工)		
評			(エ)	他事業との統合・連携	(才)適	切な財源の選択	(カ)その他				
	⑥優先	性(優先	<b>に性の高い順</b>	〔に3段階に分類〕							
	_			(75%) B (50	)%)	C (25%)			A		
	優先	先性が	<b>高い</b>			低い	,				
価	評										
	価 4回の理科実験及び水ロケット大会の参加者のアンケートより、各回の満足度は高い。										
	説	しかし	、参加者が生	少ない回もあったため、	参加者増加を	させるための方法を	を考える必要がある	00			
	明	1									
今		•									
後											
の取		継続	口 充 🤋	夷 □ 廃 止 □ 縮	小 参加者数	数の増加を目的に、	他事業の参加者を	対象に開催す	rることを検討した結		
組		統合	· □ 完 <sup>-</sup>	了 □ 引続き見直し橋					、事業を実施する。		
課		その他	1. (	)							
題		CVAL	<u> </u>	,							

	事業細目番号	2(2)①		担当課	中央公民館	担当者	中村真理
	事 業 名	成人式開催事業		•			
事	年 度	平成27年月		平成2	8年度	平	成29年度
`	決算額(千円)       財       国·県支出金		489		507		466
業	財 その他						
費	内町債						
	一般財源		489		507		466
	□目的		ſ	□ 内容			
事	町の将来を担う新成人の門	出を祝うとともに、成人と			、町民憲章唱和、	式辞、記念品贈	呈、誓いの言葉)
7	を促し、さらなる成長を期す		2	②記念撮影			
業			٥	③思い出ムービー	上映		
概							
要							
	年 度	平成27年度	芝	平成2	8年度	平	成29年度
事	項目(単位) 対象者数		212		222		181
業効	参加者数		135		138		124
果	参加率		64%		62%		69%
		評価		項	目		
	①必要性(町民が必要とし	ていますか)					А
	A 町民ニーズは		B 町民ニーズ	は低い(ない)			7.1
事	②妥当性(町が行うべきです A 町が行うべきて		D 町が行る沙田	要性は薄れている	( <del>/ 2</del> 1. 1 )		А
			<ul><li>(イ)民間で実施</li></ul>		その他		Λ
	③有効性(期待された効果						A
	A 成果は上がって		B 成果は上がっ	っていない			7.1
業	④公平性(事業の効果が公 A 公平に配分され		か) B 公平に配分:	ナカブハカハ			А
	⑤効率性(コスト削減の余均		1 五十に配力	CALCANTA.			
	A コスト削減の余		B コスト削減の	余地はある			Δ.
評		受益者負担 (イ)	事業の簡素・効	率化 (ウ) 目	尺間委託		A
Тц		他事業との統合・連携	(オ)適切	な財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先性(優先性の高い順 A (	限に3段階に分類) (75%) B(50	1%)	C (25%)			A
	優先性が高い	(1070) B (00	, , 0 ,	低()	`		2.1
価	評						•
	価 式典は静粛かつ窟 の 象に残るものにな	厳粛に行われた。また、ヨ o.た	式典後に思い出	ムービーを上映り	したことにより、小学	や校や中学校で	の思い出に触れ、印
	説 式典には、成人と	った。 しての自覚をもって臨ん	でおり、成果は	上がっている。			
	明						
今							
後の	■継続□充	実 □ 廃 止 □ 縮	小 新成人にと	とって、より思い出	に残る成人式とか	るよう 新成 人を	・中心とする宝行委員
取組		了 ■ 引続き見直し検	会を組織し	、、企画・運営でき	る体制を整備した	い。	
課	□ その他(	<b>) =</b> 分版で列車であ	`゚゚゚  町主催のコ	<b>1.</b> 典であることから	ら、総務課への所管	官替えを検討する	<b>らべき</b> だと思う。
題	口 でが他(	)					

# 事 業 評 価 シ ー ト

	事業細目番·	号 2(3)(1)		担当課	生涯字省課	担当者	小圾 夏紀
	事 業 名	町民大学講座開設事業					
	<i>F</i>	7		77 46	0.年底		400 F F
	年 度	平成27年度		平成2	28年度	4.	成29年度
事	決 算 額(千円)		0		0		0
業	財 国・県支出金						
未	源をの他	<u>I</u>					
費	内 町 債	:					
	一般財源						
	/4/ // //						
	□目的			内容			
事	地域住民の資質の向	上と豊かな人生の実現を支援する	るため、 行政	女・地域住民と	の協働による取り組	1みが必要とされ	ていることについて
7	学習機会の提供を行	5.			、講座を弘前大学	生涯学習教育	开究センターと共催で
業				開催した。	cf 1 to Feet	- 6th - 1/ - 10	m)
				29日 (こ北嶋結	氏より 歌って 踊っ	て健康作り」と能	<b>見しての講演を実施し</b>
概			た。				
要							
		<b></b> I	I			ī	
	年	平成27年度		平成2	8年度	並	成29年度
	項目(単位)	1,94=1 1 2		1 ///	- 1 2		794=- 1 32
事	講座数		2		2		1
業効	参加者		77		71		38
果							
$\wedge$							
		評価		項	目		
	①必要性(町民が必要	要としていますか)					
	A 町民二一		町民ニーズは	低い(たい)			В
	②妥当性(町が行うべ		110- /110	EX. (.2.1.)			
事	-			#	( ( )- > . )		
	A 町が行う			生は薄れている			А
	(Bの場合)		民間で実施す	可能 (ウ)	その他		
	③有効性(期待された	効果は上がっていますか)					А
	A 成果は上	がっている B d	え果は上がって	ていない			Λ
業	④公平性(事業の効果	具が公平に配分されていますか)					
$\sim$			公平に配分さ	れていない			А
	⑤効率性(コスト削減の		A   (Chi.); C	70 (1 -51			
			ココし出い仕 へ へ	いかきァ			
			コスト削減の余		7.00-4-2/		А
評	(Bの場合)		の簡素・効率		民間委託		
计		(エ)他事業との統合・連携	(オ)適切な	財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先性(優先性の高	らい順に3段階に分類)					
		A (75%) B (50%)	C	(25%)			В
	優先性が高い			低い	`		
Įπ.							
価	評		7/24/24	- 444 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15	-11.1/6(1.4)-	. 18 h . h .	
		区は町関係団体と共同で開催し、 は、講義的な内容にならないよう酢					
		ょ、講義的な内谷になりないより る講座を企画して行く。	に思し、生石に	より笛有した!	一マにしたことで変	多加有 が増加し	た。今後も、参加しや
	明	, ontre e mel 0 (11 /0					
今							1
後							
0)	■継続□	充 実 □ 廃 止 □ 縮 小	今後も、町間	係団体かどと	共同開催しかがた#	T民主体の講成	として実施していく
取			また、各種県	事業を活用す	ることで「あおもり県	. ベーロン 瞬圧 具民カレッジ学習	習支援総合事業」につ
組	□統合□	完 了 □ 引続き見直し検討		の周知を図る			
_			1				
· 課	□ その他(	)					

		事業:	細目番号	2(4)(1)			担当課	生涯学習課	担当者	金澤	隆洋
	事	業	名	七戸町子ども会育	成連絡協	議会支援	受事業				
	年	:		고 H:c	7年 庄	1	77 <del>  }</del> 0	0年度	77	出90年度	
				平成2	7年度	200	平成2	8年度	+	成29年度	200
事	决		(千円)			600		600			600
業	財		支出金								
	源		の他								
費	内 訳	町	債								
	H/\	一角	財源			600		600			600
事		的					□ 内容				
#			目互の連絡・	連携に努め、自主	的な活動を	育成	町子ども会育成連絡協議会	会は子ども会の健全な育成と	:福祉の推進を図るため	り下記事業を行	った。
業	し、子ど	も会の	健全な育成と	:福祉の推進を図る	)。			でいわて子どもの森に31人			
-tent								研修会を中央公民館で開催 −大会を七戸体育館で開催			
概							<ul><li>②ジュニアリーダー事業</li><li>・県、東北及び全国の研修</li></ul>	今に参加した。			
要							N A ILLO LE IVINO	21-3710720			
			年 度	亚最多	7年度		亚成?	8年度	立之	成29年度	
事	項目(単	单位)		1 /3/22	111/2		1 /4/22	01/2	'	13,20	
//~	世話人	研修会	参加者数			50		0			48
効	ドッヂビ	`一大会	参加者数			257		238			180
果	小学生	交流会	参加者数			51		24			25
	ジュニアリ	ーダー研	修会 参加者数			0		12			13
				評	価		項	目			
	①必要	性(町目	民が必要とし~	***	11-4			,			
			· 民ニーズはi		B ⊞h	「早ニーフ	ズは低い(ない)				Α
		111	71101	-11 4	ъ.,		118 20 (1847)				
	② 卒 当	性(町)	ぶ行うべきです	トッ)							
事	<b>2</b> × ¬		が行うべきで		R ∰h	「が行う心	必要性は薄れている	5(7211)			А
7	(B	の場合		国・県が行うべき		え間で実		その他			21
	`			は上がっています				Cole			
	⊕'H <i>≫</i> J	,,,,	果は上がって			里は上が	ぶっていない				Α
		Λ ///	水は上がり	C V "D	D /1/X.	水は上が	> ( \ '/\$ \ '				11
業	<b>介</b> 公亚	佐(東き	との効果がか	平に配分されてい	ますか)						
	<b>9</b> 4+		ミングスペッム:平に配分され			、TZ.1.ア 西コス	分されていない				Α
		$\Lambda \Delta$		0.00	D Z	T (CHL)	7 C40 C4 124.				11
	⑥ 効 索	州: (ココ	L削減の会せ	はないですか)							
	@ M+		スト削減の余		P ¬	スト当小記	の余地はある				
評	(P	の場合		受益者負担	(イ)事業(		· ·	尺間委託			A
	(D	の一つの日	, , ,	他事業との統合・			の平に (ジル のな財源の選択	(カ)その他			
	⑥原生	M- ( / (直 /	, ,	に3段階に分類)	至175	(4) / 迪 5	がよればの選が	(37) C 0 / IE			
	砂度儿	工( 変)			3 (50%)		C (25%)				Α
価	(国.	先性が		(10/0)	(30/0)		低1	`			Λ
	逻	ノレバエル・	l⊨1 ∧ .				ILL V			1	
	評						ね自立的な活動が	できているが、特定	その役員への負	担が大きい	、。また、少
	価の			ども会の活動が低		0	1 イタノの名 fin 耂。	がある。 また、 ジュニ	- マローガー 声3	生について	17+14+45-75
	説							がある。また、シュー ど、地域や参加す			
	明	思わ		2,2,2,- 1. 0	, 10	- 24 4 10 11		- 1 · 2 · 1 · 2 · NH /	_ , , ,	-//4/14/0	.,,
<u></u>		<u> </u>									
今※											
後の	-	郊本 冬草		10	1 線 小						_ 45 1
取		小红 形	ء تار تا	▼ □ 疣 ⊥ ∟	」 小日 (1, 1)	事業運営	ぱについて特定の役 孝の呑せがツ悪で	と員への負担が大き ある。また、少子化	きいことから、各	植イベント	への参加
組		統合	□完	了 □ 引続き見i	直し検討	<sub>日</sub> ・励刀) ているの	有の育成か必要で で、更なる助言・サ	める。また、グナ化 ポートを行う。	により単位すど	ひ云い石男	別が宇備し
課		Z か /:	h (			. w./					
題		その化	ਜ (		)						

	事業細目番号		2(4)(2)		担当課	生涯学習課	担当者	金澤 隆洋
	事	業 名	青少年育成七戸町民会	議				
	年	度	平成27年月	¥	ਜ ਦੇ ਹ	18年度	ग्र	成29年度
事		算 額(千円)	十八八十月	120	平成2	120	7	·成29平及 94
7	次			120		120		94
業	財	国・県支出金						
	源	その他						
費	内 訳 —	町 債						
	H/X	一般財源		120		120		94
	□目台	ή			□ 内容			
事			也域力の向上を図り、犯	罪を寄せ付		<b>見及び団体の連携</b>	を強化するため	、次の事業を行った。
尹	けない連	重携した地域社会を	:目指すとともに、地域全	体で子どもを	・8月21日~28日	に町内の小学校、	中学校及び高	校の校門前等であい
業	見守り・	育てる意識や気運の	の醸成を図る。			延べ454名が参加し		・人士・七世を入え明
								全育成者研修会を開発表を行った。また、
概								ついて」講演をいただ
要					き、48名が参加し			
*								
		年 度		<b>.</b>			-	-Noo-E-E-
	項目(単	位)	平成27年月	芝	半成2	8年度	¥-	成29年度
事		運動 参加者数		399		395		454
業	青少年健全	育成者研修会 参加者数		35		25		46
効果								
/K								
			1				l	
			評価		項	目		
	①必要h	生(町民が必要とし						В
		A 町民ニーズは		B 町民ニース	ぐは低い(ない)			_
事	②妥当1	生(町が行うべきで	ナカ・)					
7		A 町が行うべきて	<b></b>	B 町が行う必	要性は薄れている	5(ない)		А
	(B0	り場合) (ア)	)国・県が行うべき	(イ)民間で実	施可能 (ウ)・	その他		
	3有效性	生(期待された効果	は上がっていますか)					В
		A 成果は上がって	ている	B 成果は上が	っていない			Б
業	④公平1	生(事業の効果が公	:平に配分されています:	<b>みゝ</b> )				А
		A 公平に配分され	hている	B 公平に配分	うされていない			Α
	⑤ 効率 🖯	生(コスト削減の余均	也はないですか)					
		A コスト削減の余	:地はない	B コスト削減の	の余地はある			
	(B0	り場合) (ア)	受益者負担 (イ)	事業の簡素・ダ	効率化 (ウ)目	民間委託		A
評		(エ)	)他事業との統合・連携	(オ)適切	刀な財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先性	生(優先性の高い順	原に3段階に分類)					
		А	(75%) B (50	)%)	C (25%)			В
	優生	上性が高い		•	低心	`		
Į:m²		1 -			par t			1
価	評	年 佐由宏に へいっ	たけ 排出回はの連携的	ハルひょぎまかた	この体入女子に関	ナ7 町尺の辛熱方	担チ.図ファ しチ.リ	口めに 町見入業の
	価の		ては、構成団体の連携強 『例発表と、地域と地域の					
	説		かけ、住民一人ひとりが					
	明	1						
		<u> </u>						
今然								
後の	_	継続 口充 第	実 □ 廃 止 □ 縮	小 今後も 電	<b>青少年を取り巻く</b> 環	環境(ネット社会・少	子化等)が変化	する中で、育成者の
取				ニーズに	合った研修内容を	・企画・立案する必	要がある。また、	その内容や情報を町
組		統合 □ 完	了 □ 引続き見直し橋		員のみならず、町	民と共有出来るよ	うな環境づくりゃ	p取り組みを行ってい
課		2014 (	`	<.				
題		その他(	)					

# 事業 評価 シート 事業細目番号 3(1)① 担当課 生涯学習課 担当者 小坂 夏紀

	事業名	町立美術館の指定管理委託事業	15日味 工佐子目味	1551名 7.00 发礼
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事	決 算 額(千円)	22,8		
業	財 国·県支出金			
来	源その他			
費	内 町 債			
	一般 財源	22,8	75 24,000	24,307
	□目的		□ 内容	
事		って、自らの創意工夫を活かし、美		
2014		ービスの向上及び管理経費の縮液 層の増進を図ることを目的とする。	<ul><li>  ②入館料の収受に関すること  ③設備及び備品等の維持管理に関 </li></ul>	<del> </del> オステレ
業		a with a car a car a made y and	④事業計画に基づいた各種事業の	運営に関すること
概			⑤町長のみの権限に属さないその他	也の管理運営に関する事務
要				
女				
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事	項目(単位) 入館者数	9,8	38,200	15,618
業	八阳石 奴	3,0	30,200	13,010
効果				
		評価	項目	
	①必要性(町民が必要として	こいますか)		В
	A 町民ニーズは高		ーズは低い(ない)	Б
事	②妥当性(町が行うべきです			В
7	A 町が行うべきで		5必要性は薄れている(ない)	(1)
	(Bの場合)   (ア)     ③有効性(期待された効果)	国・県が行うべき (イ)民間で ナトがっていますか)	実施可能 (ウ)その他	(1)
	A 成果は上がって		こがっていない	А
業	④公平性(事業の効果が公			
*	A 公平に配分され	にている B 公平に	配分されていない	A
	⑤効率性(コスト削減の余地	!はないですか)		
	A コスト削減の余:		減の余地はある	A
評		受益者負担 (イ)事業の簡素		
	(エ) ⑥優先性(優先性の高い順		適切な財源の選択 (カ)その他	
		(-3权階(-万類) 75%) B (50%)	C (25%)	В
	優先性が高い	D (0070)	低い	_
価			界 天翔ける童心展」「渡辺貞一生誕百	在120年「第17回應」。
ІЩ			乔 「大翔ける単心展」「優辺貝一生誕日 展」「二科青森支部60周年記念展」「第	
			より、特別展に関しては集客の面で効	
	説 ブ」等の地域に根る 明 揮したとは言えない		伸び悩んでおり、芸術・文化の拠点とし	この仮割について、十分に効果を発
今必				
後の	■継続□充り	尾 □ 廃 止 □ 縮 小 学芸員	員や教育普及員の研修などを実施したり 面でのサービスの充実に努め、全体的な	)、避難訓練も複数回実施するなど、 な業術館の質の向上に繋がった。
取如		<b>谷</b> 七.斜	町でのサービスの光美に劣め、全体的/s 続して指定管理制度による美術館経営	
組•	□統合□完」	「 」 引続さ見直し検討 今後の	)課題としては、毎回参加者が少ない芸 ら町民ニーズの掘り起こしが必要である	術文化振興事業について、町と連携
課	□ その他(	) LAN	り町氏ーーへの掘り起こしか必要である	$\mathcal{Y}_{0}$
題				

		事業	細目番号	3(1)②		担当課	生涯学習課	担当者	小坂 夏紀
	事	業	名	文化芸術鑑賞事業					
	年		度	平成27年月	护	亚最2	8年度	√. F	<sup>戈29</sup> 年度
事			反 (千円)	十,以21 千方	1,086	十八人	1,172	7.0	1,077
7	仄								1,077
業	財		支出金		1,086		585		
	源		の他						
費	内	町	債						
	訳	一角	改財源				587		1,077
		5/-1				□ 内容			
			かり かん かまり かまり かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	力ある地域社会において	悪いのなる		2. 玄周 小山学校2	と針色レニー サル	・
事				きるよう、文化・芸術、異			術鑑賞・体験を実		女川に削すりの事
業				化に興味を持つきっか					画教室14回、茶道教
未	更には	子どもほ	自身の創造的	」な能力を高めることを目		室11回、日舞体験	教室6回、ダンス教	效室13回、習字差	対室13回、新体操教
概						室10回、ボディバ	ーカッション3回・・	• 計77回	
要									
			年 度		1			I	
	75 D ( )	4 (4.)	中 及	平成27年月	度	平成2	8年度	平原	戈29年度
事	項目(単				0.51		1.050		
業	鑑賞者	奴			2074		1,652		1,419
効									
果									
				評価		項	目		
	①必要性(町民が必要としていますか)								
	<u> </u>		「民ニーズは」		B 町早ニーフ	べは低い(ない)			А
	②必求		が行うべきでつ		B -1, K - >	(12 K)			
事	<b>⊘</b> ≠∃		が行うべきて		D=甲が得る以	要性は薄れている	( ( + > 1		A
	(D								Α
		の場合			(イ)民間で実	旭り記 (ワ)	その他		
	③有郊			は上がっていますか)					А
	_		え果は上がっ~		B 成果は上が	っていない			
業	4)公平			:平に配分されています:	<b>か</b> ゝ)				А
			:平に配分され		B 公平に配分	分されていない			
	⑤効率			也はないですか)					
		Α⊐	スト削減の余	地はない	B コスト削減の	の余地はある			А
	(B	の場合	(ア)	受益者負担 (イ)	事業の簡素・ダ	効率化 (ウ)月	民間委託		7.1
評			(エ)	)他事業との統合・連携	(オ)適り	切な財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先	性(優を	た性の高い順	[に3段階に分類]					
			A	(75%) B (5	0%)	C (25%)			A
	優	先性が	高い			低い	`		
価	<b>∌</b> ₩								
ІЩ	評価								
	の			ジ少ない様々な芸術や文			<b>ド常に有意義な事</b>	業になっている。	当事業をきっかけに
	説	去何	関係の省い	事を始めたケースもあり、	放果は上かっ	べいる。			
	明								
		1							
今後									
仮の		継続	∮ □ 赤′	実 □ 廃 止 □ 縮	// 総合戦略	の中の「教育環境	の強化など子育で	環境の充実」に	当事業が位置づけら
取		/1744 /IV			れて3年に	こなるが、町内の全	こども園、保育園~	で芸術・文化の教	女育に取り組んでい -
組		統合	↑ □ 完 ¯	了 □ 引続き見直した	食討る。事業の	の実施回数も増加	しており、ニーズが	上がっていること	から、今後も同様の
課		7-01	h (	`	体験事業	を実施する。			
題		その化	<u>ı.</u> (	)					
	•								

		事業細目番号	3(1)③		担当課	生涯学習課	担当者	小坂 夏紀
	事	業 名	オータムフェスタ(	文化部門)開催事	業			
	年	度	平成2	27年度	平成	28年度	平瓦	<b>艾29年度</b>
事	決	算額(千円)		1,400		2,710		2,710
業	財	国·県支出金						
	源 内	その他		800		710		710
費	訳 —	一般財源		600		2,000		2,000
_				000		2,000		2,000
	□目的		体などが一丸となり	まつりくべいふな	□内容	フェスタ実行委員会	へな知徳』宝歩]	た
事	開催する	ことで、地域産業及	体などが 凡となり 及び文化などの振り	・まつり/トペントを  ・異発展に寄与す  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	期日:平成29年1	0月28日(土)、29日	て組織し美麗し (日)	/
業	る。 亚成28年	三度上の商工部門が	ぶ別事業へ移行した	- ことにより 生涯		Ŋスポーツセンター 農産物共進会、各匠	₹ 〒休活動展示・ ⊪	(京志)
概	学習課か	バイベント全体の統	括となる総務部門。	と従来の文化部門		舞台発表、作品展		
1,72	を担当し	ている。						
要								
		年 度	亚忠:	27年度	巫	28年度	巫后	·
#	項目(単		1 13/22					
事業	参加団体			54	文化部	門69、農林部門19	文化語	部門75、農林部門1
効果	八場有多	X		1438		1,763		2,069
未								
			評	価	<b>.</b> 項	E		
	①必要性	性(町民が必要とし		lbert				1
		A 町民ニーズは	高い	B 町民ニー	ズは低い(ない)			А
事	_	生(町が行うべきで						
#		A 町が行うべきて			必要性は薄れている			А
	`		)国・県が行うべき は上がっています:	(イ)民間で実	施可能(ウ)	その他		
	,	E (朔付された効果 A 成果は上がつ)		ハ・) B 成果は上か	うっていたい			А
業			・平に配分されてい		2 (1 ,21			
		A 公平に配分され			分されていない			А
	⑤効率性	生(コスト削減の余り						В
	/	A コスト削減の余		B コスト削減		F 111		_
評	(B0	· · · · · ·	) 受益者負担 ) 他事業との統合・	(イ)事業の簡素・ 連集 (オ)海	効率化 (ワ) 切な財源の選択	民間委託 (カ)その他		(1)
	⑥優先性	上(優先性の高い順		上方 (4) 個	別な別様の選択	(2) 20/世		_
	@ 1927 LT			B (50%)	C (25%)			А
	優先	5性が高い			低い	1		
価	評	平成28年度に引き	き続き、農林部門と	文化部門の2部門	体制で実施した。	農林部門の出店数に	は昨年度より減少	
	価	は微増となった。こ	また、入場者数も30	06名増加した。				
	の 説							要な事業である。文 【や、文化部門の記
	明		にりコスト削減は可能			211 3211 11 20 22	11 411 7 1 2 7112 1	(())
今				<u> </u>				
後								
の取		継続口充	実 □ 廃 止 □	□ 縮 小 平成29年	F度は入場者数が	増加したが、内容は	従来の事業を路	<b>襲したものであり、</b>
組		統 合 □ 完	了 □ 引続き見	新しい企 直し検討 力を得だ	:画を求める声も多 :がら魅力あるイベ	・い。事業そのものの ントづくりをしていく	)町民ニーズは高 必要がある。	高いので、団体の協
課		その他(		)	2/22/20/0/1	() = 0 (, ()		
題		C.\\		/				

				_			_		_							
		事業	細目番号		3 (2	2)①			1	旦当課	世	界遺産対策室	担当者	4	金見	真樹
	事	業	名	世	t界文化	匕遺産到	登録に向け	けた取り組	み							
	年		度			平成	27年度			平成	戈28年	F度	平	成29	年度	
事	決	算	額(千円)					3,262				2,069	3	,764(	内繰起	或3,510)
			県支出金					,				•				
業	財 源	そ	の他	-												
費	内	町														
貝	訳 —	,						0.000				0.000		7011	′ <del>-   -   -   -   -   -   -   -   -   - </del>	*** E10)
		<u> </u>	般 財 源					3,262				2,069	'  3	,764(	、门裸は	逑3,510)
		44								<del>,</del>						
事		<b>∄</b> J							□ 内:		<i>₽</i> <b>3</b> %	年 ラー・カット・カット	ついて、手上			
علاد	国山	- パー・パ	/森貝塚が	(世界	ナルキ	<b>产</b>	の構成姿	产したっ				録に向けたPI 備其木計画層	K店動 i討委員会の問	月/岸		
業			が、青森県						中跡-	ツ森目	塚整	佣塞本可画版 備基本構想及	び整備基本記	可催 計画を	·策定	
概			ての課題に					, 0 ou					いて考える意			開催
1496																
要																
			年 度										I			
事	項目()	単位)	1 12			平成	27年度			平成	₹28 <sup>£</sup>	<b>F</b> 度	平	成29	年度	
業	見学者		<u>(</u> )				弁	的1000人				約1000人			糸	勺1000人
効																
果																
				評			価		項			目			評	価
	①必要	性(田	「民が必要	iとして	いまっ	<b>ーカュ</b> )										
			「民ニーズ	-		,	B町民	ニーズは	低い(7	(1 JS						Α
		11 .	120	100 HJ	•		D . 12	2	154. (	<b>.</b> ,						11
	②巫业		「が行うべき	キです	-カゝ)											
事			「が行うべき				D ELLY;	行う必要	州戸茶	h アロン	z (+s)					Δ
争	(D					( × ->										A
	,	の場合	- ,			行うべき		)民間で写	<b></b>	E	(ワ)・	その他				
	3)有效		得されたす			っていま			·							
		A 瓦	え果は上が	うつてし	いる		B 成果	は上がっ	ていない	, )						А
業	<u> </u>															
未	4)公平		F業の効果													
		A 1/2	や平に配分	ゔされ	ている		B 公平	区配分さ	れてい	ない						Α
	⑤効率	姓(コ	スト削減の	つ余地	はない	ですか	)									
評		Α =	スト削減の	り余地	はない	`	B コス	ト削減の名	余地はは	53						
PT	(B	の場合	<u>}</u> ) ( <u>;</u>	ア)受	益者負	担	(イ)事業	その簡素・	·効率化	; (	(ウ) 月	<b></b>				A
			(3	エ) 他	事業と	の統合	•連携	(才)谪	切な財	源の選	択	(カ)その船	łı,			
	⑥優先	- 性 ( 係	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					.,,,,,	. ,	<i></i>		() / ( ) /	_			
	<b>少</b> 及九	11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-		(75			B (50%)	)	C 1	25%)						A
価	/百	H- M- 4	ぶ高い へ	(1)	/0)		D (90 /0.	)		20 /o) 低i						А
Т	[変]	元任ル	4 同 ( '							14,1	٧,					
	評															
	価												り、特に観光			
	Ø) ≅¥												るガイダンス旅			
	説明	14,	丈跡 二フラ	<b></b> 积只	<b>豕</b> 銓佣	<b>基</b> 半傳	忠及い発1	<b>朋</b> 本	囲」でオ	ル上し、か	他政生	<b>栓伽に</b> 門けた。	方向性を示す	_E//3	てさだ	-0
	-91															
^																
今後																
仮の		継糸	売 ■ 赤	七実		廃止	□縮小	₩界文	化潰産	の登録』	こ向に	ナ引き続き 岬	:及び関係市田	川と連	携しす	応をし
取								ていくこ	とになる	5。七戸	町の	課題である、	ニツ森貝塚の	ガイダ	ンス施	設整備
組	l	70元 1	合 口 完	c 1	Ш	りがだり	心旦し便刮	と活用の	の仕組る				や来訪者の受			
•		その	uh (				)	が必要	である。							
課題	l	(0)	[반 /				,									

				- (-)				I as many transfer t			
			田目番号	3(2)②			担当課	世界遺産対策室	担当者	金見	1 真樹
	事	業	名	二ツ森貝塚	史跡公園管理	業務委託	事業				
			-4-	ı			<del></del>	) <del></del>	_	- Dag	_
事	年		度 (ズm)	1	平成27年度	057	平	₹28年度	7	平成29年度	
争	沃	算額				657		667			799
業	財		:支出金 の 他								
費	源	町	の <u>他</u> 債								
賃	訳 —		財源			657		667			799
		۷.۱/۸	K W 1 W N			001		001			133
事	□目	的					□ 内容				
7	二ツ森	貝塚史	跡公園の維	持管理				(駐車場・トイレ)、復			内の草刈
業						Ņ	の・除草作業、第	薪割り作業等の業務	<b>务を委託する</b> 。	,	
概											
113/1											
要											
			年 度	7	P成27年度		平点	t28年度	7	平成29年度	·
事	項目(	単位) 針(推定)				11 000 1	1 /2	約1,000人		170020 172	~ 約1,000人
業	兄子在	1(推定)	1		不	1,000人		#11,000人			ポリ1,000人
効果	-										
714						+					
			į	平	価		項	Ħ			評 価
	①必要	厚性(町)	民が必要とし	ていますか)							
		A 町J	民ニーズはア	高い	B 町民	ニーズは	低い(ない)				Α
	②妥当		が行うべきで			/= > \ <del></del>	,,,, <del>,,,,</del> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. ( )			
事	(5)						生は薄れている				Α
	<u> </u>	の場合		国・県が行う。 果は上がって		氏間で実	施可能	(ウ)その他			
	<b>③</b> 有多		せいごめる 果は上がっ~			は上がって	7117211				A
		11 /3/4/	水はエル・フ	( , 2	D PARK	а <b>т</b> и. Э (	C V 1 A V				71
業	<ul><li>④公平</li></ul>	2性(事	業の効果が	公平に配分さ	れていますか	<u>,)</u>					
		A 公	平に配分され	れている	В 公平	に配分され	れていない				A
	⑤効率	区性(コン	<b>ハースト削減の余</b>	地はないです	ーカュ)						
評		A コン	スト削減の余	地はない	B コスト	削減の余	:地はある				Α
F'	(B	の場合	(ア)	受益者負担	(イ)事業	きの簡素・3	効率化(	ウ)民間委託			Λ
				他事業との紛		(オ)適り	刃な財源の選打	沢 (カ)その他	<u>I</u>		
	⑥優先	性(優生		順に3段階に							
/111*	-	# 1.f >>-		75%)	B (50%)	)	C (25%)				Α
価	慢	先性が	高い				低	<u> </u>			
	評					また町内/	小中学校をはじ	じめ近隣町村の社会	会科見学の場	として活用	されてお
	価の			理の継続が必		・トル 中尉	「存をへの理解	マロッド マイス マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	なが図られた		
	説							こより、職員の負担			
	明										
	<u> </u>										
今※											
後の		継続	■充分	実 □ 廃 .	止 □ 縮 小	-tt tillo	/ <u></u>			» ⊏ 440 BB.b.;	10 H* tillo =
取		統合			き見直し検討	早刈り		をしたが、草が伸び 公要であり、来訪者			
組•		.,, u	_ /6	51/100				管理に努める。	· · 由/ C o/ "1/79.	C E 1547	たっく日 不円
課		その他	<u>h</u> (		)						
題	I					1					

			· · ·		
	事業細目番号	3(2)③	担当課世界遺産対策室	担当者	金見 真樹
	事 業 名	史跡土地買上げ事業			
	年度	平成27年度	平成28年度	平成294	 手度
事	決 算 額(千円)	50,970	43,229	1 ///	53,606
業	財 国·県支出金	40,776	34,363		42,883
	源をの他				
費	カ	10,194	8,866		10,723
	州文 杂〕1万六	10,134	0,000		10,125
事業概要	□ 目的 ■ 国史跡の指定を受けて 護するため土地の買上け	いる二ツ森貝塚及び七戸城跡を保ずを行う。	□ 内容 土地の買上げ及び移転補償を行等移転補償費調査委託を行い、追げを行う。 史跡二ツ森貝塚:4,198.32㎡(2 史跡七戸城跡: 655.90㎡(2	道正な土地価格と補 5筆)	
	年度項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成294	 年度
事業	取得面積	1,273.84 m²	13,581.91 m²		4,854.22 m²
効					
果					
		<u> </u>			
		評価	項目		評価
	①必要性(町民が必要と) A 町民ニーズは	高い B 町民ニーズは	t低い(ない)		A
事		である B 町が行う必要 国・県が行うべき (イ)民間で写	性は薄れている(ない) 実施可能 (ウ)その他		A
	③有効性(期待された効力 A 成果は上がつ		ていない		A
業	A 公平に配分さ		まれていない		A
評	(Bの場合) (ア)	条地はない B コスト削減の気 受益者負担 (イ)事業の簡素・		i.	A
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い	順に3段階に分類) (75%) B (50%)	C (25%) 低い		A
	実施しており、公理 実施しており、公理 実施しており、公理 実験七戸城跡に	こついては、平成27年度に国史跡の 有化率が52.9%に向上した。 ついては、財政事情等により平成20 ずを実施することができた。			
今後の取組・課		」 日 別続さん直し検討 は国補	ツ森貝塚については、世界文化遺 地の買上げを行い公有化率の向上 助であるが残りの2割は一般財源で ていくことになる。	を目指すが、土地	購入費の8割

	事業細目	番号	3(2)(4)		担当課	生涯学習課	担当者	小坂 夏紀
	事 業 名	7	国指定有形民俗文化則	オの保管				
	年	度	平成27年月	ŧ	平成2	8年度	平	成29年度
事			177,211	140	1 1702	140	'	1,596
,	国. 胆去!			110				1,500
業	財産の	他						
費	内町	債						
	一般財			140		140		1,596
		10.71						
	□目的□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	1/0 <del>**</del> // F	ひんと フ「本如しっ三日四		口内容	ちょく マドライモ (井水) /	n = +/	明文学 1 田フマ科
事	国相に里安有形は 信仰資料」と「南部	七戸小日	財である「南部七戸見町 ∃子不動堂奉納絵馬」、	観百星点氏 しならびに町	IJ賃科信用の笑☆ 堂共に7万円)	がならいに 貝信科グ	フス払い(兄叫作	親音堂、小田子不動
業	指定有形民俗文化	上財である	5「小田子不動堂庶民信	「仰資料」に (	②絵馬利用行為の			
^		護法によ	り、適切な管理のもと保		③絵馬の保護看号		ログシャ(ハ 光日	+ 日 汁 上 庵 山 ウ
概	ことを目的とする。					14 (町)、施設官増 との懇談会の実施		才団法人鷹山宇一記
要				ľ				
女								
		年 度	平成27年月	¥	平成2	0年度	₩.	成29年度
	項目(単位)		十八八十月	Ż	十八人2	0千及	+	成49千段
事業	保管絵馬数			542		542		542
未効								
果								
			評 価		項			
	①必要性(町民が	必要とし~	ていますか)					
	A 町民ニ	ニーズはア	高い	B 町民ニーズ	ば低い(ない)			A
	②妥当性(町が行	うべきです	ナカゝ)					
事	A 町が行	うべきで	ある	B 町が行う必	要性は薄れている	(ない)		А
	(Bの場合)	(ア)	国・県が行うべき	(イ)民間で実施	施可能 (ウ)・	その他		
	③有効性(期待され	1た効果	は上がっていますか)					Δ
	A 成果に	ま上がって	ている	B 成果は上が	っていない			А
業	④公平性(事業の	効果が公	平に配分されています	ð1)				A
	A 公平は			B 公平に配分	分されていない			Α
	⑤効率性(コスト削							
		削減の余	地はない	B コスト削減の	り余地はある			А
≢च	(Bの場合)			事業の簡素・効		尺間委託		
評			他事業との統合・連携	(オ)適切	Jな財源の選択	(カ)その他		
	⑥優先性(優先性			- 43				
			(75%) B (50	)%)	C (25%)			A
	優先性が高い	1			低い	`		
価	評							
	価 施設管理	受託者の	D公益財団法人鷹山宇	一記念美術振り	興財団により、適ち	刀に管理され、町国	こに対する公開す	ふ適切になされてい
	の 説	->						
	明							
今然								
後の	■継続	口	t □ 廢 ⊩ □ 綻	/h /	# . O . I I I I I I I I I I I I I I I I I	\		WE . E. # /
取	<u> </u>		<b>実</b> □ 廃 止 □ 縮	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	Ľ財保護法に則り  紫県ウ郷+館が呉	、週切な管埋が求 ・入をしかくかった。	められる。特に液 とから 憧恭如	絵馬の燻蒸処理につ 理の専門業者に委託
組•	□ 統 合	□ 完 □	了 □ 引続き見直し橋		**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	,, , e U.		工一刀口不可匹女儿
課	□ その他(		)					
題			,					

		事業細目番号	3(3)①		担当課	世界遺産対策室	担当者	鳥谷部久美子		
	事	業名	七戸町郷土芸能保存名	会支援事業						
	年		平成27年月	<del></del>	平成	28年度	平成	29年度		
事	決	算 額(千円)		330	. , , ,	360	. //-	330		
業	財	国·県支出金								
未	源	その他								
費	内 訳	町 債								
	II/C	一般財源		330		360		330		
事	□ 目	的			□ 内容					
"	伝統芸	能及び郷土芸能の	保護と育成を目的に、町	指定無形民	郷土芸能保存会	補助金330千円(30	千円×11団体)			
業			後継者育成や普及、郷土 ベントへの参加を促すた		保存会活動内容					
概		存活動の支援を行う		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	郷土芸能発表:	会の開催				
要					各種イベントへ	の出演				
女										
		年 度	平成27年月	<b></b>	77 H	28年度	₩.	29年度		
事業	項目(單		平成27年月	艾	平成	.20 午及	平风	29年度		
効	加入団	体数		11		12		11		
果										
			評価	Ì	項	目				
	<ul><li>①必要</li></ul>	性(町民が必要とし						A		
	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)									
	②妥当性(町が行うべきですか)									
事	<b>⊕</b>	A 町が行うべきて		B 町が行う心	必要性は薄れてい	ろ(たい)		А		
7	(В		· · · · =	(イ)民間で実		)その他				
	③有効	性(期待された効果	は上がっていますか)							
		A 成果は上がって	ている	B 成果は上か	ぶっていない			В		
業										
未	④公平		や平に配分されています		/\ \{\cdot\}\\ \\ 2					
		A 公平に配分され	れている	B 公平に配う	分されていない			A		
	⑤効率	性(コスト削減の余り	他はないですか)							
評		A コスト削減の余		B コスト削減	の余地はある					
рі	(B	の場合) (ア	)受益者負担 (イ)	事業の簡素・雰	効率化(ウ)	民間委託		A		
		(工)	)他事業との統合・連携	(才)適均	刃な財源の選択	(カ)その他				
	⑥優先	性(優先性の高い順								
価	/=		(75%) B (5	0%)	C (25%)			A		
ІЩ	慢	先性が高い 			低	V 1		L		
	評									
	価の		は他市町村からも観覧者なっている状況である。					て、郷土芸能の保		
	説	付さば年が厳しく	なつ(いる状況である。)	又抜悑助金領	は各団体一体で	めるか、活動の一助	になっている。			
	明									
今										
後	_	Anti Adi		\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	51-12일 교소===	マキァ ホラゴビル	・抽中のおかっく	タギルテトル 畑リ		
の取		継 続 □ 充	実 □ 廃 止 □ 縮	芸能への	)興味関心は低く	、その存続が危ぶま	れている。今後、ヨ	子ども会や放課後		
組		統合□完	了 □ 引続き見直した	食討 子ども教	室と連携するなど	、子どもへのアプロ・	ーチによる後継者	探しが求められる。		
課		その他(	)	各団体の	)現状を把握しど(	のような支援ができる	が検討する必要な	ひめる。		
題		してにし	,							

			•								
	事業細目番号	3(4)①		担当課	世界遺産対策室	担当者	金見 真樹				
	事業名	文化交流センター	一の活用の充実								
	年度	平成2	7年度	平点	成28年度	平成2	9年度				
事	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 /3/22	884	1 79	88	1 /3/22	253				
2116	財 国·県支出金										
業	源をの他										
費	内 町 債										
	一般財源		884		88		253				
事業概要	文化交流センターは、歴史民俗資料館としてのほか、文化財 文化交流センターの2階部分が歴史民俗資料館のように、										
	年 度		a Fr iz		Pook #	∓; -bo	0 F F				
事	項目(単位)	半成2	7年度		<b>以28年度</b>	平成2	9年度				
業	利用者数		565		319		213				
効果		<u> </u>									
		.1		I.							
		評	価	項	目		評価				
	①必要性(町民が必要と) A 町民ニーズは		B 町民ニーズに	は低い(ない)			В				
事		である 国・県が行うべき	B 町が行う必要 (イ)民間で3		る(ない) (ウ)その他		A				
	③有効性(期待された効) A 成果は上がっ		すか) Β 成果は上がっ	ていない			В				
業	④公平性(事業の効果が A 公平に配分さ		いますか) B 公平に配分さ	られていない			В				
評	(Bの場合) (ア)	<ul><li>*地はないですか)</li><li>*地はない</li><li>受益者負担</li><li>他事業との統合・</li></ul>	(イ)事業の簡素			1	A				
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い		) 3 (50%)	C (25%) 低	V \		С				
	評価の が 文化交流センターは平成17年度から児童館施設として、そして歴史民俗資料館としての文化財の保管保存、さらに体育館施設からなる複合施設として供用を開始した。しかし児童館廃止後は常勤者もいなく平日は鍵をかけ閉め切っているため、施設の活用が図られていない。分館活動の場所としては、年10回程度利用されている。 施設は老朽化が進んでおり、浄化槽配管などの修繕を実施した。										
今後の取組・課題	□ 継 続 □ 充 □ 統 合 □ 完 □ その他(		<ul><li>縮 小 勤者が 直し検討 機能や 財の保</li></ul>	なく、また、展示 団体のみにしか 避難所施設なる 護上問題がある	、歴史文化等を紹 がを紹介できる職 公開できない状態と ど不特定多数が利 5。そういったことから が必要と思われる。	員も限られており となっている。また 用できる状態となっ ら、今後、常時見	、事前申し込み 、公民館分館 っており、文化				

		事	業細目番号	4(1)①	7		担当課	生涯学習	課	担当者	小	林 義博
	事	業	名	七戸町ジュニア	スキースクー	-ル	32 - 191K		<i>y</i> (0	,— , i		11 42/14
		<i>&gt;</i> 1<		_, ,,								
	年	i.	度	平成2	7年度		平成	28年度		平	成29年	度
事	決	算	預(千円)			128			144			120
業	財		表出金									
	源	そ	の他									
費	内 訳 —	町	債			100						100
	.,	— · 元	段財源			128			144			120
事		的					〕内容					
争	スキー	一の基		、技術の向上とス		を体 対	象 町内の/					
業				体力の増進を図る かをともにすることに			舞師 七戸町ス ]数 4回	キークラブ員				
概	間関係			かをともに 9 ることに	より、至まし		1数 4四					
1294												
要												
	項目()	単位)	年 度	平成2	7年度		平成	28年度		平	成29年	度
事業			べ人数)			352名		3	84名			340名
· 亲												
果												
				評	価		項	目				評 価
	①必要	4件(町		<u> </u>	ІЩ		79	Н				рт ш
	0.12		民ニーズは		B 町民ニ	ーズは低	ない(ない)					А
	②妥当	首性(町	が行うべきて	(すか)								
事			が行うべきて				は薄れている					А
		の場合		国・県が行うべき		間で実施	可能 (	ケ)その他				
	31月分		けされた効差 と果は上がって	果は上がっています ている	か) B 成果は	トがって	1.1721.1					А
		Δ )JX	未は上がり	CV	D灰木は	T.//**/	v ,,,, ,					Λ
業	<ul><li>④公平</li></ul>	性(事	業の効果が	公平に配分されてい	ハますか)							
		A 公	平に配分され	っている	B 公平に	配分され	ていない					А
	⑤効率	3性(コ	スト削減の余	地はないですか)								
評	,			地はない								А
	(B	の場合		受益者負担					m hl.			
	②原件	: 从 / / / / / / / / / 百		他事業との統合・選順に3段階に分類)		不)週切/。	は財源の選択	(カ)そ	ク他			
	の 変元	71生(復			(50%)	(	C (25%)					А
価	優	先性が	,	10,0,	(00/0)	`	低心	1				11
	評	<u> </u>	1.4				19-38					
	価			の講習会として町内		と対象とし	ており、雪国の	の冬期間のス	ポーツ	<i>y</i> として、また	、他校の	り生徒との
	の説			灯民のニーズは高い ラブと連携して事業		こり クラー	7 主催十合へ	の参加考を検	ר וחל	ており成里を	トぼてい	17
	明	210	-/ El\/(-/	ノノと生物して争っ	尺天旭し (4	39,777	/ 工催八云 、	V/参加日 0.4日	лис	(407)MM.C.=	LV) CV	Jo
<u> </u>												
今後							交でもスキー孝		ハるが	、その機会に	しかなく	、町主催の
の取	■ 継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小 スキー教室の継続は必要である。 また、6年間継続して参加してもらうために、講習内容などをスキークラブ											
組		統合	↑ □ 完	了 □ 引続き見	直し検討	と協議する	る必要がある。					
課		その	他.(		) .	スノーボ する。	ードが普及し	てきたため、扌	旨導者	で確保し講習	習会の関	開催を検討
題					,	7 °NO						

	事業細目番号	4(1)②	担当課 生涯学習課	担当者	小林 義博			
	事 業 名	町民スポーツ交流会						
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29				
事	決算額(千円)	438	250		204			
業	財 国・県支出金 その他							
費	源 そ の 他 内 町 債							
	一般財源	478	250		204			
		l .		l .				
事	□目的		□ 内容					
業	「町民に広くスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、健 平成25年度より「七戸ギネスチャレンジ」と名称変更 ★ 康保持、体力増進及び相互の交流を図り、生涯を通じたス 軽に参加出来る種目とし、七戸独自の記録として毎年							
未	ポーツ活動の参加意欲の		指し参加を募る。					
概			対象 町民(個人、町内会、分館 ※幼児から高齢者まで	1、スポ少単位)				
要			ACOUNTY SHARING OF					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29:	<del></del> 年度			
事	項目(単位) 七戸ギネスチャレンジ	7種目		1 ///	5種目			
業効		10団体 234名			9団体 189名			
果		10년(1 2014	1001111 10001		<u>ощи 100-д</u>			
					⇒T; /T;			
	①必要性(町民が必要とし	アルますか)	項目		評価			
	①必要性(可氏が必要とし A 町民ニーズは)		は低い(ない)		А			
	***							
	②妥当性(町が行うべきで	(すか)						
事	A 町が行うべきて		怪性は薄れている(ない)		А			
		国・県が行うべき (イ)民間で	実施可能 (ウ)その他					
	③有効性(期待された効り A 成果は上がっ		つていたい		Α			
Me	II PANCIALIN S	T MANTALA						
業	④公平性(事業の効果が	公平に配分されていますか)						
	A 公平に配分され	れている B 公平に配分	されていない		А			
		Maria I and A A A A						
-1	⑤効率性(コスト削減の余		<b>◇刊けよ</b> フ					
評	A コスト削減の余 (Bの場合) (ア)	受益者負担 (イ)事業の簡素			А			
				1,				
	⑥優先性(優先性の高い)	順に3段階に分類)						
-	Α (	75%) B (50%)	C (25%)		А			
価	優先性が高い		低い					
	評							
			するように努めた。また、参加しやす	ナい種目を増やす:	ことにより、参			
	說	動への意欲を高めている。						
	明							
今								
後 の	■継続□充	車 □ 廢 ⊩ □ 締 小 ◯ Ψ ┪	は間の交流のため、広く町民が参加	できるトシエ土が立	、亜である			
取組		了 ■ 引続き目直1 検針 ②参加	コ者が減少傾向にあり、種目の選定					
		」 ■ 別続さ兄旦し快的 討する	必要がある。					
課題	□ その他(	)						

	<u>-</u>	<del>学</del> 来		Lange and the state of the stat					
	事業細目番号 事 業 名	4(1)③ 体育協会加盟団体によるスポー	担当課 生涯学習課	担当(記入)者 田栗 昌弘					
	# X 4	件 1 侧 Z 加 重 回 件 (C \$ 3) W							
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
事	決 算 額(千円)	4,23	4,166	4,088					
業	財 国・県支出金 ア の 他	2,56	69 2,375	2,318					
費	内町債	2,30	2,313	2,310					
	一般財源	1,67	70 1,791	1,770					
事業概要	援をすることで、地域スポー	教室及び大会開催費に対するラーツ活動の普及・奨励に努める。 とは別に、広く町民を対象としたフの実現を図る。	(フットサル、ハドミントン、バスケットボー ○体育協会加盟団体主催大会等	-ル、バレーボール) : テニス大会、剣道大会、ゲートボール フ大会、町民登山)					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
事	項目(単位) 教室·大会数	2教室等、15大		2教室等、13大会					
業効	参加者数(人)	2,574		2,550名					
果			·						
	部			評 価					
事	<ul><li>①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは高</li><li>②妥当性(町が行うべきで A 町が行うべきで</li></ul>	い B 町民ニース すか)	ば低い(ない)	A					
		国・県が行うべき (イ)民間では上がっていますか)	で実施可能 (ウ)その他	A					
業		ペ平に配分されていますか) ている B 公平に配分	けされていない	A					
評	(Bの場合) (ア) §	他はない B コスト削減の 受益者負担 (イ)事業の簡素		A 1					
価	⑥優先性(優先性の高い順 A (7 優先性が高い		C (25%) 低い	А					
	評価の 体育協会加盟団体のほぼすべてが、目的に沿った事業を展開できている。 説 明								
今									
後の取組・課題			業の継続と更なる充実を目指し、各加 と、各加盟団体から課題並びに要望∜ める。						

	事業細目	番号 4(2)①	٦	担当課	生涯学習課	担当者	西野 康平	
	事業名	青森県民駅伝競	<b>_</b> 走大会	,— <u> </u>		,—	H-7 ///	
	<del>-</del>							
+	年 度	1 777		平成	28年度	平成	29年度	
事	決 算 額(千円		854		872		898	
業	財 国・県支出金 ア の 他		60		60		60	
費	内町債							
	一般財源		794		812		838	
事	□ 目的 □ 内容 □ 内容 □ 大会を通じて七戸町民の一体感を強めるとともに、スポーツ □ 県内全40市町村が参加し、青森市内の8区間を市の							
業	(陸上競技)に対する理解と関心を高め、活力ある町づくりとス   部・村の部でそれぞれ競う。町の部8位、総合17位の原							
	「ポーツ振興を目的とする。 た。 た。 た。 アルイ・オース・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・ストイ・スト							
概				•中学生	三男子 4人		八 同仪王1八	
要				·女子4	人(大学生 2人	中学生 2人)		
	l							
	年 月 項目(単位)	要 平成2	7年度	平成	28年度	平成	29年度	
事業	成績	町の部	5位 総合 11位	町の部	4位 総合 10位	町の部	8位 総合 17位	
効								
果								
		評	価	項	<b>I</b>		評 価	
	①必要性(町民が必	要としていますか)						
	A 町民ニー	ズは高い	B 町民ニーズは	低い(ない)			А	
	②妥当性(町が行う/	ベキブナカ)						
事	② <b>★</b> 当 庄 (町 が 行 )・ A 町 が 行 う・		B 町が行う必要	性は薄れている	(tev)		А	
	(Bの場合)	(ア)国・県が行うべき			りその他			
		た効果は上がっています						
	A 成果は上	がっている	B 成果は上がっ	ていない			А	
業	<ul><li>④公平性(事業の効</li></ul>	果が公平に配分されてい	(キオカ)					
		分されている		れていない			А	
		成の余地はないですか)						
評		域の余地はない (ア)受益者負担			) 日間そぎ		А	
	(Bの場合)	(ア)受益者負担 (エ)他事業との統合・連		効率化 (ウ) 切な財源の選択	) 民間委託 (カ) その他			
	⑥優先性(優先性の	高い順に3段階に分類)	ニルケ (4 人)値り	いよががり送が	(A) J-CVJTE			
1	0 347 51- 1347 51-		(50%)	C (25%)			А	
価	優先性が高い			低V	١			
	評							
		本感を強めることができる				を中心に練習会	や選考会等を開	
	説催し、選手の	)強化を図っており、県内	トップクフスの選手	も育成されてい	රං			
	明							
今								
後 の	■継続□	充 実 □ 廃 止 □	   縮 小  一般っ	ケ子区間を未入る	選手の確保が課題	であり 陸下語	技協会と連携に	
取組	.,	完了 □ 引続き見	直し検討選手の	発掘を行う。				
: 課			また、	選手の情報を早	-い段階で把握し、	選手の決定を円	月滑に行う。	
語	□ その他(		)					

	事業細目番号	4(2)2	1	担当課	生涯学習課	担当(記入)者	田栗 昌弘		
	事業名	体育協会補助事	<b></b> 章業	1 10/K	<u> </u>	724(10) () 1			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Tr B W A mily							
	年 度	平成2	7年度	平成	28年度	平成29	年度		
事	決 算 額(千円)		2,410		2,184		1,274		
業	財 国·県支出金								
耒	源 その他		779		534		538		
費	内 町 債								
	一般財源		1,631		1,650		1,812		
				_ +=					
事	日的   内容								
業	体育協会及び加盟団体への活動支援 体育協会及び加盟団体の活動(組織運営・事業等) は 援事業								
未									
概									
要									
×									
	年 度	<b>-</b> 5-		h		h			
士	項目(単位)	平成2	7年度	平成	28年度	平成29	年度		
事業	体育協会加盟団体数		21団体		21団体		21団体		
効	体育協会加盟人数		654名		647名		581名		
果									
	1	平	価	項			評 価		
	①必要性(町民が必要とし	•	Щ	内			рт іш		
	A 町民ニーズは		B 町民ニーズは	低い(ない)			А		
	12.1		_ ,,,	,					
	②妥当性(町が行うべきて	(すか)							
事	A 町が行うべきて	<b></b> ある	B 町が行う必要性	生は薄れている	(ない)		А		
	(Bの場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ)民間で実	施可能(	ウ)その他				
	③有効性(期待された効果								
	A 成果は上がって	ている	B 成果は上がって	ていない			А		
業	のハ五州(本来の益用が	ハガルギハシャッ	(				<del>                                       </del>		
	④公平性(事業の効果が A 公平に配分され			h ナロンナン			А		
	A 公平に配分され	( ( V ' S)	B 公平に配分され	40 ( 0 1) 10 1			Α		
	⑤効率性(コスト削減の余	地けないですか)					+		
評	A コスト削減の余		B コスト削減の余	:地はある					
рТ			(イ)事業の簡素・		ウ)民間委託		А		
		他事業との統合・注		切な財源の選択					
	⑥優先性(優先性の高い)	順に3段階に分類)	1				1		
	Α (	75%) E	3 (50%)	C (25%)			А		
価	優先性が高い			低い	`				
	評								
	価 スポーツを通じた	こ町の活性化を図る	るためには、体育協	名会の力が必要	不可欠であり、組織	戦運営上の支援と	しては最低限		
	が 補助できている。								
	明								
<u> </u>	<u> </u>								
今後									
0	■継続□充	実 □ 廃 止 □	〕縮 小 競技人	、口が減少傾向	にあるため、指導す	皆の育成や幼少期	からの育成		
取組	□統合□完	了 🗌 引続き見			生する人材育成に[	句けた取組みを、名	各加盟団体と協		
課			武、快 心	<b>才を行っていく。</b>					
題	□ その他(		)						

事 業 名 七戸町スポーツ少年団活動費補助事業    年 度   平成27年度   平成28年度   平成29年   東成29年   東京29年   東京29年	野 康平								
事   東   東   東   東   東   東   東   東   東	野 原干								
#									
# 日・現文田金   日・現文田金   日・現文田金   日・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田	<u></u>								
# 世	1,921								
# 方									
書   日的   田沢の職業総持・増進お上び体力・競技の向上、更には									
丁田の   日的   丁田の健康維持・増進および体力・競技力の向上、更には   大田町からスポーツ少年団へ補助   福助対象経費   表別数									
丁具の健康維持・増進および体力・競技力の向上、更には 次世代を担う子どもたちへのスポーツの普及と健全育成を図	1,921								
丁具の健康維持・増進および体力・競技力の向上、更には 次世代を担う子どもたちへのスポーツの普及と健全育成を図									
業 世代を担う子どものスポーツの普及と機全育成を図									
要	1、負担金等								
事									
事									
# 項目 (単位)									
# 項目 (単位)									
単位団・登録者数	度								
評	3日体 323名								
①必要性(町民が必要としていますか)         A 町民ニーズは低い(ない)           ②妥当性(町が行うべきですか)         A 町が行うべきである         B 町が行う必要性は薄れている(ない)           (Bの場合)         (ア)国・県が行うべき         (イ)民間で実施可能         (ウ)その他           ③有効性(期待された効果は上がっていますか)         A 成果は上がっている         B 成果は上がっていない           4公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)         A 公平に配分されている         B 公平に配分されていない           ⑤効率性(コスト削減の余地はない         B コスト削減の余地はある(Bの場合)         (ア)受益者負担         (イ)事業の簡素・効率化         (ウ)民間委託           (エ)他事業との統合・連携         (オ)適切な財源の選択         (カ)その他           ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)         A (75%)         B (50%)         C (25%)           優先性が高い         低い           正確のの説説         地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。別説別           本部の機関を対しまるため、団員確認を表し、         スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確認を表し、           本部役員及び各単位団長と協議し強化していく。         本部役員及び各単位団長と協議と強化していく。									
①必要性(町民が必要としていますか)         A 町民ニーズは低い(ない)           ②妥当性(町が行うべきですか)         A 町が行うべきである         B 町が行う必要性は薄れている(ない)           (Bの場合)         (ア)国・県が行うべき         (イ)民間で実施可能         (ウ)その他           ③有効性(期待された効果は上がっていますか)         A 成果は上がっている         B 成果は上がっていない           4公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)         A 公平に配分されている         B 公平に配分されていない           ⑤効率性(コスト削減の余地はない         B コスト削減の余地はある(Bの場合)         (ア)受益者負担         (イ)事業の簡素・効率化         (ウ)民間委託           (エ)他事業との統合・連携         (オ)適切な財源の選択         (カ)その他           ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)         A (75%)         B (50%)         C (25%)           優先性が高い         低い           正確のの説説         地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。別説別           本部の機関を対しまるため、団員確認を表し、         スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確認を表し、           本部役員及び各単位団長と協議し強化していく。         本部役員及び各単位団長と協議と強化していく。									
①必要性(町民が必要としていますか)									
■ A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)  ②妥当性(町が行うべきですか) A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他 ③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない  ※  ③公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない  ③効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他 ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い  評価 の 説明 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。 別 明 単域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。 スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確 な	評価								
事	A								
業       ④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)         A 公平に配分されている       B 公平に配分されていない         ⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)       A コスト削減の余地はない       B コスト削減の余地はある(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他         ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%)       A (75%)       B (50%)       C (25%)         優先性が高い       低い         評価のの説明       地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。         「算価のの説明       地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。         「会後のの取りのなどを単位団長と協議し強化していく。       スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確認を本部役員及び各単位団長と協議し強化していく。	A								
業									
②公平性(事業の効果が公平に配分されていない	A								
②公平性(事業の効果が公平に配分されていない									
②   ③   ③   ③   ③   ③   ③   ③   ③   ③									
A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他 (金)優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い   一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	А								
A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他 (金)優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い   一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一									
(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他 (優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 低い アープルを関係を表します。 (基) 関 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。説 明 単様 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小 スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確に を本部役員及び各単位団長と協議し強化していく。									
(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他  ⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)	А								
(6) 優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%)  優先性が高い 低い  評価のの説明 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。説明    ■ 継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小 スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確認    マオーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確認    「									
A (75%) B (50%) C (25%)  優先性が高い 低い  評価のの説									
価 優先性が高い 低い 評価の かま 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。 説明 単継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小 スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確に を本部役員及び各単位団長と協議し強化していく。	А								
評価の の 説	• •								
価の説明 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。説明   ■ 継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小スポーツ少年団登録団員数が減少傾向にあるため、団員確し									
後	価 の 地域主体のスポーツ少年団が活動する上で、活動費の補助や強化事業による支援は今後も必要である。 説								
後									
課 □ その他( )	保の取り組み								

		<del></del>	W/m D 35 D	1 (0) (0	1	TH 714 SH	11 VE 24 33 SH		n# 03/	
			業細目番号	4(2)4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	担当課	生涯学習課	担当(記入)者	田栗 昌弘	
	事	業	名	体育協会大会派	派遣事業(郡総合	・北奥羽・県民体	(育大会)			
<del></del>		_		T W +20	s to dis	T 77.4	-00 F th	T 77 1200	he rh:	
丰	年		度 	平成2			28年度	平成29		
事	次		額(千円)		900		863	<u> </u>	750	
業	財		果支出金	<del> </del>		<del> </del>		<del> </del>		
#4,	源 内	そ	の他			<b>_</b>		<u> </u>		
費	訳	町一		<del> </del>	900	<u> </u>	863	<del> </del>	750	
	Щ_		反 別 你		900	<u> </u>	009	<u></u>	190	
		目的				□ 内容				
事	<u> </u>									
業	位大会出場の機会を支援し、競技力向上と指導者の資質向 への参加に伴う費用の一部を補助する。							かする。		
Lenne	全国・東北大会出場に伴う経費の一部補助及び選 施設使用料の一部を補助する。							€手強化のため		
概	施設使用料の一部を補助する。									
要	l									
	<u> </u>					<u> </u>				
		-	年 度	T The		亚氏		TV = 1:00		
事	項目()		•	平成2			28年度	平成29		
業	上北郡絲	総合体育	5大会参加者数	14競技157名出場(3競	註技優勝/総合第3位)					
効			育大会参加者数		5競技52名出場		呂出場/総合第4位	7.524	出場/総合第3位	
果			大会参加者数					11種目123名出場		
	全国東	『北大:	会出場数	3団体(野球、サッカ	フー、ゲートボール)	3団体(野球、サッ	カー、ゲートボール)	2団体(ゲートボール	、ママさんバレー)	
	①以更	e NH: ( III)		<u>評</u> っていますか)	1Щ	- 坦	<u> </u>		计二四	
	山北汉		「民か必安とし 「民ニーズは?		B 町民ニーズは	ナイチレヽ(ナさレヽ)			А	
	l	/1 · ,	111- 1101	#1 v	D -15/- > 10	*  EV ( ' &				
	②妥当	<u></u>	「が行うべきで	· ・すか)					+	
事	1		丁が行うべきで		B 町が行う必要	性は薄れている	(ない)		А	
	(B	の場合		国・県が行うべき	(イ)民間で領	実施可能 (	(ウ)その他			
	③有效	加性(期	持された効果	果は上がっています	トカュ)					
	l	A 成	え果は上がっ~	ている	B 成果は上がっ	ていない			А	
業										
未	④公平			公平に配分されてい	いますか)					
	l	A 公	:平に配分され	れている	B 公平に配分さ	<u>ら</u> れていない			А	
	<u> </u>									
	⑤効率			:地はないですか)						
評				地はない					А	
	(B	の場合		受益者負担						
	<u> </u>	1-1 / /m		他事業との統合・通		i切な財源の選択	マ (カ)その他	Ī		
	6)慢升	:性(懓		順に3段階に分類)		G (050/)			_	
価	厍	선 내고		75%) B	3 (50%)	C (25%)			Α	
		先性が	7 目 / ノ			低V	1			
	評価									
	価の			場する大会への派	遣費であり、選手	強化に伴う成果	及び競技人口の維	i持増加や生涯スポ	ポーツ活動の推	
	説	進に	つながってい	る。						
	明									
今後	l									
の取	-	継糸	売 口 充 🤄	実 □廃止□	□縮 小 町代:	実り て出場する	・ナ への派遣書	であり、今後も予算	確保に努め	
組		統台	合 口完	了 □ 引続き見		<b>双CUC田伽)</b> 。	八五 **/小坦县		作していっつい	
: 課		その			)					
題	ı 🗀	-(0)	TE (		)					

	事業細目番号	4(2)(5)	İ	担当課	<b>小正兴</b> 团≅田	和小本	
			- <b>人</b>		生涯学習課	担当者	田栗 昌弘
	事 業 名	七戸町スポーツ大	、会寺選于派追佣	助争業(東北人)	云•至国人云)		
	年度	平成2	7年度	平成	28年度	平成	29年度
事	決 算 額(千円)	. , , , ,	2,197		1,002	. , , ,	960
علاد	財  国·県支出金		,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
業	源その他						
費	内 町 債						
	一般財源		2,197		1,002		960
事	日的	極子ストレベ 笹廿	カの向し 善甘	□ 内容	、左甲亞バ佐去协会	加明団体学ぶ	ス、思 た.奴 ア 市
業	上位大会出場機会を支援することで、競技力の向上・競技 スポーツの振興、生涯スポーツ振興を目的とする。						
概	(スポーツ少年団:対象経費1/1、体育協会加盟団体及で対象経費1/2)						
要							
	年 度 項目(単位)	平成2	7年度	平成	28年度	平成	29年度
事業	スポーツ少年団	30件 9	9団体(142名)		8件 4団体 (32名)	64	牛 3団体 (23名)
効			1,839,000円		853,000円		771,000円
果	一般	7件	6団体(44名)	•	3件 3団体 (24名)	44	牛 3団体 (15名)
			358,000円		149,000円		189,000円
		評	価	項			評価
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは	高い	B 町民ニーズは	低い(ない)			А
事		である 国・県が行うべき	B 町が行う必要(イ)民間で実		ない) カ)その他		A
業	③有効性(期待された効り A 成果は上がっ	ている	B 成果は上がって	ていない			A
术	④公平性(事業の効果が A 公平に配分され		ハますか) B 公平に配分さ	れていない			A
評					)民間委託 (カ)その他		А
価	⑥優先性(優先性の高い) A ( 優先性が高い		(50%)	C(25%) 低い	N.		A
	評価 東北大会以上の の推進につながっ 明		けることにより、競技	支団体及び競技者	者の高いレベルでの)	競技力強化や生	<b>と涯スポーツ活動</b>
今後の取組・課題	■ 継 続 □ 充 : □ 統 合 □ 完 □ その他(	実 □ 廃 止 □	開助金		会の規模・大会参加 が必要である。	条件等を考慮し	た補助対象経費

	事業細目番号	4(2)(6)		担当課	<b>什</b> 海 ⇔ № 32 ≥ m	担当者	<b>一</b>	
		, , ,	· ^ * * * * * * * * * * * * * * * * * *	,	生涯学習課	担ヨ有	西野 康平	
	事 業 名	健康増進生涯スポ	一ツ晋及事業					
	年度	平成27	<b>在</b> 度	双片	₹28年度	亚目	成29年度	
事		1 13,521	T/X -		1,650	1 /4	554	
,	国•周支出众				1,000		001	
業	原 そ の 他	<del> </del>						
費	内町債							
	一般財源				1,650		554	
					·			
事	□目的			□ 内容				
	①町民の健康の維持増進・体で参加しやすい軽スポーツの				スポーツの普及を図	るため、下記の	)事業を実施する。	
業	及・奨励を図る。			②スポーツ排	/の無い   算者等講習会			
概	- 1(2)トップレベルの競技者の育成と指導者の確保を目的に スポーツ 1 / 2				ラブ育成支援			
	③総合型地域スポーツクラブ	等の設立を目指し、ス						
要	きる環境づくりを支援し事業の	り充実を図る。						
	左蓝			1				
	年 度 項目(単位)	平成27	年度	平成	₹28年度	平原	战29年度	
事業	軽スポーツ教室				101名参加		50名参加	
勃	スポーツ指導者等講習会				45名参加		33名参加	
果	スポーツクラブ育成支援 4競技種目:95名参加				_			
		±==	hard.				signi lare	
	○ V 표 III (III II II I I I I I I I I I I I	評	価	項	目		評価	
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは		B 町民ニーズ	は低い(ない)			А	
事	②妥当性(町が行うべきで A 町が行うべきて		B 町が行う必要	要性は薄れている	(ない)		A	
	(Bの場合) (ア)	国・県が行うべき	(イ)民間で	実施可能 (	ウ)その他			
	③有効性(期待された効果	果は上がっています	カュ)					
<del>///</del>	A 成果は上がって		B 成果は上が	っていない			А	
業	④公平性(事業の効果が	公平に配分されてい	いますか)					
	A 公平に配分され	れている I	B 公平に配分	されていない			А	
	O bi - bi i / Dalai bi - A	Hara 2 and 2 and 2						
	⑤効率性(コスト削減の余		D コマ1 火山3+4 ィ	△₩ルキァ				
評		<ul><li>:地はない I</li><li>受益者負担 (</li></ul>			力足則未式		А	
		他事業との統合・連						
	⑥優先性(優先性の高い)		÷175 (A ).	回 97/よど10Kv72至1V	(77) ( 07) [E			
		75%) B	(50%)	C (25%)			A	
価	優先性が高い	.5,0,	(30,0)	低V	`			
		い:参加しやすい軽	とスポーツを選		もから高齢者まで幅点	広い参加があり	)、短時間での実	
	偏   № ぐほめつにか架				ながり、効果があった		の食事に対する辛	
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□							
	説 切 ③スポーツクラブ育成支援:総合型地域スポーツクラブ説明会を開催し、スポーツ関係団体の代表者と意見交換をすることで、現状の把握、課題の確認をすることができた。							
<u> </u>	´゚  で、現状の把握、	課題の確認をするこ	とができた。					
今			<u> </u>					
後 の	■継続□充	宝 口 扊 ಒ 口	· □ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	コァ フキールボー	きる理控を担併) た	事事继续说法	休五島もわりめ	
取	., ., .,		1.一 刘来名		きる環境を提供し、優 :進委員を中心に、参			
組•		う □ 完 了 □ 引続き見直し検討 業の展開を図る。						
課題	□ その他(							

	事業細目番号	<u> </u>	担当課 生涯学習課	担当者	西野 康平				
	事 業 名	スポーツ推進委員研修							
	年度	平成27年度	平成28年度	平成294	 在度				
事		439	-	1 /4/20	583				
भार-	財 国・県支出金								
業	源 その他								
費	内 町 債								
	一般財源	439	385		583				
事業概要	地域におけるスポーツ活動の普及と振興を図る人材を育成する。 地域住民のスポーツ事業の実施に係る連絡調整並び対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指言を行う。また、講習及び研修会の実施やスポーツ活動努める。								
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成294	 年度				
争	項目(単位) 委員数	12名			11名				
業効	会議数(行事数)	14回			15回				
果									
	Γ		項 目		評 価				
			7X H		PT IM				
	A 町民ニーズは		は低い(ない)		А				
事	②妥当性(町が行うべきで		はいは歩かずいフ(チネトン)		)				
7	A 町が行うべきて (Bの場合) (ア)		性は薄れている(ない) 施可能 (ウ)その他		А				
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他 ③有効性(期待された効果は上がっていますか)								
	A 成果は上がつ <sup>*</sup>		ていない		А				
業									
木		公平に配分されていますか)			ļ ,				
	A 公半に配分さ	れている B 公平に配分さ	<u> </u>		Α				
	⑤効率性(コスト削減の余								
評		はない B コスト削減の気	余地はある						
H 1		受益者負担 (イ)事業の簡素・気			А				
		)他事業との統合・連携 (オ)適均	刃な財源の選択 (カ)その他						
	⑥優先性(優先性の高い)		()						
価	A( 優先性が高い	(75%) B (50%)	C (25%) 低い		А				
	<b></b>								
	一	及並びに指導のため、各地区で開催 クリエーション祭を主催実施するなど車							
	のでいる。	ノリエー ノコイ 尓で 工作 大地 ナツホヒャ	笠へか。 ノツ百 区 に分ッノ、心吸ハッ・	一ノ批选に八つな	区削を木にし				
	明明								
<u> </u>	<del> </del>								
今後									
の 取	■継続□充	実 □ 廃 止 □ 縮 小 生涯	スポーツの普及、事業の充実を図る	ため、軽スポーツの	の集い、スポー				
組・	□統合□完		者講習会、町民スポーツレクリエー						
課	•								

	事業細目番号	4(3)②		担当課	生涯学習課	担当者	田栗 昌弘	
	事 業 名	スポーツ顕賞表彰	:	1 1 1 1 1 1 K	工匠 1 日 W	177 17 1	<u> </u>	
	デ 末 4 	八八 / 與貝茲书	<u></u>					
	年    度	平成27	7年度	平成	28年度	平成29年	 年度	
事	決 算 額(千円)	. , , , ,	692	. , , ,	501		294	
	国。周去山众							
業	原 そ の 他							
費	内町債							
	一般財源		692		501		294	
	700770	1						
事	□目的			□ 内容				
7	スポーツ活動において、				(①スポーツ功労賞		3)スポーツ優	
業	康福祉の増進に功労があ	ったもの又は広く町	丁民の模範となる		ポーツ奨励賞)の顕		は 必は 上言	
概	* べきものを顕賞する。							
怄				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,	
要								
	年 度	平成27	7年度	亚武	28年度	平成29年	<del></del>	
事	項目(単位)	十月太乙		十八人		十月久23-		
業	スポーツ功労賞受賞者数		該当者なし		個人3名		該当者なし	
効	スポーツ賞受賞者数		個人3名		個人2名		該当者なし	
果	スポーツ優秀賞受賞者数	** **	名•団体3(44名)		3名•団体2(33名)	個人13名	•団体1(20名)	
	生涯スポーツ奨励賞受賞者数	個人72	名•団体1(17名)	個人	5名•団体2(17名)		個人9名	
	1	平	価	項			評 価	
	①必要性(町民が必要とし	• •	ТЩ	快	Ħ		計加	
	A 町民ニーズは		B 町民ニーズは	低い(たい)			Α	
	A MA MAI	HJ V	D FILL MA	(FYA . (\2 A .)			7.	
	②妥当性(町が行うべきで	(すか)						
事	A 町が行うべきて		B 町が行う必要	性は薄れている	(ない)		А	
	(Bの場合) (ア)				(ウ)その他			
	③有効性(期待された効り							
	A 成果は上がって	ている	B 成果は上がっ	ていない			А	
<del>31/c</del>								
業	④公平性(事業の効果が	公平に配分されてい	いますか)					
	A 公平に配分され	hている	B 公平に配分さ	れていない			A	
	⑤効率性(コスト削減の余	地はないですか)						
評	A コスト削減の余		B コスト削減の名				Α	
	(Bの場合) (ア)	受益者負担			ウ)民間委託			
		他事業との統合・運		切な財源の選択	マ (カ)その他			
	⑥優先性(優先性の高い)							
価	•	75%) B	(50%)	C (25%)			Α	
ІЩ	優先性が高い			低い	,			
	評							
		顕著な功績・成績の				民に周知すること	で、スポーツ活	
	説動への意欲・関心	を高めるものであり	、町のスポーツ振	長興へもつながっ	ている。			
	明							
今後							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
の	■継続□充	実 □廃止□	〕縮 小 各賞∅	の種目及び大会	種類による推薦基準	準の見直しを行った	とことから、各	
取組	□統合□完	了 □ 引続き目i	<b>種団</b> 休		への周知を図り、受力			
		, — JING 761						
課題	□ その他(		)					

	事業細目番号	4(3)③	担当課 生涯学習課	担当(記入)者	大池 謙嗣
	事業名	各種大会開催や合宿等の誘致	15-1 MV TW 1 EWV	15 1 (10) (7 1	CIE BIKING
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1年八五川區(1日中・)			
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成2	9年度
事	決 算 額(千円)	0	0		0
業	財 国・県支出金				
	源その他				
費	内 町 債				
	一般財源				
	□ 目的		□ 内容		
事		設の利用促進を図ることを目的と	各種大会及びイベント事業等の	開催誘致。	
業	する。				
概					
113/1					
要					
	年 度 項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成2	9年度
事	大規模な大会・イベント集客数	七体/6月:商業祭 1,000人		七体/6月:	商業祭 1,000人
業効	"	七体/10月そば博 6,000人	七体/4月:桜花柔道大会 1,000人		
果	II.	七体/4月:桜花柔道大会 1,000人	七体/7月:防犯剣道大会 1,000人	七体/7月:防犯剣	道大会 1,000人
	IJ	七体/8月:防犯剣道大会 1,000人	七運/9月:朝野球県大会 800人	七運/8、9月:野球	总県大会 各600人
		ат. /m	- 75		壶 左
	①必要性(町民が必要とし	アいますかり	項目		評 価
	A 町民ニーズは		・低い(ない)		А
	11 720 - 101	2 724 - 10	·		
	②妥当性(町が行うべきで	<b>゛</b> すか)			
事	A 町が行うべきて		性は薄れている(ない)		А
	(Bの場合) (ア)		実施可能 (ウ)その他		
	③有効性(期待された効果		~1 \dag{d} \		Δ.
	A 成果は上かつ	ている B成果は上がっ	(1,121,		А
業	④公平性(事業の効果が	 公平に配分されていますか)			
	A 公平に配分され	れている B 公平に配分さ	れていない		А
	⑤効率性(コスト削減の余				
評	A コスト削減の余				А
	(= 1 334 🖬 )	受益者負担 (イ)事業の簡素・			
		,,,,_	切な財源の選択 (カ)その他	<u>[</u>	
	⑥優先性(優先性の高い)	順に3段階に分類) 75%) B (50%)	C (25%)		A
価	優先性が高い	то /0/ О (00 /0)	低い		11
	評		PEN		
	価	会・イベントを開催することで、施設の	カ利田促進に繋がり 町の大きかP	Rにもわる また IE	1. 亩业士会か
		試合に接する機会を提供できる。	シン小川 佐が元(ご光が、)、「」。シングで、3.1	11(CO) 4.00 4/C()	、水化パムな
	明				
	<u>                                     </u>				
今後				,	HH MI CC
の取	■継続□充		本育館は耐震判定指標を満足して を制限している。	いないため、大会の	の開催等につい
組	□統合□完□		を耐感している。 役の利用状況や維持更新費等を路	いまえ、施設の集約	と整備を計画的
課	□ その他(	に進め、	、大会や合宿の誘致に努めるととも	に、町民の利用促	進を図る。
題		,			

		7 A H	Imi	•	
	事業細目番号	5(1)①	担当課 七戸中央	公民館 担当者	中村真理
	事 業 名	公民館運営審議員設置事業			
<del></del>	年 度	平成27年度	平成28年度		平成29年度
事	決算額(千円)	17	4	159	168
業	財 国・県支出金 その他				
費	源 そ の 他 内 町 債				
	一般財源	17	4	159	168
	700 700 700				
事	□目的		□内容	+ 1. □ A+ 0. VE 3/2) =	
業	公民館が町民の意見を適切に反映し、民主的・効果的に運 公民館事業に関することや公民館の運営について、説明や意見営されるために、運営審議委員の協力を得て公民館運営を の聴取等を行う会議を年2回開催するほか、年1回研修会に参加				
未	行う。		し、公民館運営の改善と地		
概					
要					
	年度	平成27年度	平成28年度		平成29年度
事	項目(単位) 運営審議委員数	107		10人	10人
業効	会議	2		2回	2回
果	研修会	1		1回	1回
	Т	⇒π: /π:	-Si		⇒T; /T
	①必要性(町民が必要と	アンキャン	項		評価
	A 町民ニーズは高い B 町民ニーズは低い(ない)				А
	②妥当性(町が行うべきですか)				
事	U ml N-41 1 2 CO2 D ml N-41 1 2 交 CV 2 (ペイ・)				A
	(Bの場合)       (ア)国・県が行うべき       (イ)民間で実施可能       (ウ)その他         ③有効性(期待された効果は上がっていますか)				
	A 成果は上がっている B 成果は上がっていない				A
NII.	IN PARTICLE OF THE DIAGRAM OF CO. S.C.				
業	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)				
	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない				A
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)				
評		★地はない B コスト削減の余地はある ●受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託			A
	(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他				
	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)				
	A (75%) B (50%) C (25%)				A
価	優先性が高い		低い		
	評				
	価				
	が 公式 即連 当				
	明				
今					
後	<b>_</b>				
の取	■ 継 続 □ 充 実 □ 廃 止 □ 縮 小 地域や公民館との関わりのある関係者の意見を広く求め、地域に開かれた □ 統 合 □ 完 了 □ 引続き見直し検討 公民館づくりを推進するために、継続が必要である。				
組.					
課題	□ その他(	)			

	事業細目番号	5(1)②	担当課 七戸中央公民館	担当者	中村真理
	事業名	中央公民館(施設)事業	12-1W	,— i	11177.3
	7 / 1	1 JULIAN (MIRA) 1 JA			
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29	年度
事	決 算 額(千円)	19,913	24,902		35,452
業	財 国·県支出金				
	源との他				
費	内 町 債				
	一般財源	19,913	3 24,902		35,452
	□目的		□ 内容		
事	生涯学習活動の拠点機能	년 년	公民館施設の利用促進を図り、各	種学習機会の増進	生、文化団体
業			育成支援を行う。		
概					
1331					
要					
			1		
	年 度 項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29	年度
事	公民館利用者数(人)	21,193人	20,939人		16,618 人
業効	ZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZ	21,1007	20,000) (		10,010 / (
果					
			- <del></del>		
	①必要性(町民が必要とし	マンナナシン	項    目		評価
	①必要性(町氏が必要とし A 町民ニーズは		ナ(チャン(ナャン)		А
	11 11 11 11 11 11 11 11	P 11 PC- > 4	2 EN (.21.)		11
	②妥当性(町が行うべきて	ごすか)			
事	A 町が行うべきて	である B 町が行う必要	を性は薄れている(ない)		B(1)
	(Bの場合) (ア)	国・県が行うべき (イ)民間で	実施可能 (ウ)その他		
	③有効性(期待された効果				
	A 成果は上がつ	ている B成果は上がっ	っていない		А
業	の外で性(重要の効果が、)	 公平に配分されていますか)			
	A 公平に配分さ		されていない		А
	A A TOBON CA	TO CO D A T CELLA	240 (4 )&4		11
	⑤効率性(コスト削減の余	 ;地はないですか)			
評	A コスト削減の余	・地はない B コスト削減の	余地はある		В(ウ)
	(Bの場合) (ア)	受益者負担 (イ)事業の簡素	•効率化 (ウ)民間委託		D(9)
	(エ)	他事業との統合・連携 (オ)通	適切な財源の選択 (カ)その他	1	
	⑥優先性(優先性の高い				
価		(75%) B (50%)	C (25%)		А
Ilmi	優先性が高い		低い		
	評     価   町が行うべき地	域づくり支援にとって、公民館施設し	け地域活動の拠占であることから 。	多様化している町長	己のニーズに
	の対して、本事業は	優先性が極めて高い。		9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(0)2- ).(C
	説 利用者数は微減 明 用	或となっているものの、本事業は安富	<b>ごしており定着していると評価する。</b>		
	91				
今					
後の	■継続□充言		は、住民ニーズと効果的な利用法・	啓発方法を考慮し	、利用率の向
取組		上に劣	ろめなければならない。 .施設・設備について、定期的な保・	字占絵を行い 到6	<b>亜性の宣い塩</b>
		設·設·	, 旭哉・畝畑について、足朔的な床 備になるように努めなければならない		た比い同り 加
課題	□ その他(	)			

	事業細目番号	5(1)③	担当課	七戸中央公民館	担当者	中村真理			
	事業名	中央公民館分館事業							
	年 度	平成27年度	平成	28年度	平成29				
事	決 算 額(千円)	2,200		2,200		2,200			
業	財工・県支出金								
費	源 そ の 他 内 町 債								
貝	一般財源	2,200		2,200		2,200			
	723 7 7 23	_,		_,		_,			
事	□目的		□ 内容						
नगर	地域コミュニティの形成・ヲ  目的とする。	<b>だ実及び地域の活性化を図ることを</b>		舌かし、地域住民を 女化の継承、世代間					
業	HHJC / 50		121030 12/00	~   Loo / NE/子(、 IE   NE	1 <b>7</b> / 11 4 0 4 7 2 2	( DX ) 00			
概									
要									
	年 度	平成27年度	亚点	 28年度	平成29	<del>上</del>			
事	項目(単位) 分館数(分館)		1 /9/		1 13,220				
業効	万	11		11		11			
果									
	T a		+T-	н		⇒π; /π°			
	①必要性(町民が必要とし	アいますか)	項	<u> </u>		評価			
	A 町民ニーズは		は低い(ない)			А			
事	②妥当性(町が行うべきで A 町が行うべきで (Bの場合) (ア)			5(ない) (ウ)その他		A			
	③有効性(期待された効身 A 成果は上がつ		ていない			А			
業	<ul><li>④公平性(事業の効果が</li></ul>	 公平に配分されていますか)							
	A 公平に配分され		られていない			А			
	⑤効率性(コスト削減の余	地はないですか)							
評	A コスト削減の余			1)		B(イ)(エ)			
		受益者負担 (イ)事業の簡素・ 他事業との統合・連携 (オ) 適	・効率化 ( i切な財源の選	ウ)民間委託 沢 (カ)その他	1				
	⑥優先性(優先性の高い)		191/4月/6/7医1	7 (X) ~ (V)	<u>.</u>				
		75%) B (50%)	C (25%)			А			
価	優先性が高い		低	7					
	評価 分館の地域性、独自性を持って、地域住民のニーズに沿った事業を実践することにより、地域コミュニティをより充実させている。 説 また、分館長会議を開催し、分館における課題を協議し、各分館の連携を図ることができた。								
今									
後の取組・課題	■ 継 続 ■ 充 9 □ 統 合 □ 完 □ □ その他(	え □ 廃 並 □ 欄 小 での情 了 □ 引続き見直し検討   今後/	報共有の機会を	かした事業を実行っ お設け、意見を交換 基づき、地域課題を まれる。	している。				

		ず 未	#T _	'	<u> </u>					
	事業細目番号	5(1)4			担当課	七戸中央公	民館	担当者	-	中村真理
	事 業 名	中央公民館講座	<b>坐開設事業</b>							
	年   度	平成	27年度		並	成28年度		平月	成29 <sup>4</sup>	<b></b> 手度
事	決 算 額(千円)			195			161			142
業	財 国•県支出金									
費	源 そ の 他 内 町 債						1			
,	一般財源			195			161			142
		•		1						
事業概要	□ 目的 町民の生涯学習として、タ り、心豊かな生活を送るた				<ul><li>①筋膜リリー</li><li>②着付ける</li><li>③リラクゼー</li></ul>	ーション教室 アート教室 o体験教室				
	年 度	亚战	27年度		<u> </u>	成28年度		<u> </u>	成29 <sup>4</sup>	王産
事	項目(単位) 講座数(講座)	1 /4X	.21 <del>+</del> /X	7講座		,,,	講座	1 /	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7講座
業効	講座申込者数(人)			203人			41人			128人
果	講座延べ実施数(人)			570人		2	95人			291人
		評	価		項					評 価
	①必要性(町民が必要と) A 町民ニーズは ②妥当性(町が行うべきで	高い	B 町民	ニーズは	低い(ない)					A
事	A 町が行うべきて (Bの場合) (ア)	である 国・県が行うべき	(イ)		性は薄れてい 尾施可能	る(ない) (ウ)その他				A
<del>///</del> -	③有効性(期待された効力 A 成果は上がっ			は上がって	ていない					A
業	④公平性(事業の効果が A 公平に配分さ	れている	B 公平		れていない					А
評			B コスト (イ)事業	の簡素・		(ウ)民間委託 選択 (カ) <i>-</i>	その他			B(ア)(エ)
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い	順に3段階に分類 75%)	類) B(50%)		C (25%)	氐い				A
	の 参加者も20代か	の講座を実施し、 いら80代と幅広く ルの立ち上げの3	、参加者同	士の交流				げのきっかけ	の場と	さなっている。
今後の取組・課題		実 □ 廃 止 了 □ 引続きり		講座を約	継続しなけれ	公平性等をより- ばならない。 けとした自主運				

		争 来 計								
	事業細目番号	5(1)⑤	担当課 七戸中央公民館	担当者	中村真理					
	事 業 名	寿大学開設事業								
	t t	T-407/F	7. A 0.0 F F	# <b>-</b>	tr de					
事	年 度 決 算 額(千円)	平成27年度	平成28年度	平成29	年度 39					
	国. 旧去山众	100	33		- 33					
業	源 その他									
費	内 町 債									
	一般財源	100	99		39					
事業概要	を図り、長年にわたって培	スポーツ」「健康」「一般教養」の学習 さった豊富な経験、知識、技術をさ がいのある人生を送り、社会活動に さすることを目的とする。	□ 内容  5月:合同開講式(生活習慣病の6月:スポーツ吹き矢体験8月:手工芸教室(小物入れ)10月:手工芸教室(ルームボード)11月:防犯対策教室1月:健康教室(軽スポーツ)2月:合同閉講式(健康講話と健	7月:町外研( 9月:健康教室) 12月:みよこ太	室(健康体操)					
	年 度	平成27年度	亚比99年帝	₩#90	 左					
事	項目(単位)	.,,,	平成28年度	平成29						
業	開催数	9回	' '		10回					
効果	参加者数(人)	271人	. 277人		252人					
		+								
		1								
		評価	項目		評 価					
	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは	高い B 町民ニーズに	は低い(ない)		А					
事	②妥当性(町が行うべきて A 町が行うべきて (Bの場合) (ア)		呼性は薄れている(ない) 実施可能 (ウ)その他		A					
NIC.	③有効性(期待された効力 A 成果は上がつ		っていない		A					
業	④公平性(事業の効果が A 公平に配分さ	公平に配分されていますか) れている B 公平に配分さ	されていない		A					
評	(Bの場合) (ア)	*地はない B コスト削減の 受益者負担 (イ)事業の簡素	· •	<u> </u>	B(ア)(エ)					
	⑥優先性(優先性の高い	順に3段階に分類)								
価		(75%) B (50%)	C (25%) 低い		А					
	評価 手工芸教室での	価の								
今	<u>.</u>									
「後の取組・課題		実 □ 廃 止 □ 縮 小 減に努 す □ 引続き見直し検討 また、 を実施	機関や関係課との連携を図り、学習 る。 幅広い年代(60代~80代)の方が にたり、町民の意見や要望を取り入 後会を提供する必要がある。	ぶ入学するので、ア、	ンケート調査					

	事業細目番	号 5(1)⑥		担当課	南公民館	担当者	岡田 晋
	事 業 名	柏葉大学開	設事業				
	<i>F</i>		E-Norte de		0 F F	<b>7</b> -1-00	左左
事	年 月 タイプ		平成27年度 102	平成2	8年度 90	平成29	牛皮 80
7	囯. 胆支出		102		90		00
業	則	也					
費	1011	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	一般財源	Ţ	102		90		80
		•					
事	□目的□	べんのみ 健康・製	(養・趣味を軸とした各	□ 内容	3ス向し 玄宝な5	図る為、次のような	(禁成な宝体)
業	講座を開催し、社会			た。			
//2						仕活動③パークコ 「外施設等研修?	
概						リクト旭設寺研修(J ランドゴルフ教室(	
要				演会 全10講座			
	年 (単位)	度 5	平成27年度	平成2	8年度	平成29	年度
事業	項目(単位) 講座実施数		11回		11回		10回
来 効	参加者人数		延人数281人		延人数264人		延人数296人
果							
		評	価	 項	<b>_</b>		評 価
	①必要性(町民が必	必要としていますか)					
	A 町民ニー	-ズは高い	B 町民ニーズは	は低い(ない)			A
	②亞 小 仲 / 四十次二三	*******					
事	②妥当性(町が行う A 町が行う		R 町が行う必要	性は薄れている(	te(1)		Α
	(Bの場合)				カ)その他		7.1
	③有効性(期待され	た効果は上がって	いますか)				
	A 成果は」	こがっている	B 成果は上がっ	ていない			Α
業	②八五世(古类の4		la mar alla da la				_
	<ul><li>④公平性(事業の募</li><li>Δ 公平に</li></ul>	『未か公平に配分さ 記分されている	AUCいますかり B 公平に配分さ	られていたい			A
	71 A   (CB)	177 C40 CV 3	D A TORONG	70 (4 ,24			11
±++:	⑤効率性(コスト削減	載の余地はないです	「カゝ)				
評			B コスト削減の名				A
	(Bの場合)	(ア)受益者負担			)民間委託		
	⑥優先性(優先性 <i>0</i>	(エ)他事業との紛		i切な財源の選択	(カ)その他		
/Tr*	○   愛力計主 (   愛力計生り	)高い順に3段階に A(75%)	万独) B(50%)	C (25%)			Α
価	優先性が高い	11 (10,0)	2 (60,0)	低い			
	評						
	の「エキな」を		の事業であることから、 続して内容の充実を図			民のニーズに応え	られるよう創意
	説「二大をし、同期」				»-· U		
	<u> </u>		ı				
今後の			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ニーズに合った誰	養座を企画立案1	、より一層高齢者の	刀生き田悲•社
の取	■継続□	充 実 □ 廃	□ <sup>椭 小</sup> 会教育	活動に参加する場	場の提供に役立っ	うよう努力していく。	また、男性の
組•	□統合□	完 了 □ 引線	き見直し検討 参加者 る。	が少ないので、実	施内容など、適切	りかつ魅力ある設 <sup>が</sup>	定が必要であ
課題	□ その他(募集	集方法の見直しが必	()要)				

			1		1			
	事業細目番号	5(1)⑦		担当課	七戸南公民館	担当者	岡田 晋	
	事 業 名	七戸南公民館講	座開設事業					
	年 度	平成2	7年度	平成	28年度	平原	成29年度	
事	決 算 額(千円)		138		150		136	
業	財国・県支出金							
*	源との他							
費	内 町 債							
	一般財源		138		150		136	
事業概要	□ 目的 □ 地域住民の知識、教養を 潤いのある生活を目指す ループ作りに繋げる。			別に開催。平成 (創造の森トレッ レイクラフト教室	代の要請に応じた生	を開催した。 紙教室、新七) よし教室、エコク	戸の歴史講座、ク クラフト教室、ゆか	
	年 度	1		I				
	項目(単位)	平成2	7年度	平成	28年度	平原	成29年度	
事業	講座数		8講座		7講座		9講座	
効	参加者数		延人数380人		延人数201人		延人数289人	
果								
		評	価	項	目		評価	
	①必要性(町民が必要と A 町民ニーズは	高い	B 町民ニーズは	は低い(ない)			А	
事	②妥当性(町が行うべき <sup>*</sup> A 町が行うべき <sup>*</sup> (Bの場合) (ア)		B 町が行う必要 (イ)民間で		5(ない) (ウ)その他		А	
業	③有効性(期待された効 A 成果は上がっ		ナか) B 成果は上がっ	ていない			А	
	④公平性(事業の効果が A 公平に配分さ	公平に配分されて れている	,,	られていない			А	
評	(Bの場合) (ア)	余地はない			ウ) 民間委託 沢 (カ) その他	1	A	
価	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)							
		要とも言える事業では概ね高く、充実し		だ実が望まれる/	とめ、優先性は高い	١,		
今後の取組・課題	■ 継 続 ■ 充 □ 統 合 □ 完 □ その他(	実 □ 廃 止 □ 了 □ 引続き見i	」 <sup>軸 小</sup> のニー 直し検討 に男性	ズに合わせ、さん	には高く、内容は充実 らに展開していきた ぎるので、男性が	い。ただし、柏	葉大学講座と同様	

	事業細目番号	5(1)⑧		担当課	七戸南公民館	担当者	岡田 晋
	事 業 名	七戸南公民館分館	官事業				
	年 度	平成27		平成	28年度	平成	29年度
事	決算額(千円)		800		800		800
業	財 国・県支出金 その他						
費	源 そ の 他 内 町 債						
	一般財源						
_	L 1	l.					
事	□ 目的 地域住民の知識・教養を	高め、健康の増進を	と図り、心豊かで	□ 内容 旧七戸中央区以	以外の4地区(野々	上、西野、倉岡	、鶴児平)に分館
業	潤いのある生活の増進に			を設置し、各地目	区において特色の	ある事業を展開	昇し、地域の生活
概					:会福祉の増進に智 業内容としては、i		
要					戦等の分館業務を		
		_					
	年 度 項目(単位)	平成27	7年度	平成	28年度	平成	29年度
事業	分館数		4		4		4
効							
果							
	į	平	価	項	目		評価
	①必要性(町民が必要とし	ていますか)					
	A 町民ニーズは	島い	B 町民ニーズは	低い(ない)			А
	②立 火 仲 ( 町 ぶ 行 5 ご キッ	5十み、)					
事	②妥当性(町が行うべきで A 町が行うべきて		B 町が行う必要・	性け蒲れている	(telv)		A
		国・県が行うべき	(イ)民間で実		ウ)その他		7.1
	③有効性(期待された効果		つか)				
	A 成果は上がって	ている	B 成果は上がっ`	ていない			А
業	○八五四 (本类 o 村田 )*	ハ豆の一豆ハキュー	, ab. la 2 . \				
	④公平性(事業の効果が A 公平に配分され		ハますか) B 公平に配分さ	カフいたい			A
	A 公子に配力で	0.00	D 公子に配力で	.40 C A .,44 A .			Λ
	⑤効率性(コスト削減の余	地はないですか)					
評	A コスト削減の余	地はない	B コスト削減の分	戻地はある			А
			(イ)事業の簡素・		ウ)民間委託		
		他事業との統合・連		切な財源の選択	マ (カ)その他		
l .	⑥優先性(優先性の高い)		(50%)	C (25%)			Δ.
価	優先性が高い A(	10/0/ D	(00/0)	(25%) 低V	`		А
	評			lezy 4			1
		が館長や分館主事を				1月7日の長され	~ ~ · · · · ·
	説   閉公氏館としては   明	、各分館の事業の	向知の協力や、事	・兼計画の助言に	こ加え、週切な会計	一処理の指导を	行っている。
<u> </u>	<i>9</i> 1						
今後							
の取	■継続■充	実 □廃止□	縮小各分館	とも安定した運営	営を行っている。 今	後他の地区(天	E間林地区)との
組・	□統合□完	了 □ 引続き見画					
課題	□ その他(		)				

	-	- >U.c. /com ← ¬175, □	F/0\(1)	Ĭ	TH 기시를用	1. 금 시 모 4호	TH NI 국	
		業細目番号	5(2)①	·	担当課	七戸中央公民館	担当者	中村真理
	事	業 名 —————	文化協会の育成	支援事業 —————				
	年		平成2	7年度	亚成	28年度	亚;	成29年度
事			1 144.4	706	1 144	800	1 /-	800
,	Ī	·県支出金	<del> </del>					
業	財 そ		†					
費	内町							
	訳	一般財源		706		800	<u> </u>	800
		1						
事	□目的		町の文化振興を目		] 内容	で組織する七戸町ご	ケルセクの立	・小にゅす 半の に
業		相互の父流と、「 化協会の指導・			r種又化団体 享及び支援。	で組織する ロアギル	人化協士ツス	.化派典尹未い1日
//-				t	二戸町文化協	会主催事業(文化生	☆演会)の支援	<u>호</u> 호
概								
要								
		年 度	平成2	7年.度	平式	28年度	—————————————————————————————————————	成29年度
事	項目(単位		1 /-/\-		1 144		1 7	
業		登録団体数(団体) 演奏会参加数(人)	<u> </u>	49団体		48団体		47団体
効果				300人		150人		150人
	文化講演会参加数(人) 300人 150人						100,	
		<u> </u>	評	価	項	目		評価
		(町民が必要とし		- m-12 14 In	e / 2 \			
	А	町民ニーズは	高い	B 町民ニーズは但	ない(ない)			A
	②妥当性	(町が行うべきて	<b>ふ</b> すかり					
事		町が行うべきて		B 町が行う必要性	は薄れている	5(ない)		B(1)
	(Bの#		国・県が行うべき			(ウ)その他		
	0 11///	· / / · · · · · / / · · ·	果は上がっています	<b>ーカ</b> ゝ)				
	А	成果は上がって	ている	B 成果は上がって	いない			А
業	<b>小小亚州</b>	(事業の効用が	ハボル部八されて	· · + - + - / · · · ·				
	_	(事業の効果かる) 公平に配分され	公平に配分されてい れている	いますか) B 公平に配分され	フレンナるし			A
	<i>I</i> 1	公士に貼りて	10 ( 1 %)	D 公子に配力でAi	0 C V 1/4 V -			<i>I</i> 1
	⑤効率性	(コスト削減の余	:地はないですか)					
評				B コスト削減の余り	地はある			D(~)
	(Bの#	場合) (ア)	受益者負担	(イ)事業の簡素・努	物率化 (	ウ)民間委託		B(I)
		(エ)	他事業との統合・遠	車携 (オ)適切	Dな財源の選打	尺 (カ)その他		
	⑥優先性		順に3段階に分類)					
価	Part II. I		75%) B	(50%)	C (25%)			В
lhr4		生が高い			低い	, <b>)</b>		
				て化協会は重要であ	り、当該協会	を有効的に継続す	るためには、月	財政面、ソフト面に
	O 10	いて支援が必要 当該協会の必要		生・優先性け妥当で	ぶあると証価で	きろが 自立した団	休り ての活	動を行えるように指
		が必要である。		工 厦儿工(6页二)			meo (viii):	幼で口/にひみ/(こ)日
	.91							
今								
後の	■ 糸生	: 続 □ 充 :	宝 □ 廢 ⊩ □	町の文化   縮 小 ばならない		る必要性は大きい	ことから、継続	して支援しなけれ
取組	• •		ス □ 虎 並 □ 了 □ 引続き見ī	p1 検討 今後は、	、効率性に重	点を置き、コスト削溽	战に向けて当言	該協会に対し、指
•				特・又抜し	ンなければなり	らない。 見野に入れた指導・〕	古怪! 继续战	に行っていく
課題	□ <i>そ</i>	の他(		)    また、筋	大の日立をひ	記野(に)へ(いた)指等。	又1友も胚が印)	1110 CV V.

	<b>丰</b> 业(加口亚口	F(0)(0)	Ī	担当課		+u \/ ≠ <b>/</b>	 中村真理
	事業細目番号	5(2)②	^ <del>*                                   </del>	担当硃	七戸中央公民館	担当者	中村具理
	事業名	七戸町連合婦人会	会育成事業				
	年 度	平成2	7年度	平式	28年度	平F	成29年度
事		1 322	500	1 142	400	1 /-	400
	囯. 胆支出会						
業	源 その他						
費	内 町 債						
	一般財源		500		400		400
事業概要	□目的 婦人の社会的地位の向」	上と婦人活動の育成	なを目的とする。 ダス	ボランティア活	対する助言・指導等動を自主的に計画類 り等の町内イベント	<b>実施、さらに名</b>	<b>齐種研修会、七戸</b>
要							
	年度	平成2	7年度	平成	28年度	平月	成29年度
事	項目(単位) 加入単位数		8単位		8単位		7単位
業効	会員数		166人		160人		145人
果							
	T	±ut.	/m²	T#			<b>₹ / 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>
	①必要性(町民が必要と	アンオナム	価	項	目		評価
事	A 町民ニーズは ②妥当性(町が行うべきで A 町が行うべきで (Bの場合) (ア)	ですか)	<ul><li>B 町民ニーズは(</li><li>B 町が行う必要性</li><li>(イ)民間で実</li></ul>	生は薄れている	5(ない) (ウ)その他		A B(1)
<del> </del>	③有効性(期待された効: A 成果は上がっ	果は上がっています			0,70,10		A
業	④公平性(事業の効果が A 公平に配分さ	れている	いますか) B 公平に配分され	れていない			А
評	(Bの場合) (ア)	<ul><li>・地はない</li><li>受益者負担</li></ul>	(イ)事業の簡素・多	効率化 (	ウ)民間委託 沢 (カ)その他		B(1)
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い	順に3段階に分類) (75%) B		C (25%) 低	()		В
		L織は、概ね自立道 ドランティア活動をF		したり、町の行	事に積極的に参加	し、貢献してい	· V3。
今							
後の取組・課題	■ 継 続 □ 充 □ 統 合 □ 完 □ その他(		抽扣抗厂		、組織の後継者の確 を積極的に行い、新		

	事業細目番号	5(2)③		担当課	七戸中央公民館	担当者	中村真理
	事業名	中央公民館だより発行事業					
		1					
+	年 度	平成27年度		平成	28年度	平成29	
事	決算額(千円)		0		0		0
業	財 国・県支出金 その他						
費	源 そ の 他 内 町 債						
	一般財源		0		0		0
事	□目的	- フタ廷夕祥か桂却九担州)		内容	光に明らて桂却が	「中中八日終なり	0.1ナ.人出せ)。
業	市民公民館の活動に関り 高揚と啓蒙を図る。	る多種多様な情報を提供し、		英公氏郎争 布する。	乗に)別る)情報概	「中央公民館だよ	月を至世帝に
714				に中央公民: っている。	館講座のお知らせ	並びに参加申し込	みが内容と
概			1	つ (いる。			
要							
	年 度 項目(単位)	平成27年度		平成	28年度	平成29	9年度
事業	延べ毎戸配布数(世帯)	32,736	3 世帯		43,240 世帯		37,842 世帯
効		,			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,
果							
		 評		項			評価
							F1 (lest
	A 町民ニーズは	高い B 町民二	ーズは低	いない)			А
	②妥当性(町が行うべきて	5-1-2.)					
事	②安ヨ性(町が17)へきて A 町が行うべきて		ふ必要性が	は薄れている	5(7241)		А
			是間で実施		(ウ)その他		11
	③有効性(期待された効果						
	A 成果は上がっ゛	ている B 成果は	上がってい	かない			А
業	①ハ亚州(東米の効用が	公平に配分されていますか)					
	母公平性(事業の効果が A 公平に配分さ		一配分され	ていたい			А
	A 女子に配力で	D ATIC	·BLA CAU	(1,121,1			11
	⑤効率性(コスト削減の余	 :地はないですか)					
評	A コスト削減の余	. =					A
		受益者負担 (イ)事業の			ウ)民間委託		
	(エ) ⑥優先性(優先性の高い		(才)適切	な財源の選	択 (カ)その他	1	
		順に3段階に万類) 75%) B(50%)		C (25%)			Α
価	優先性が高い	D (00/0)		低	<b>/</b> \		
	評						·
	価「中央公民館だ	より」は、啓発記事を掲載する	と同時に、	中央公民館	言講座等のお知らせ	は並びに参加申込	みのための機
	の関紙となっており、	、町と町民とのコミュニケーショ	シにおい	て有効な媒	体であると評価でき	る。	
	明						
今							
う後の	■ App Arter ■ □						
取	■継続■充				に、町広報、町ホー	ームページなど、親	たな媒体の活
組.		了 □ 引続き見直し検討 月	刊を検討す	する。			
課題	□ その他(	)					

		7,77									
	事業細目番号	6(1)①	担当課 七戸中央公民館	担当者	中村真理						
	事 業 名	中央公民館図書室事業									
	I ,		Dog Code								
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29							
事	決 算 額(千円)	896	688		680						
業	財国・県支出金										
	源 内 町 債										
費	=======================================	000	400								
	一般財源	896	688		680						
事業概要	図書、記録その他図書室資料を整理、保存して町民の要求 図書室資料の収集、整備、相互貸借、町民サービス、巡回貸出の に応え、公平な資料の提供によって教養、調査に資する。 実施や図書等の購入を行う。 要施や図書等の購入を行う。										
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29	年度						
事	項目(単位)			1 /3/220							
業	年間開館日数	331日	329日		329日						
効果	図書購入費 年間貸出冊数	747千円 6,778 冊	543千円 6,702 冊		535千円 7,685 冊						
710	年間入場者数	3,963 人	2,137 人		2,205 人						
	十四八物石 奴	5,300 /(	2,101 /		2,200 /						
	Ē	评	項目		評 価						
事	①必要性(町民が必要とし A 町民ニーズは) ②妥当性(町が行うべきて A 町が行うべきて	高い B 町民ニーズは ですか) である B 町が行う必要	t低い(ない) 性は薄れている(ない)		A B(1)						
	(Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他 ③有効性(期待された効果は上がっていますか) A 成果は上がっている B 成果は上がっていない										
業	④公平性(事業の効果が: A 公平に配分され	公平に配分されていますか) れている B 公平に配分さ	されていない		А						
評		地はないB コスト削減の気受益者負担(イ)事業の簡素・			В(ウ)						
	⑥優先性(優先性の高い)										
価	,	75%) B (50%)	C (25%)		Α						
1曲	優先性が高い		低い								
	備した。	fのニーズに対応した資料提供がで J・リクエストサービス等の充実に努め									
今	Π										
・後の取組・課題	■ 継 続 □ 充 3 □ 統 合 □ 完 □ その他(	き □ 廃 正 □ 楠 小 整備を 了 □ 引続き見直し検討 また、	購入費を有効に活用し、町民のニー していく必要がある。 館内を利用しやすいように環境整 だより、図書室だよりを活用し、図書	備を行うとともに、町	丁民に広報や						

		事 来 計	1Щ	<i>&gt;</i>		•	
	事業細目番号	6 (1) ②		担当課	中央図書館	担当者 十	一枝内 知子
	事 業 名	図書館サービス事業					
	左	亚比97年库		₩₽00	左座	ਹਾਂ <del> </del> 1200	左座
事	年 度 決 算 額(千円)	平成27年度	9,291	平成28	9,823	平成29	牛度 10,147
,	囯. 順支出分		3,231		3,020		10,111
業	別 その他						
費	内 町 債						
	一般財源	<u> </u>	9,291		9,823		10,147
事業概要	民の利用に供し、その教	資料を収集・整理・保存して 養、調査研究、レクリエーショ こ基づいたサービスを実施す	一般町 図	内容 書館資料の収集 集会行事の実	集・整備、貸出、1 医施など。	ノファレンスサービ	ス、巡回貸
	年 度	亚407左车	<del></del>	₩.₩	· 左 · 左	77 H200	左座
事	項目(単位)	平成27年度		平成28		平成29	
業効	年間開館日数(日) 図書購入費(千円)		331 600		329 840		329 835
果	蔵書数(冊)		33,081		33,810		34,025
	年間貸出冊数(冊)		12,853		12,270		12,672
	Ī	評 価		項	目		評 価
事		高い B 町民: ですか) である B 町が行		は薄れている(た			A A
業	(Bの場合) (ア) ③有効性(期待された効果 A 成果は上がっ	果は上がっていますか)	民間で実施 は上がって\		)その他		A
禾	A 公平に配分さ		) に配分され <sup>、</sup>	ていない			A
評	(Bの場合) (ア)	<ul><li>(地はないですか)</li><li>(地はない B コスト 受益者負担 (イ)事業</li><li>(他事業との統合・連携</li></ul>	の簡素・効		民間委託 (カ)その他		А
価	⑥優先性(優先性の高い A ( 優先性が高い	順に3段階に分類) 75%) B(50%)	(	C (25%) 低い			A
		いては、蔵書バランスに考慮 進を図っている。 また、図書					
今後の取組・課		実 □ 廃 止 □ 縮 小 了 □ 引続き見直し検討				る限りのサービスを ある。	:実施してお

	事業細目番号	6 (1) ③	担当課中央図書館	担当者 十	·枝内 知子	
	事業名	図書館協議会の運営	7-140		DC1 4 7 4	
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29	<u>年度</u> 161	
事	決算額(千円)	99 152				
業	財・県支出金					
費	源 そ の 他 内 町 債					
	一般財源	9:	9 152		161	
		1				
事	□目的		□ 内容	: ~ = 10 m		
業	図書館法に基づく図書館	協議会の指集・連名。	委員は、図書館の運営に関し館長 館サービスについて館長に対し意			
			意見をもとに業務の改善に取り組	t.		
概						
要						
<u></u>						
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29	年度	
事	項目(単位) 委員定数(人)	1	0 10		10	
業効	開催回数(回)		2 3		3	
果						
		評 価	項 目		評 価	
			Д Н		н іш	
	A 町民ニーズは	高い B 町民ニーズ	は低い(ない)		В	
		- 1 1 1				
事	②妥当性(町が行うべきて	ごすか) ごある B 町が行う必望	五州 け茶わ ブロス (ナロハ)		Λ	
1			実施可能 (ウ)その他		A	
	③有効性(期待された効!		大幅 1 間 (クケビジ)圏			
	A 成果は上がっ	ている B成果は上がっ	っていない		A	
業						
,,,		公平に配分されていますか) ねている	ナルテいたい、		Δ.	
	A 公平に配分さ	れている B 公平に配分	911 (1,121,		A	
	□ ⑤効率性(コスト削減の余	<u></u> :地はないですか)				
評		:地はない B コスト削減の	余地はある		A	
	(Bの場合) (ア)	受益者負担 (イ)事業の簡素	・効率化 (ウ)民間委託			
	(エ)	他事業との統合・連携 (オ)	適切な財源の選択 (カ)その他	<u>L</u>		
	⑥優先性(優先性の高い		C (050/)		Δ.	
価	Α (	順に3段階に分類) 75%) B (50%)	C (25%)		A	
価	A( 優先性が高い		C (25%) 低い		A	
価	A( 優先性が高い 評	75%) B (50%)	低い	テヘアいろ	A	
価	A ( 優先性が高い 評 価 の 要員から出された	75%) B (50%)	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行	<b></b> うっている。	A	
価	A ( 優先性が高い 評 価 の 委員から出された	75%) B (50%) B (50%) 意見は可能な限り、その都度図書	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行	<sub></sub> テっている。	A	
	A ( 優先性が高い 評 価 の 委員から出された 平成29年度も、一	75%) B (50%) B (50%) 意見は可能な限り、その都度図書	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行	<b>テっている</b> 。	A	
今後	A ( 優先性が高い 評 価 の 説 明	75%) B (50%) B (50%)	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行	<b>デっている</b> 。	A	
今	A ( 優先性が高い 評 価 の 説 明	75%) B (50%)  意見は可能な限り、その都度図書 ・部事業の運営にも参加してもらい。  実 □ 廃 止 □ 縮 小	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行 事業充実への協力もあった。	<b>テっている</b> 。	A	
今後の	A (優先性が高い 評価の説明	75%) B (50%)  意見は可能な限り、その都度図書 ・部事業の運営にも参加してもらい。  実 □ 廃 止 □ 縮 小	低い 館運営に反映させ、事業の改善を行	テっている。	A	

		C (0) (1)	1	TH 717.3H	나를라비사다했	<u>†</u> □ // →ε	4-4-4-7-7
	事業細目番号	6(2)①	LV-244	担当課	七戸中央公民館	担当者	中村真理
	事 業 名	子どもの読書活動	推進事業				
	年度	平成2	7年度	平点	28年度	亚,	成29年度
事		1 13,52	24	1 14/	24	1 /	24
	国。旧古山众						
業	原 その他						
費	内 町 債						
	一般財源		24		24		24
	· · · · ·						
事	□ 目的 □ すべての子どもがあらゆる	7 # (人 相 記 ) アナコン		<ul><li>□ 内容</li><li>○ ひとはなし へん</li></ul>	ま 頁 かけっつっぱ	7 \ 目目/史 1、《人士	この足二により改改
業	に読書を行うことができる				(春・夏・クリスマス・タ かせ(小学校・こども		・の展小による合発
未			-	③学校巡回配	本(小学校・こども園		
概				4.読み聞かせ	ボランティアの育成		
要							
	年 度	77-4-0		ਜ: ੫	) 00 F F	T.	
事	項目(単位)	平成2	7年度	半別	28年度	半)	成29年度
業	児童図書貸出冊数		4,505 ∰		4,887 冊	5,896 #	
効果	おはなし会参加人数		339人		345人	311/	
木	学校配本冊数		1,040 冊		1,040 冊		1,740 ⊞
		評	価	項	<u> </u>		評価
	①必要性(町民が必要と	していますか)					
	A 町民ニーズは	高い	B 町民ニーズは	低い(ない)			А
事	②妥当性(町が行うべきで		p m- 18/2 > 1/	/l.) 1 +tr 1>	( ( ) )		,
7	A 町が行うべき		B 町が行う必要性				А
	(Bの場合) (ア) ③有効性(期待された効:	)国・県が行うべき 里は トがっています	(イ)民間で実 <sup>ト</sup> か)	- 他 円 拒	(ウ)その他		-
	A 成果は上がっ		B 成果は上がっ~	ていない			Α
\!!!¢	11 /////		D /AQARTGILA				
業	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか)						
	A 公平に配分されている B 公平に配分されていない					А	
	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)						
評		や地はない					А
	(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他						
		他事業との統合・通		切な財源の選	沢 (カ)その他	ı	
	⑥優先性(優先性の高い			C (25%)			Δ.
価	A ・優先性が高い	(75%) B	(50%)				A
	T						
	評					おはなし会等を開催	
	の し効果を上げてい						
	■ 説 ■ 子ども読書活動 ■ 明 ■	推進のために、読る	み聞かせボランテ	ィアの連携と支	援を行っている。		
	91						
今							
後の	■ 継続 □ 充	実 □ 廃 止 □	1 焼 小				
取			ナども		のため、本に親しめ		
組•	□統合□完	」 □ 引続さ見[	旦し検討 ンアイバ	の育成は、今日	<b>後も継続して支援を</b>	11つ (いく必)	安かめる。
課題	□ その他(		)				

	事業細目番号	6(2)(2)	担当課 七戸中央公民館	担当者	中村真理		
			担当味「广个大公氏語	1434	下们共任		
	事 業 名	ボランティア活動の育成支援事業					
	年   度	平成27年度	平成28年度	平成29	午 庄		
事			十八八乙9	1 0			
7		0 0					
業	財産の対象を						
#	原 を を を を を を を を を を を を を						
費	内 町 債						
	一般財源	0	0		0		
	□目的		□ 内容				
事		とめ、ボランティア活動の促進を図る		の朝の読み聞かせ	ことも園で		
業	ことを目的とする。		の絵本の読み聞かせ、各種団体等				
			る。				
概							
要							
~							
	年 度	<del>1</del>					
	項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年	<b>丰度</b>		
事業	朝の読み聞かせ回数	27回	26回		26回		
勃	朝の読み聞かせ参加数	2,828 人	2,828 人		2,602 人		
果	絵本の読み聞かせ回数	4回	3回		2回		
	絵本の読み聞かせ参加数	380 人	264 人		118 人		
	,	評	項    目		評 価		
	①必要性(町民が必要とし						
	A 町民ニーズは	高い B 町民ニーズは	(低い(ない)		A		
		- 1					
事	②妥当性(町が行うべきて		(III ) 7 th )				
尹	A 町が行うべきて		性は薄れている(ない)		Α		
	(Bの場合) (ア)		実施可能 (ウ)その他				
	③有効性(期待された効果		~1 \dagger \da		۸		
	A 成果は上がっ	ている B成果は上がっ	(1,121,1		Α		
業		 公平に配分されていますか)					
	A 公平に配分さ		らわ ブレンナン		A		
	A 公子に配力さ	10000 日 公子に配分さ	40 C 1 12 1		Λ		
	⑤効率性(コスト削減の余	出けないですか)					
<b>≑</b> π	Oが平は(これではいか) A コスト削減の余		≨hhけなる				
評		受益者負担 (イ)事業の簡素・			A		
			効平に	ı			
	⑥優先性(優先性の高い	•	9元素が、2度が (2)に	1			
		75%) B (50%)	C (25%)		A		
価	優先性が高い	D (50/0)	低い		71		
	ı		ENV				
	評     価   今号ぶりき的に						
	□ 四   云貝か日土的に	工学習会を開いたり、各種研修会等し 、成果が上がっている。	こ参加し、スキルアップに努めて読	み聞かせ活動をして	ていることは、		
	說	成未が上がりている。					
	明						
今		<u> </u>					
後							
の取	版						
組							
課	□ その他(	)					
題	ロ ・こり7世(	,					

		争 来 产					
	事業細目番号	6 (2) ③	担当課中央図書館	担当者 十枝内 知子			
	事 業 名	子どもの読書活動推進事業					
_	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事		十八八十尺		十成29千度			
1	国, 周 去 山 众	10	0	1			
業	財   日   一日   一日   一日   一日   一日   一日						
費	内 町 債						
	一般財源	10	3 89	1			
事業概要			5 ②6ヶ月児健診を利用したブックス ③学校巡回配本(月1回/低・高学 ④県立図書館事業「子どもの読書 出」事業を利用した巡回配本。(係	タート事業 :年別) :活動推進のための図書セット』			
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事	項目(単位) おはなし会実績(回/人)	3回/100/		2回/40			
業効	ブックスタート実績(人)	72)		2回/40 83			
果	学校配本実績(人/冊)	2,786人/5,878冊	·				
	図書セット巡回配本(ヶ所						
	①必要性(町民が必要とし	一	項    目	評価			
事	A 町民ニーズは ②妥当性(町が行うべきて	高い B 町民ニーズ		A			
1	A 町が行うべきである B 町が行う必要性は薄れている(ない) (Bの場合) (ア)国・県が行うべき (イ)民間で実施可能 (ウ)その他 ③有効性(期待された効果は上がっていますか)						
業	A 成果は上がっ <sup>*</sup>		っていない	A			
	④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない						
評	⑤効率性(コスト削減の余地はないですか) A コスト削減の余地はない B コスト削減の余地はある (Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託 (エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他						
価	<ul><li>⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類)</li><li>A (75%)</li><li>B (50%)</li><li>C (25%)</li><li>優先性が高い</li><li>低い</li></ul>						
	評価のの 説 子ども読書活動推進計画に基づき、おはなし会をはじめとした各種事業を実施し、子どもの読書への関心をを行っている。また、図書ボランティアの育成に関する支援も行っている。						
今後の取組・課		マーロ 引建き目声 検針 く。まだ	町子ども読書活動推進計画」をもと た、ボランティアの育成については、 いく必要がある。				

		2 (2)	1	las visam.		I may to the		
	事業細目番号	6 (2) ④		担当課	中央図書館	担当者	十枝内 知子	
	事 業 名	生涯学習の推進	•支援事業					
	T	T 7.50		- ·				
-	年 度	平成2		半成	28年度	半成	29年度	
事	決 算 額(千円)		80		40		0	
業	財国・県支出金							
	源をの他							
費	内 町 債							
	一般財源		80		40		0	
事業概要	町民への学習機会の提供及び学習活動の支援を行う。 ①図書館講座の開講 ②読書団体等への資料提供の支援や、イベントへの協力等 ("とっておきの話"懇話会)							
	年 度	平成2	7年度	平成	28年度	平成	29年度	
事	項目(単位) 実施回数(回)	1,7,7	①10回, ②3回	. , , ,	①5回, ②2回		①0回, ②2回	
業効	参加延べ人数(人)		①127人, ②81人		①57人, ②65人		①0点, ②64人	
果	参加是"八数(八)		,	「読む喜び・書く楽」。	みーわたしの文学来歴」		-	
	講座名	"とっておきの話"			f"懇話会①·®	"とっておきの訂	舌"懇話会(B·20)	
		C > CN = C > HI				C = (1,0 C :> II		
		評	価	項	目		評 価	
	①必要性(町民が必要 A 町民ニーズ)	は高い	B 町民ニーズは	低い(ない)			A	
事		である ア)国・県が行うべき			(ない) (ウ)その他		A	
**	③有効性(期待されたタ A 成果は上が		ナか) B 成果は上がっ	ていない			A	
未	第 ④公平性(事業の効果が公平に配分されていますか) A 公平に配分されている B 公平に配分されていない						A	
評	<ul> <li>⑤効率性(コスト削減の余地はないですか)</li> <li>A コスト削減の余地はない</li> <li>B コスト削減の余地はある</li> <li>(Bの場合) (ア)受益者負担 (イ)事業の簡素・効率化 (ウ)民間委託</li> <li>(エ)他事業との統合・連携 (オ)適切な財源の選択 (カ)その他</li> </ul>						A	
価	⑥優先性(優先性の高い順に3段階に分類) A (75%) B (50%) C (25%) 優先性が高い 低い					A		
	評価の 図書館を利用して研究等を行っている町民が中心となり、町の人や歴史にまつわる逸話を発表する場として「"とって≯の話"懇話会」を開催しており、その運営等の協力・後援を行っている。 明							
今後の取組・課題		実 □ 廃 止 □	△※≠∮	継続して取り組ん	<sub>レ</sub> でいく。			